

令和5年度

農作物有害動植物発生予察年報

愛媛県病害虫防除所

愛媛県農林水産研究所農業研究部
病理昆虫室 発生予察グループ

令和5年度農作物有害動植物発生予察年報 目次

I 病害虫防除所の概況	1
1 沿革	
2 所管事項	
3 管内の概況	
4 重点事項	
II 病害虫発生予察の対象病害虫・予察圃場	4
1 指定有害動植物	
2 指定外有害動植物	
3 病害虫発生予察圃場	
III 病害虫発生予察情報・防除技術情報	7
1 病害虫発生予察情報	
2 病害虫発生予察注意報	
3 病害虫発生予察特殊報	
4 病害虫防除技術情報	
IV 病害虫の発生及び防除状況	35
1 発生経過・発生原因及び防除の概要	
2 病害虫発生程度別面積及び防除面積（県全体）	
V 調査観察成績	48
1 水稻	48
1) 病害虫調査（予察圃場）	
2) 広域調査	
（いもち病、ウンカ類、コブノメイガ、斑点米カムシ類）	
2 麦	68
1) 麦類赤かび病（子のう胞子飛散量調査）	
2) 広域調査	
3 大豆	70
1) 広域調査	

4 かんきつ	71
1) 病害調査	
2) 害虫調査	
3) 広域調査 (かいよう病・ヤノネカイガラムシ・秋季調査)	
5 かき	88
1) 病害調査	
2) 害虫調査	
6 キウイフルーツ	92
1) かいよう病調査	
7 野菜	93
1) 病害虫調査	
2) 広域調査 (いちご育苗床調査・たまねぎ白色疫病・たまねぎべと病)	
8 トрап等による害虫の発生消長調査	113
1) 予察灯による一般害虫の発生消長調査	
2) 予察灯による水稻海外飛来性害虫の調査	
3) 果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ) の越冬状況調査	
4) 予察灯・集合フェロモントラップによる果樹カメムシ類の発生消長調査	
5) 性フェロモントラップ等による野菜等害虫の発生消長調査	
9 病害虫発生予察速報	131
VI 病害虫防除指導	133
1 協議会等への参加状況	
2 病害虫等診断件数	
VII 植物防疫関係調査成績	138
1 重要病害虫侵入警戒調査事業	
2 中四国防除所職員等協議会発表要旨	
3 成績概要書	

令和5年度度農作物有害動植物発生予察年報 各項目の掲載月

I 病害虫防除所の概況

1 沿革

- 昭和27年6月1日 植物防疫法第32条及び愛媛県病害虫防除所等に関する条例（第17号）の規定に基づき、県内12郡に各地方病害虫防除所が設置され、業務遂行に当たっては、旧農林事務所、農業改良普及所、農業試験場（地区予察員）などの長及び職員が兼務で業務を行ってきた。
- 昭和46年4月1日 国は、昭和45年度より3か年計画で防除所の整備統合を図り、本県では、昭和46年に県下3か所に統合することとし、東予、中予及び南予病害虫防除所として発生予察及び防除指導の体制整備がなされた。
- 昭和48年4月1日 機構改革に伴い、愛媛県病害虫防除所等に関する条例（第18号に改正）の一部改正により、大洲市及び喜多郡の1市5町村が中予病害虫防除所から南予病害虫防除所の管轄区域となった。
- 昭和63年4月1日 県では、業務推進の効率化、合理化を図るため、愛媛県病害虫防除所等に関する条例の一部改正により、愛媛県病害虫防除所を1所に統合し、東予支所及び南予支所を設置した。
- 平成20年4月1日 県では、病害虫防除所の再編整備を図り、愛媛県病害虫防除所等に関する条例の一部改正により、東予支所と南予支所を廃止し、南予駐在を置いた。

愛媛県病害虫防除所の位置、名称及び管轄（担当）区域

位置	名称	管轄（担当）区域	備考
【松山市】 松山市上難波 甲311	愛媛県 病害虫防除所	【愛媛県一円】 松山市、伊予市、東温市、 久万高原町、松前町、砥部町、 今治市、新居浜市、西条市、 四国中央市、上島町	【兼務職員】 農林水産研究所 農業研究部 4名 果樹研究センター 6名 東予地方局産業振興課 1名
【宇和島市】 宇和島市 吉田町 法花津7-115	南予駐在	【愛媛県一円】 宇和島市、八幡浜市、大洲市、 西予市、内子町、伊方町、 松野町、鬼北町、愛南町	

2 所管事項

(1) 病害虫の発生予察に関すること

「農作物有害動植物発生予察事業調査実施基準」に基づいて、普通作物、果樹、野菜の病害虫の発生予察を実施し、その調査結果を基に毎月（月初め）の発生予報、必要に応じて警報、注意報、特殊報及び病害虫防除技術情報を作成し、関係機関・団体へ情報提供する。

(2) 病害虫の防除指導に関すること

病害虫の発生状況及び防除技術情報の的確な把握に努め、関係機関・団体との密接な連携により、病害虫の発生生態に応じた効率的・総合的な防除を指導する。

(3) その他植物防疫に関すること

新たな発生病害虫及び難防除病害虫の発生生態と防除対策、薬剤に対する感受性の低下に伴う有効薬剤の探索や防除対策の確立など、地域課題解決のための調査を実施する。

3 管内の概況

愛媛県病害虫防除所の管轄区域は愛媛県一円である。この中で、担当区域を東予・中予区域及び南予駐在担当による南予区域に区分している。その概要は下図に示すとおりである。

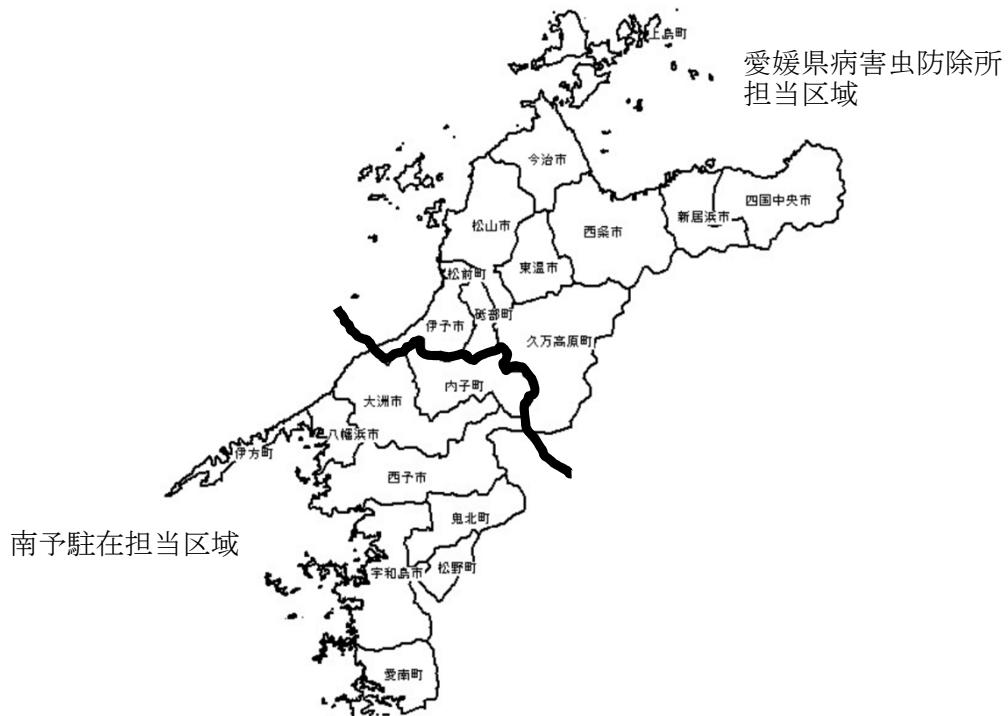


図 愛媛県病害虫防除所における担当区域

4 重点事項

(1) 発生予察情報の作成並びに業務の効率的推進

毎月末に、病害虫防除所、農林水産研究所農業研究部及び果樹研究センター、農産園芸課の関係職員を参集し予察情報作成会議を開催して病害虫発生予察月報及び病害虫発生予察月報を作成した。また、効率的な植物防疫業務を推進するため、当面する技術課題や新しい知見等について、関係機関との調整や技術指導の一元化を図った。発生予察情報や調査データは、病害虫防除所ホームページに掲載し、迅速な情報発信に努めた。

(2) 発生予察精度の向上

発生予察技術の精度向上を図るため、J P P - N E T 情報等コンピュータの利用による最新情報の収集、全国の病害虫発生状況の把握及び発生予察技術の改善に努めた。

II 病害虫発生予察の対象病害虫・予察圃場

1 指定有害動植物

作物名	病害名	害虫名
作物共通		オオタバコガ、コナガ、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ
いね	稻こうじ病、いもち病、ごま葉枯病、ばか苗病、もみ枯細菌病、紋枯病	イネミズゾウムシ、コブノメイガ、セジロウンカ、ツマグロヨコバイ、トビイロウンカ、ニカメイガ、斑点米カメムシ類、ヒメトビウンカ、フタオビコヤガ
むぎ	赤かび病、うどんこ病	
いちご	うどんこ病、炭疽病、灰色かび病	アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類
きゅうり	うどんこ病、褐斑病、炭疽病、灰色かび病、べと病	アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類
トマト	うどんこ病、疫病、黄化葉巻病、すすかび病、灰色かび病、葉かび病	アザミウマ類、ア布拉ムシ類、コナジラミ類
なす	うどんこ病、すすかび病、灰色かび病	アザミウマ類、ア布拉ムシ類、ハダニ類
さといも		アブラムシ類
たまねぎ	白色疫病、べと病	アザミウマ類
かき	炭疽病、うどんこ病	アザミウマ類、カイガラムシ類、カキノヘタムシガ、ハマキムシ類
かんきつ	かいよう病、黒点病、そうか病	アザミウマ類、ア布拉ムシ類、ハダニ類
キウイフルーツ	かいよう病	
果樹共通		果樹カメムシ類

2 指定外有害動植物

作物名	病害名	害虫名
いね		イチモンジセセリ (イネツトムシ)、スクミ リンゴガイ
むぎ	裸黒穂病	
さといも	疫病	ハダニ類
いちご	萎黄病	
きゅうり	黄化えそ病	
トマト	青枯病、かいよう病	ハモグリバエ類
かき	うどんこ病	
かんきつ	灰色かび病、褐色腐敗病、青・緑かび病	ミカンサビダニ、カイガラムシ類
びわ	黄化えそ病	ビワキジラミ

3 病害虫発生予察圃場

	調査圃場数	作型 内訳	東・中予	南予	備考
水稻	31		23	8	
麦	3		2	1	広域
大豆	2		1	1	広域
いちご	10		6	4	
きゅうり	13	5	3	2	夏秋キュウリ
		8	3	5	冬春キュウリ
トマト	8	1	1	0	夏秋トマト
		7	4	3	冬春トマト
なす	8	8	6	2	夏秋なす
かき	9		5	4	
かんきつ	31		17	14	
キウイフルーツ	18		12	6	
さといも	6		5	1	
タマネギ	6		3	3	
計	145		91	54	

III 病害虫発生予察情報・防除技術情報

1 病害虫発生予察情報

毎月1回、病害虫発生予察情報及び月報を作成し発表した。多発が予想された病害虫について病害虫発生予察注意報を2報発出した。さらに、発生予報情報を補完して、発生状況や防除対策に関する情報提供をする必要が認められたため病害虫防除技術情報を6報発出した。なお、本県で初めて発生が確認された病害虫について発出する病害虫発生特殊報は3報発出した。

各種情報は、全農えひめ、農業協同組合、農業共済組合、農薬販売業者、農業高等学校、市町、農林水産省関係機関、県関係機関（農産園芸課、農林水産研究所、果樹研究センター、農業大学校など）の136ヶ所に対して電子メールを利用して迅速に情報提供した。

1) 発生予報の内容

(1) 普通作（発生予報）

発生予報対象（令和4年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発表月日	3月 31日	4月 28日	5月 30日	6月 30日	7月 31日	8月 31日	9月 29日	10月 31日	11月 30日	12月 28日	1月 31日	2月 29日
病害虫名												
水稻	いもち病		育苗～ 本田初期 並	葉いもち： 並～やや多	(普通期) 葉いもち： 並	(普通期) 葉いもち： やや多	穂いもち： 並					
	紋枯病				並～やや多	並～やや多	やや多					
	稻こうじ病											
	イネミズゾウムシ	発生時期： やや遅い		やや少								
	ヒメトビウンカ			並								
	セジロウンカ		－		飛来時期：今 後の飛来に注 意 発生量：今後 の飛来量に注 意	やや多						
	トビイロウンカ		－		飛来時期：今 後の飛来に注 意 発生量：今後 の飛来量に注 意	並～やや多	やや少～並	やや少～並				
	ツマグロヨコバイ											
	コブノメイガ				飛来時期・飛 来量：今後の 飛来に注意	(普通期) 並						
	イチモンジセセリ					(第2世代) 並						
麦	フタオビコヤガ					少～やや少						
	斑点米カメムシ類				並	やや多～多	並～やや多					
大豆	赤かび病	やや多	並～やや多									
	アブラムシ類											
大豆	ハスモンヨトウ				やや多	やや多～多	並～やや多	並～やや多				
	吸実性カメムシ類							やや多				

注) 注意は、防除上の注意を記載（発生量には言及せず）。

(2) 果樹（発生予報）

発生予報対象（令和4年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発表月日	3月 31日	4月 28日	5月 30日	6月 30日	7月 31日	8月 31日	9月 29日	10月 31日	11月 30日	12月 28日	1月 31日	2月 29日
かんきつ	かいよう病	やや多	やや多	並～やや多	並	並～やや多	やや多	並～やや多				並
	そうか病	並	並～やや多	並～やや多								
	灰色かび病											
	黒点病			並～やや多	やや多	並	やや少～並					
	褐色腐敗病							並				
	貯蔵病害							並～やや多	並			
	ミカンハダニ		やや少～並	やや少	並	並	やや少	並～やや多	並～やや多	並～やや多		やや多～多
	アブラムシ類		やや少～並									
	ミカンサビダニ					並～やや多	やや少					
かき	ヤノネカイガラムシ			発生時期： やや早～早 発生量：並		(第2世代) 発生時期 ：やや早						
	炭疽病	やや多	やや多	並～やや多	並	やや多	並	並				
	うどんこ病			並	やや少～並	並	並					
	カキノヘタムシガ			発生時期： 並								
き ウ イ フ ル ー ツ	フジコナカイガラムシ			やや少～並	やや少～並	(第2世代) やや多						
	かいよう病	発生 注意	発生 注意	発生拡大 注意	発生拡大 注意					発生 注意	発生時 期：早	
果 樹 全 般	花腐細菌病		やや多									
	カメムシ類	少 飛来時期： やや早	少	少	少	(新成虫) 少～やや少	やや少～並	やや少～並				

注) 注意は、防除上の注意を記載（発生量には言及せず）。

(3) 野菜 (発生予報)

発生予報対象 (令和4年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発表月日	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
病害虫名	31日	28日	30日	30日	31日	31日	29日	31日	30日	28日	31日	29日
作型	冬春きゅうり			夏秋きゅうり						冬春きゅうり		
きゅうり	黄化えそ病			並～やや多	やや少	並		やや少	やや少～並	並～やや多	並	
	灰色かび病	やや多	やや多～多								並	並～やや多
	べと病	並～やや多	並			やや少		やや少～並	並	やや多	多	
	褐斑病		並		並	多		少	少～やや少	やや少		
	炭疽病				多	並～やや多						
	うどんこ病							並	やや少～並	やや少		
	汁けキロアザミウマ		やや多	並～やや多	並～やや多	やや少						並
	コナジラミ類									並～やや多		オシツ： 並 タバコ： 多
	アブラムシ類							並～やや多				
いちご												
		本園		育苗床				本園				
	灰色かび病	やや多	やや多～多							並	並～やや多	並
	うどんこ病	やや多	やや多	並	やや少			やや多	やや多	並	並～やや多	やや少～並
	炭疽病			並～やや多	並	並～やや多	並～やや多	並～やや多				
	ハダニ類	やや多～多	並～やや多			やや多～多	並～やや多	並～やや多	並	やや多～多	やや多	並
	ハスモンヨトウ						並～やや多	並～やや多	やや多			
	アザミウマ類	並～やや多	並							やや多	やや多～多	
	コナジラミ類					やや多～多				並～やや多	並～やや多	オシツ： 少 タバコ： 並
	アブラムシ類	やや多～多				やや多～多	並～やや多	並～やや多	並	並～やや多	並～やや多	やや多
トマト												
	作型	冬春トマト		夏秋トマト				冬春トマト				
	黄化葉巻病											
	灰色かび病	やや多	やや多～多							並	並～やや多	並
	葉かび病					やや少～並						
	アブラムシ類							並～やや多				
	コナジラミ類	やや多		並				並～やや多	並	並～やや多	並	オシツ： 並 タバコ： やや少
なす												
	作型	冬春ナス		夏秋ナス				冬春ナス				
	灰色かび病											
	アブラムシ類											
	汁けキロアザミウマ		やや多	並～やや多	並～やや多	やや少						
たまねぎ												
	白色疫病									並	並	
	べと病		多									
	ネギアザミウマ	多	並									多
	菌核病	やや多										

発生予報対象 (令和4年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発表月日	3月 31日	4月 28日	5月 30日	6月 30日	7月 31日	8月 31日	9月 29日	10月 31日	11月 30日	12月 28日	1月 31日	2月 29日
病害虫名												
さ と い も 野 菜 全 般	アブラムシ類					並～やや多	やや多～多					
	ハスモンヨトウ				やや多	やや多～多	並～やや多					
	ハダニ類					やや多～多	並～やや多					
	灰色かび病				並～やや多							
	アブラムシ類			やや少	並～やや多	並～やや多	やや多～多	並～やや多				
	ハスモンヨトウ			並～やや多	やや多	やや多～多	並～やや多	並～やや多	並～やや多			
	シロイチモジョトウ			並～やや多	並～やや多	並～やや多	やや多	並～やや多	並～やや多			
	オオタバコガ			並～やや多	並	並～やや多	並～やや多	並～やや多	並～やや多			
	コナジラミ類				並	やや多～多						
	ハダニ類				並	やや多～多	並～やや多	並～やや多				
	コナガ		やや少～並	並								

2 病害虫発生予察注意報

5 愛防第 54 号

令和 6 年 3 月 22 日

各関係機関・団体長様

愛媛県病害虫防除所長

発生予察情報の送付について

病害虫発生予察注意報（第 1 号）を下記のとおり発表したので送付いたします。

令和 5 年度 病害虫発生予察注意報（第 1 号）

令和 6 年 3 月 22 日

愛 媛 県

病害虫名 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ）

対象作物 うめ、もも、キウイフルーツ、なし、すもも、かんきつ、かき等

1 発生地域 県下全域

2 発生程度 多

3 注意報発表の根拠

(1) 本年のチャバネアオカメムシの越冬量は、県下 40 カ所調査の平均値によると越冬虫数は、県全体では 3.88 頭/2m²（平年：0.97 頭/2m²）と多であり、特に南予地域では 6.5 頭/2m²（平年：0.95 頭/2m²）と多かった（表 1、2）。

(2) 令和 6 年 2 月 20 日発表の 3 か月予報（3～5 月）では、四国地方の気温は平年並または高い確率とも 40% とされており、果樹園への飛来時期が早まる可能性あるので注意する。

4 防除上の注意

(1) もも、なしでは園内への飛来に注意し、早めに袋掛けを行う。

(2) かんきつでは裏年に当たり花量が少ないことが予想されていることから、開花から幼果時期における発生に注意し、落花等を防ぐ。

(3) 果樹園への飛来は、曇天で夜温があまり下がらない日に多くなる。

(4) 主に山林から果樹園に飛来するため、山林に近い園地での被害が多い傾向にある。

(5) 園地で飛来を確認した場合には薬剤防除を行う。

(6) 薬剤は登録内容を順守して使用する（表 3）。また、風向き、散布圧等に注意し、周辺作物への飛散防止、周辺環境（魚・蚕・ミツバチなど）への配慮を徹底する。

(7) 飛来が続く場合は、継続的な防除が必要であるが、リサージェンスが起こる可能性があるので、散布後のカイガラムシ類やハダニ類の発生には十分注意する。

表1 果樹カメムシ（チャバネアオカメムシ）越冬調査結果

地域	調査 園地数	平均越冬虫数（頭）/1か所		越冬確認地点率（%）	
		R6	平年	R6	平年
東予	10	1.5	0.49	60	27
中予	10	1	1.49	40	42
南予	20	6.5	0.95	85	33.5
県全体	40	3.88	0.97	67.5	34

1) 越冬虫数は落葉2m²当たりの頭数

2) 平年は過去10年間の平年値

表2 果樹カメムシ（チャバネアオカメムシ）越冬調査暦年結果

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	平年
越冬虫数	2.63	1.33	0.15	0.53	1.68	0.75	1.43	0.23	0.93	0.05	3.88	0.97

1) 平年は過去10年間の平年値

表3 果樹カメムシ類に対する主な防除薬剤

IRACコード	使用薬剤	濃度	使用時期	使用回数	毒性	水産(注)
かん きつ	4A ダントツ水溶剤	4,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
	4A アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫14日前まで	3回以内	普	△
	4A アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
	4A スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
	4A モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫14日前まで	3回以内	劇	△
	4A モスピランSL液剤	2,000倍	収穫14日前まで	3回以内	劇	△
	3A ロディー乳剤	2,000倍	収穫7日前まで	4回以内	劇	×
かき	3A テルスタークロアブル	5,000倍	収穫前日まで	3回以内	劇	×
	1B スミチオン水和剤40	1,000倍	収穫30日前まで	3回以内	普	△
	2B キラップクロアブル	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内	普	○
	3A アグロスリン水和剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	劇	×
	3A テルスター水和剤	2,000倍	収穫14日前まで	2回以内	普	△※
	3A テルスタークロアブル	5,000倍	収穫3日前まで	2回以内	劇	×
	3A ロディー水和剤	1,500倍	収穫7日前まで	3回以内	劇	×
	3A+1B パーマチオン水和剤	2,000倍	収穫30日前まで	3回以内	劇	×
	4A アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
	4A アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫3日前まで	3回以内	普	△
もも	4A モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	劇	△
	4A ダントツ水溶剤	4,000倍	収穫7日前まで	3回以内	普	△
	1B スミチオン水和剤40	1,000倍	収穫3日前まで	6回以内	普	△
	4A アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
	4A アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
	4A スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
	4A モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	劇	△
	4A ダントツ水溶剤	3,000倍	収穫前日まで	2回以内	劇	×
	3A アグロスリン水和剤	2,000倍	収穫前日まで	5回以内	劇	×
	3A ロディー乳剤	2,000倍	収穫前日まで	5回以内	劇	×
なし	1B スミチオン水和剤40	1,000倍	(無袋)収穫21日前まで	6回以内	普	△
	1B スミチオン水和剤40	1,000倍	(有袋)収穫14日前まで	6回以内	普	△
	4A アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
	4A スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
	4A アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
	4A ダントツ水溶剤	4,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
	3A アグロスリン水和剤	1,500倍	収穫前日まで	3回以内	劇	×
	3A スカウトクロアブル	1,500倍	収穫前日まで	5回以内	劇	△※
	3A テルスター水和剤	2,000倍	収穫前日まで	2回以内	普	△※
	3A テルスタークロアブル	5,000倍	収穫前日まで	2回以内	劇	×
	3A ロディー水和剤	1,000倍	収穫前日まで	2回以内	劇	×
	28 テッパン液剤	2,000倍	収穫前日まで	2回以内	普	○
うめ	3A スカウトクロアブル	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	劇	△※
	4A アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
	4A スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
	4A アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内	普	△
	4A ダントツ水溶剤	4,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
キウイ ルーツ	4A アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
	4A スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
	4A ダントツ水溶剤	4,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
	3A アディオン乳剤	2,000倍	収穫7日前まで	5回以内	普	×
	3A アグロスリン乳剤	2,000倍	収穫7日前まで	3回以内	劇	×
びわ	3A ロディー水和剤	2,000倍	収穫前日まで	4回以内	劇	×
	3A テルスター水和剤	2,000倍	収穫前日まで	2回以内	普	△※
	4A ダントツ水溶剤	4,000倍	収穫前日まで	3回以内	普	△
	4A スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	2回以内	普	△

5 愛防第56号
令和6年3月29日

各関係機関、団体長様

愛媛県病害虫防除所長

発生予察情報について（送付）

病害虫発生予察注意報（第2号）を下記のとおり発表したので送付いたします。

令和5年度 病害虫発生予察注意報（第2号）

令和6年3月29日

愛媛県

病害虫名 ベと病

作物 たまねぎ

1 発生地域 県下全域

2 発生程度 やや多～多

3 注意報発表の根拠

- (1) 3月上中旬の広域調査では、県全体の発生圃場率33.8%、発病株率3.68%であり、過去7か年と比較すると発生圃場率及び発病株率ともに高い。特に東予地域は、発生圃場率63.8%、発病株率8.43%であり、他の地域に比べて高い（表）。
- (2) 3月21日発表（高松地方気象台）の1か月予報では、気温は高く、降水量も多い見込みとされており、発生拡大が懸念される。

4 防除上の注意

- (1) 越年罹病株（一次伝染株）は、淡黄緑色となり、やや萎縮し葉身が湾曲する（写真1）。湿潤な気象条件下（気温15°C前後、降雨が続く場合）では、罹病株上に多量の分生胞子が形成され（写真2）、周辺に飛散し二次伝染を起こす（写真3）。分生胞子は広範囲に飛散するため、地域一体となって防除すると効果が高まる。
- (2) 圃場観察を丁寧に行い、二次伝染源となる越年罹病株の早期発見に努める。被害葉身内に形成される卵胞子は土壤中で長期間にわたり残存し、翌年以降の一次伝染源となるため、抜き取った罹病株は、圃場外に持ち出し適切に処分する。
- (3) 排水不良の圃場で発生が多いため、降雨後の排水に努める。
- (4) 発病後の薬剤散布は防除効果が劣るので予防に重点を置き、計画的に防除を実施する。なお、たまねぎの葉身は薬液の付着性が悪いため、展着剤を必ず加用する。
- (5) 防除は降雨等の天候を考慮しながら7～10日間隔で行う。また、同一系統の薬剤の連用を避ける。
- (6) 農薬の散布にあたっては農薬使用基準を順守し、周辺農作物への飛散防止対策を徹底する。

表 広域調査におけるべと病の発生調査結果(普通期.3月調査)

地域	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率(%)		発病株率(%)	
			本年	平年	本年	平年
東予	58	37	63.8	15.0	8.43	0.55
中予	61	11	18.0	8.2	0.55	0.20
南予	23	0	0.0	11.1	0.00	2.26
県全体	142	48	33.8	11.5	3.68	0.69

1)調査対象は越年罹病株および二次伝染株

2)平年:過去7年間の平均



写真1 越年罹病株 (一次伝染株)



写真2 分生胞子が形成された罹病株



写真3 二次伝染による多発圃場

3 病害虫発生予察特殊報

5 愛防第 49 号
令和 5 年 12 月 5 日

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

発生予察情報の送付について

病害虫発生予察特殊報（第 1 号）を下記のとおり発表したので送付します。

令和 5 年度 病害虫発生予察特殊報（第 1 号）

令和 5 年 12 月 5 日
愛 媛 県

病害虫名 モモヒメヨコバイ *Singapora shinshana* (Matsumura)

作物名 モモ

特殊報の内容 モモヒメヨコバイの発生の初確認と被害について

1 発生経過

令和 5 年 10 月、松山市伊台地区のモモ栽培園において、葉が白化する症状が認められ（写真 1）、ヨコバイ類が多数寄生しているのが確認された。寄生するヨコバイ類を採集し、神戸植物防疫所に同定依頼した結果、他都府県で発生が認められているモモヒメヨコバイであることが確認された。

2 国内外の発生状況

海外において、中国、台湾、韓国及び北朝鮮で分布が確認されている。

国内においては、沖縄県での分布が確認されていたが、令和元年に和歌山県のウメで確認されて以降、24 都府県で発生が確認されている。

3 本種の特徴

(1) 形態

成虫の体長は、3~3.5mm、体色は黄緑色で複眼は黒く（写真 2）、頭頂部に特徴的な黒点が一つある（写真 3）。若齢幼虫は薄い黄色で、終齢になると黄緑色になる。

(2) 被害

成虫及び幼虫が葉を吸汁、加害する。本虫に加害された葉はカスリ状になり、多発樹では、樹全体が白化した様に見え、早期落葉する。

(3) 寄主植物

国内ではモモの他、ウメ、スモモ、アンズ、オウトウ等のバラ科果樹を加害している。海外では、上記のバラ科に加えてナシ、リンゴ、ポポー、ポプラ等の被害が報告されている。

4 防除対策

(1) 現在、モモにおいて本種に登録のある農薬はない。ウメまたは小粒核果類では、本種に登録のある農薬で防除する。

(2) 耕種的防除としては、圃場観察を良く行い、発生初期に寄生葉を速やかに除去し、適切に処分する。



写真1 葉の白化



写真2 モモヒメコバイ成虫

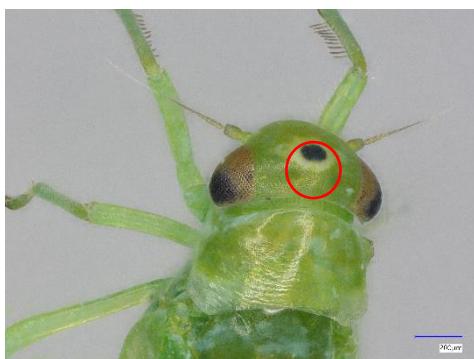


写真3 頭頂部の黒点

表 モモヒメコバイに登録のある主な農薬

2023年11月現在

農薬	成分	使用倍数	使用時期	本剤の使用回数	登録内容	
					ウメ	小粒核果類
アグロスリン水和剤	シペルメトリル	2,000	収穫7日前まで	3回以内	○	×
マブリック水和剤20	フルバリネート	4,000	収穫21日前まで	2回以内	○	×
ロディー水和剤	フェンプロパトリル	2,000	収穫7日前まで	3回以内	○	×
テツバパン液剤	シクラニリプロール	2,000	収穫前日まで	2回以内	○	○

5 愛防第 50 号
令和 5 年 12 月 5 日

各関係機関・団体長様

愛媛県病害虫防除所長

発生予察情報の送付について

病害虫発生予察特殊報（第 2 号）を下記のとおり発表したので送付します。

令和 5 年度 病害虫発生予察特殊報（第 2 号）

令和 5 年 12 月 5 日

愛媛県

病害虫名 ミナミトゲヘリカメムシ *Paradasynus spinosus* Hsiao

作物名 カンキツ

特殊報の内容 愛媛県におけるカンキツ加害の初確認

1 発生経過

令和 5 年 10 月に松山市伊台地区のカンキツ園において、チャバネアオカメムシ等通常の果樹カメムシ類と異なるカメムシが多数寄生する状況が見られた（写真 1）。このカメムシは果実を吸汁しており（写真 2）、加害された果実は異常着色や落果が見られた（写真 3）。また、加害された果実を切断すると、通常の果樹カメムシ類に加害された様なス上がり症状も確認された。このため、神戸植物防疫所に同定を依頼したところ、本県ではカンキツ加害が初確認となるミナミトゲヘリカメムシであった。

2 他県での発生状況

本虫は南方系のカメムシで、沖縄県や九州、三重県でカンキツ果実を加害することが報告されている。また、福岡県ではカキやスマモ、鹿児島ではアボカドでの加害も報告されている。加害されたカキでは、加害部位が半透明になり、後に大きく凹んでその部位が黒褐色となって落果するが、一部の被害果は落果せずに樹上に残る。加害部位には口針鞘が残り、剥皮すると果肉は褐変しているが、スポンジ状とはならず、通常の果樹カメムシ類とは異なる症状を示すとされる。

3 本種の特徴

体長は 16~23mm の細長い大型のカメムシでオオクモヘリカメムシに似るが、前胸部の側角が鋭くとがっており見分けられる（写真 4）。背部は暗緑色、腹部は淡黄緑色をしている。野外での寄主植物はシロモジ、クスノキ等のクスノキ科植物である。越冬場所や年間の発生回数など詳しい生態は不明だが、沖縄では 2 回程度発生する。

4 防除

ネオニコチノイド系薬剤のスタークル／アルバリン顆粒水溶剤や合成ピレスロイド系薬剤のテルスター水和剤の殺虫効果が高かったとの報告があることから、発生が認められたら、カメムシ類に登録のあるこれらの薬剤を用いて防除を行う。薬剤散布にあたっては、最新の情報を確認し、使用基準を遵守する。



写真1 みかんに寄生する
ミナミトゲヘリカムシ



写真2 みかんを吸汁する
ミナミトゲヘリカムシ

各関係機関・団体長 殿

愛媛県病害虫防除所長

発生予察情報について（送付）

病害虫発生予察特殊報（第3号）を下記のとおり発表したので送付いたします。

令和 5 年度 病害虫発生予察特殊報（第3号）

令和 6 年 3 月 15 日
愛 媛 県

病害虫名 トマト黄化病

病原名 トマト退緑ウイルス (*Tomato chlorosis virus*, ToCV)

作物 ミニトマト

特殊報の内容 愛媛県のミニトマト栽培圃場における発生の初確認

1 発生地域 今治市

2 発生経過

令和 5 年 11 月に今治市のタバココナジラミの発生が多い施設ミニトマト栽培圃場において、中位葉に黄化症状を示す株が多数確認された（写真 1）。このため、黄化症状の見られる株の生長点や葉を採取し、神戸植物防疫所に同定を依頼したところ、本県では初確認となるトマト退緑ウイルス (*Tomato chlorosis virus*, ToCV) が検出され、「トマト黄化病」であることが判明した。

3 他県での発生状況等

本病は、平成 20 年に栃木県で国内初の発生が報告されて以来、全国各地で発生が確認され、現在では 24 都府県で発生が確認されている。

4 病徵

本ウイルスに感染した葉は、葉脈間が退緑し黄斑を示す。その後症状が進展すると葉脈に沿った部分を残して葉全体が黄化し、葉巻症状やえそ症状が現れる（写真 2）。病徵は下位～中位葉に現れやすく、生理障害である苦土（マグネシウム）欠乏症と類似しており、判別は極めて難しい。果実等への被害は見られないものの、生育が抑制され収量が減少することがある。

5 感染植物

トマト以外にアカザ科、キク科、ゴマノハグサ科、シソ科、ナス科、ナデシコ科、フウロソウ科、リンドウ科で感染が確認されている。

6 伝染方法

本ウイルスは、タバココナジラミ及びオンシツコナジラミによって媒介される。伝搬様式は半永続伝搬（ウイルスを獲得したコナジラミ類は、数時間から数日間媒介能を有する）で、経卵伝染はしない。また、栽培環境下では、汁液伝染、土壤伝染、種子伝染はしないとされている。

7 防除対策

本病はトマト黄化葉巻病と同様にコナジラミ類（トマト黄化葉巻病はタバココナジラミのみ）によって媒介されるため、トマト黄化葉巻病と同様の対策を行う。

1) 施設栽培では、開口部をできる限り細かい網目の防虫ネット（1mm 以下、0.4mm 以下が望ましい）で覆い、侵入を防ぐ。また、UVカットフィルム、光反射フィルム、黄色粘着板等の物理的防除法を利用する。

2) 圃場内外の雑草は発生源となるので、除草に努める。

- 3) 薬剤散布に当たっては、同一系統の薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。なお、タバココナジラミでは、一部地域や施設で感受性が低下している事例があるため、薬剤選択に留意する（表4）。
- 4) 施設栽培では栽培終了後、株を抜き取り枯死させた後、蒸し込みを行い、コナジラミ類を死滅させる。



写真1 黄化症状がみられたハウスの状況



写真2 葉の黄化症状

表. タバココナジラミ幼虫に対する薬剤の効果

薬剤名	IRAC コード	供試希 釗倍数	備考
モスピラン顆粒水溶剤	4A	2,000	※
スタークル/アルパリン顆粒水溶剤	4A	2,000	※
ダントツ水溶剤	4A	2,000	※
トランസフォームフロアブル	4C	2,000	※
ディアナSC	5	2,500	
アファーム乳剤	6	2,000	
コロマイト乳剤	6	1,500	
アニキ乳剤	6	1,000	
カスケード乳剤	15	4,000	※
マッチ乳剤	15	2,000	※
ノーモルト乳剤	15	2,000	※
ベネピアOD	28	2,000	
ウララDF	29	2,000	※
グレーシア乳剤	30	2,000	
ファインセーブフロアブル	34	1,000	

注)※のついた薬剤については、農林水産研究所で、タバココナジラミの2~3令幼虫を用いて検定を実施した結果、効果が大きく低下した事例が認められた薬剤

4 病害虫防除技術情報

5 愛防第9号
令和5年4月12日

各関係機関・団体長様

病害虫防除技術情報（第1号）の送付について

のことについて、次のとおりお知らせしますので、御参考の上、防除指導方よろしくお願ひいたします。

記

1 情報の内容 麦類赤かび病の防除の徹底について

2 発生要因の現状

- (1) 一次感染源となる子のう胞子の飛散量は4月第1半旬は少なく推移していたが、第2半旬に急増し、特に西条市で多くなっている（表1）。
- (2) 1か月予報（4月6日 高松気象台発表、4月8日～5月7日）では、気温は高く、降水量は平年並の予報であることから、発病にはやや助長的であり、播種時期の遅い圃場や追加防除を行っていない圃場では、発生が多くなる恐れがある。
- (3) 本病が最も感染しやすい時期は、出穂から4～5日経過後の開花始期から10日間であり、この時期に温暖で降雨があると感染に好適となる。
- (4) 開花期以降も、気温が高く降雨が多いと二次感染が助長される。

表1 麦類赤かび病菌の子のう胞子飛散状況

		3月			4月	
		第4半旬	第5半旬	第6半旬	第2半旬	第2半旬
松山市上難波	令和5年	4	28	9	10	25
	平年	28.9	20.5	42.4	33.5	33.5
西条市丹原	令和5年	1	20	21	12	90
	平年	11.1	9.4	16.1	20.3	19.3

（単位：カバーグラス（1.8cm×1.8cm）2枚分の胞子個数）

注）明日山考案による胞子採集器を西条市丹原、松山市上難波の麦栽培圃場内に設置。

平年値は令和4～平成25年の平均値。

◎子のう胞子飛散状況は病害虫防除所ホームページの「調査データ」にて随時更新しています。

3 防除上の注意

- (1) 本病が最も感染（一次感染）しやすい時期は、裸麦、小麦ともに開花始期から10日間であることから、この時期に当たる圃場では必ず防除を実施する。
- (2) 開花期の防除時期に当たる圃場は防除を行うとともに、1回目の防除を行った圃場では1回目防除の7～10日後に追加防除を実施する。
- (3) 乳熟期以降も気温が高く、連続した降雨があると、二次感染が起こり発生が増加する。出穂25日後頃までが、この二次感染防止に有効な追加防除時期になる。
- (4) 防除薬剤は、トップジンM剤、ワークアップ剤、シルバキュアプロアブル等を使用する。これら薬剤は、カビ毒(DON等)の含有濃度を低減する効果が高い。
- (5) 薬剤散布に当たっては使用基準を遵守し、周辺作物に飛散しないよう注意する。なお、トップジンM粉

剤 DL、同水和剤は、麦類（小麦を除く）では出穂期以降1回以内、小麦では出穂期以降2回以内、スミトップ粉剤は総回数1回の使用となっているので使用回数に注意する。

5 愛防第33号
令和5年6月28日

各関係機関・団体長様

病害虫防除技術情報（第2号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参考の上、発生の確認と防除指導方よろしくお願いします。

記

1 情報の内容 サトイモ疫病の早期発見と防除の徹底について

2 発生経過

令和5年6月26日、四国中央市においてサトイモ疫病の本年度の初発が確認された。本病は、平成27年に県内での発病が初めて確認され、本年度は最も早い初発となった。

3 当面の防除対策

- (1) 圃場内の発生は周辺箇所から始まることが多いため、こまめに観察し、さといもの中位葉から下位葉の発病有無を確認する。
- (2) 発病茎葉は早急に除去し、圃場外に持ち出し適切に処分する。
- (3) ランマンフロアブル、ジーフайн水和剤、ペンコゼブ水和剤、ジマンダイセン水和剤による定期的な予防散布を行い、発病が認められた圃場では、直ちにダイナモ顆粒水和剤を散布し、その後、カンパネラ水和剤、ベネセット水和剤、アミスター20フロアブルを散布する（表、図1参照）。なお、さといもの茎葉は水をはじきやすく薬剤が付着しにくいので、展着剤を必ず加用する。
- (4) 台風の通過後に茎葉が損傷した場合にも発病茎葉を圃場外に持ち出し（袋に入れて密閉）、圃場内の菌密度を下げ、直ちに治療剤であるダイナモ顆粒水和剤、カンパネラ水和剤、ベネセット水和剤、アミスター20フロアブルを散布する。
- (5) 治療効果のある薬剤を散布した後は、病斑の変化をよく観察する（図2参照）。

表 サトイモ疫病に対して使用できる殺菌剤

農薬名	FRACコード	希釈倍数（倍）	使用時期	本剤の使用回数	期待できる防除効果
ジーフайн水和剤	NC+M1	1,000	収穫前日まで	-	予防効果
ペンコゼブ水和剤	M3	500	収穫7日前まで	2回以内	予防効果
ジマンダイセン水和剤					
ランマンフロアブル	21	2,000	収穫前日まで	2回以内	予防効果
アミスター20フロアブル	11	2,000	収穫14日前まで	3回以内	予防とある程度の治療効果
ダイナモ顆粒水和剤	21+27	2,000	収穫21日前まで	3回以内	予防と治療効果
カンパネラ水和剤	40+M3	1,000	収穫7日前まで	2回以内	予防と治療効果
ベネセット水和剤					

※ペンコゼブ水和剤、ジマンダイセン水和剤、カンパネラ水和剤、ベネセット水和剤は同一成分（マンゼブ：FRACコードM3）を含み、また、カンパネラ水和剤、ベネセット水和剤は同一成分（マンゼブ+ベンチアバリカルブイソプロピル：FRACコード40）であるため総使用回数に注意（各成分2回以内）

※適用登録：令和5年6月現在。

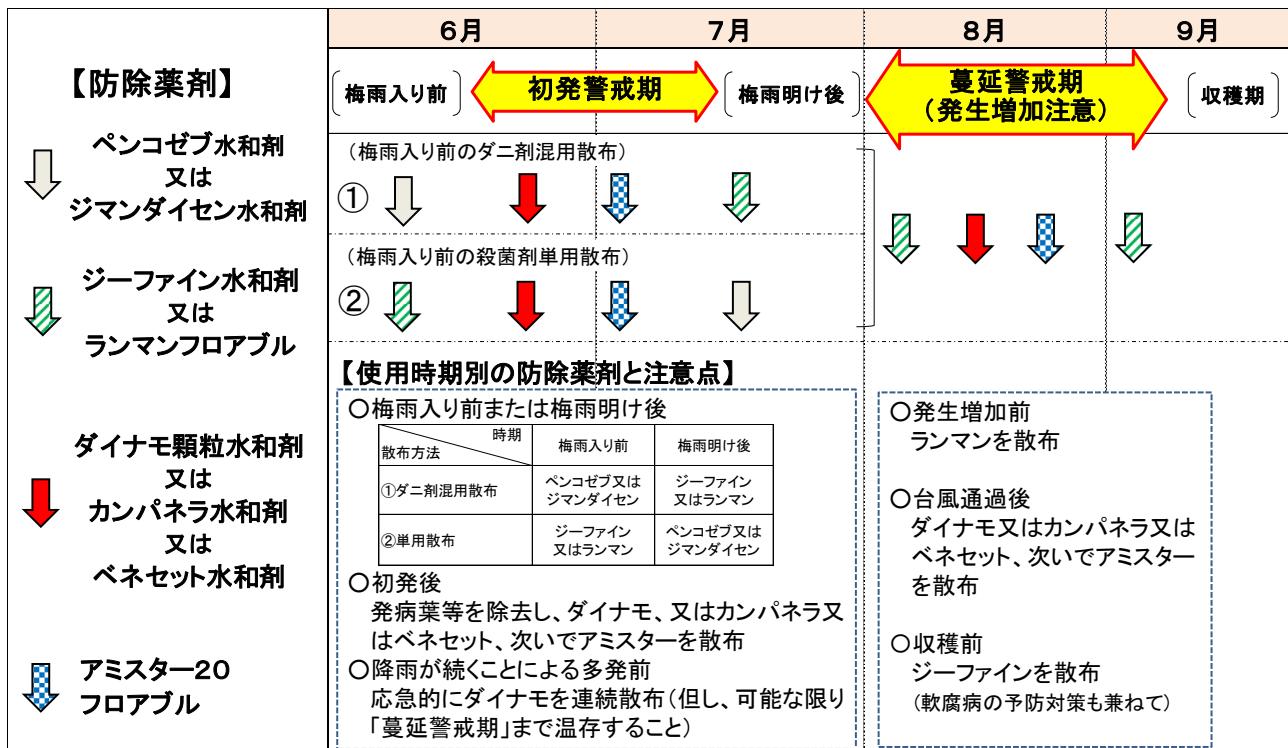


図1 サトイモ疫病の防除体系モデル



＜薬剤散布前の病斑＞
病斑の輪郭がぼやけている
白色部分は遊走子のうの塊

＜治癒した病斑＞
病斑の輪郭が明確に見える
遊走子のうが消えている

＜治癒していない病斑＞
病斑の一部がぼやけている
(○部分)

図2 治療効果のある薬剤散布後の病斑治癒

各関係機関・団体長様

病害虫防除技術情報（第3号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参考の上、防除指導方よろしくお願いします。

記

1 情報の内容

広域調査における水稻主要病害虫の発生状況等（7月）について

2 発生状況等

(1) いもち病（葉いもち）

- 1) 7月中・下旬に県下全域の早期及び普通期水稻（220圃場）を調査した結果、発生圃場率は27.3%であり、平年（19.5%）に比べやや高かったが、昨年及び一昨年に比べるとやや低かった（図1）。
- 2) BLASTAM（気象条件を基にいもち病菌の感染しやすい日を推定するシステム）では、7月上旬に感染好適条件（+）が14地点中の8地点で認められたが、中旬以降は準感染好適条件（±）は出現するが感染好適条件は認められていない。なお、7月の準感染好適条件は昨年に比べ少なかった（病害虫防除所ホームページ掲載データを参照）。
- 3) 気象予報（1か月予報：8月10日発表）では、気温は高く、降水量はほぼ平年並とされており、発生にやや抑制的であるが、台風6号・7号の影響により降水量が多かった地域では注意が必要である。

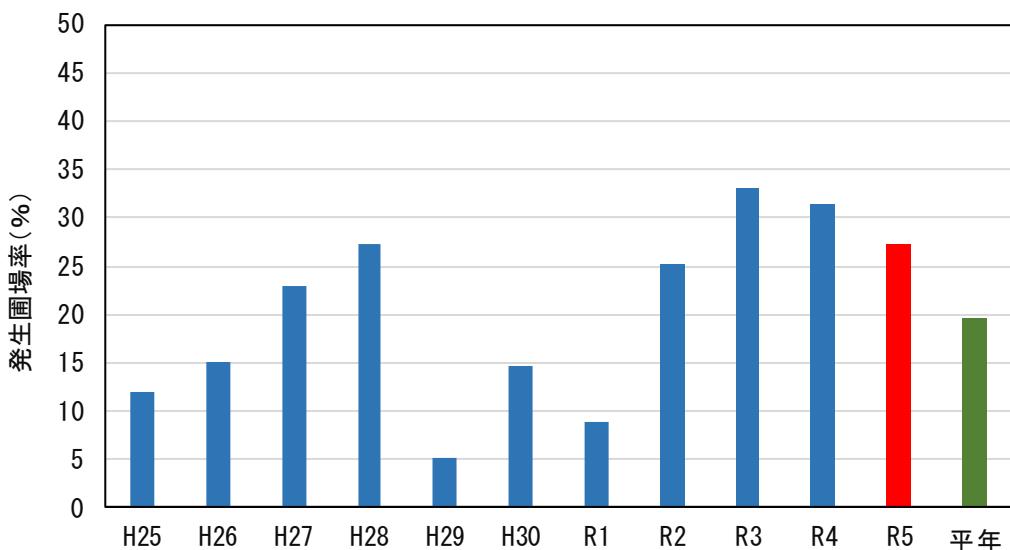


図1 いもち病（葉いもち）の年別発生状況（広域調査：7月）

(2) 紹枯病

1) 広域調査（220 圃場）の結果、発生圃場率は 13.2%、発生度は 4.7 であり、発生圃場率、発生度ともに平年（発生圃場率：19.5%、発生度：6.5）に比べやや低かった（図2、図3）。

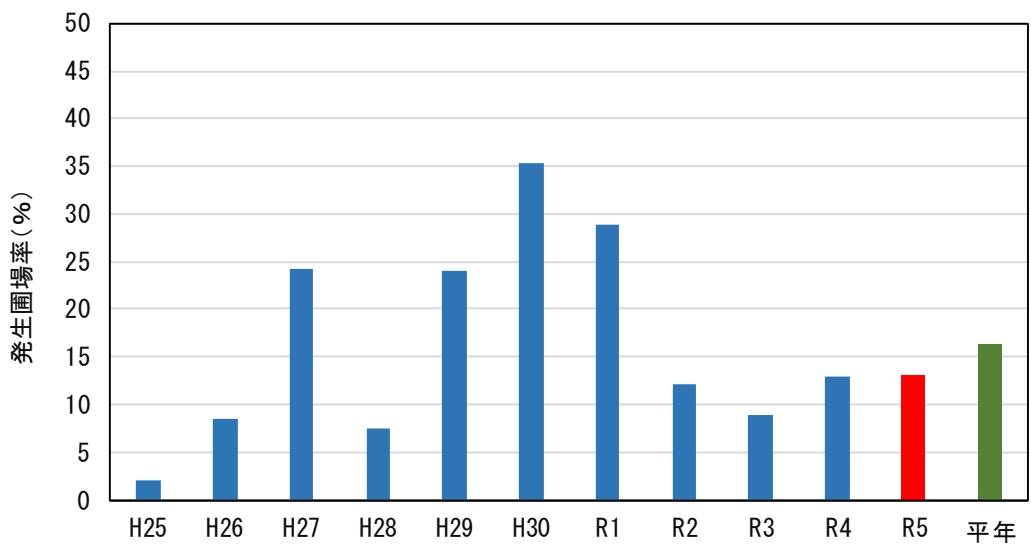


図2 紹枯病の年別発生状況(広域調査:7月)

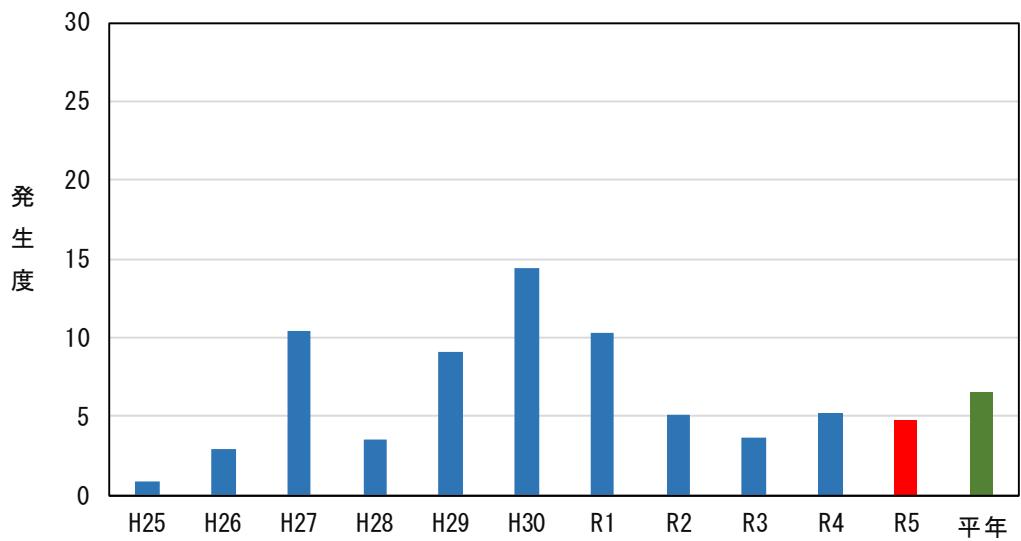


図3 紹枯病の年別発生状況(広域調査:7月:発生度)

(3) トビイロウンカ

1) 広域調査（県下全域：220 圃場）では、発生は確認されなかった。

なお、広域調査以外で7月21日に南予の1圃場、8月1日の広域調査で中予の1圃場で発生を確認している（図4）。

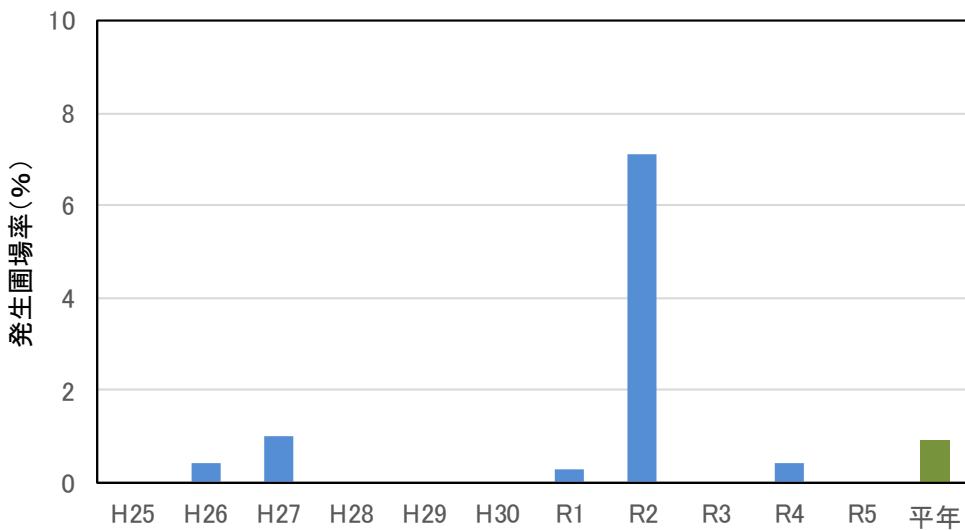


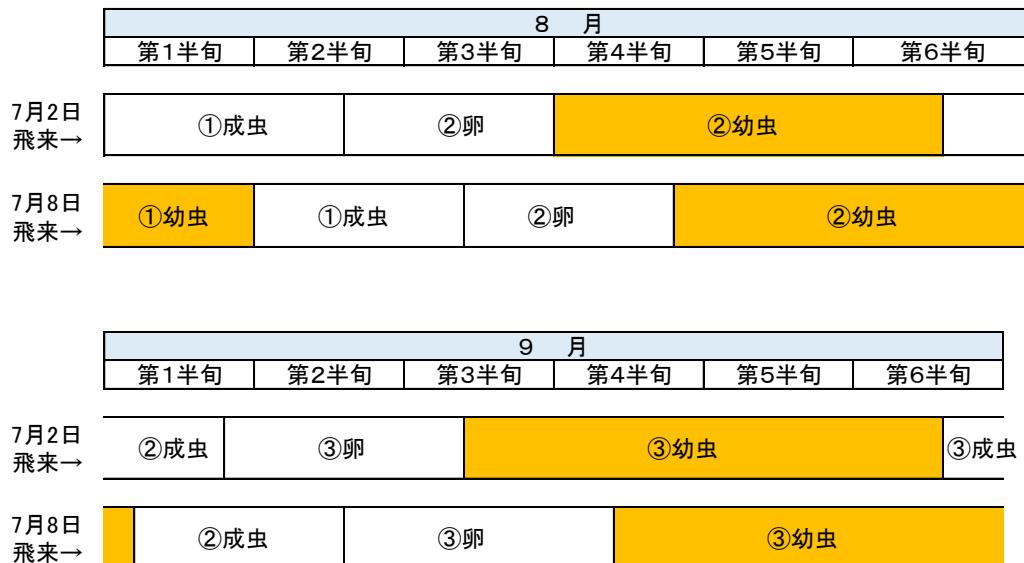
図4 トビイロウンカの年別発生状況(広域調査:7月)

2) 予察灯では、7月1日に愛南町で飛来を初確認（1頭）したが、それ以降は8月第1半旬まで認められていない。また、愛南町以外の4地点（西条市、松山市、松前町、久万高原町、西予市）の予察灯では、未確認である。

なお、8月1日に発生を確認した中予の圃場では幼虫が確認されており、幼虫の発育ステージから、セジロウンカの飛来が多かった7月2～8日頃の間に主要な飛来があったものと推定される。

7月2日及び8日を初飛来日とする今後の発生をシミュレーションすると、防除適期となる第2世代幼虫の時期は8月第4～6半旬と推定された。また、主に坪枯れ被害を発生させる第3世代幼虫の時期は9月第3～6半旬と推定された（下図参照）。

トビイロウンカ発生予想図（2023年8月4日作成 アメダス地点:松山）



①:第1世代 ②:第2世代 ③:第3世代

発育零点12.0°C、発育上限温度28.5°C、発育停止温度33.0°C

有効積算温度 成虫100.0°C、卵109.4°C、幼虫189.4°C

アメダス地点:松山 2023年8月3日まで実測、以降平年値

JPP-NET 有効積算温度計算シミュレーション version2 により算出

(4) コブノメイガ

1) 広域調査の結果（県下全域：369 圃場：8月第1半旬も含む）では、発生圃場率は23.3%であり、平年（24.5%）とほぼ同等であった（図5）。

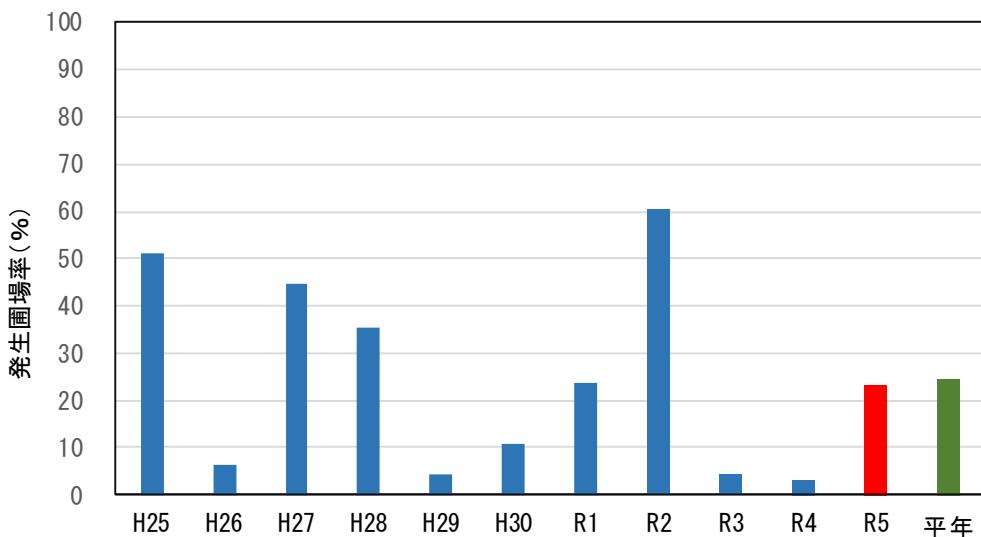


図5 コブノメイガの年別発生状況(広域調査:7月)

2) 予察灯では、7月31日に松前町で飛来を初確認（1頭）、7月20日に愛南町の圃場で幼虫が確認され、発育ステージからセジロウンカが多かった7月2～8日頃の間に主要な飛来があったものと推定される。7月2日及び8日を初飛来日とする今後の発生をシミュレーションすると、第2世代幼虫の時期は8月第2～6半旬と推定された（下図参照）。

コブノメイガ発生予想図（2023年8月4日作成 アメダス地点:松山）



①:第1世代 ②:第2世代 ③:第3世代

発育零点 成虫13.0°C、卵12.9°C、幼虫12.5°C、蛹14.2°C

有効積算温度 成虫50.0°C、卵49.0°C、幼虫250.0°C、蛹87.0°C

アメダス地点:松山 2023年8月3日まで実測、以降平年値

JPP-NET 有効積算温度計算シミュレーション version2 により算出

5 愛防第42号
令和5年10月18日

各関係機関・団体長様

病害虫防除技術情報（第4号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願ひします。

記

1 情報の内容

チョウ目害虫による冬春野菜に対する加害の注意について

2 対象害虫

ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ、オオタバコガ

3 対象作物

アブラナ科野菜、レタス、いちご等

4 発生状況

県下に設置したチョウ目害虫の性フェロモントラップ誘殺数は、10月第1～2半旬頃に、ハスモンヨトウでは7地点中3地点（図1～7）で、シロイチモジヨトウ（図8～12）、オオタバコガ（図13～17）ではそれぞれ5地点中5地点で多くなっている。

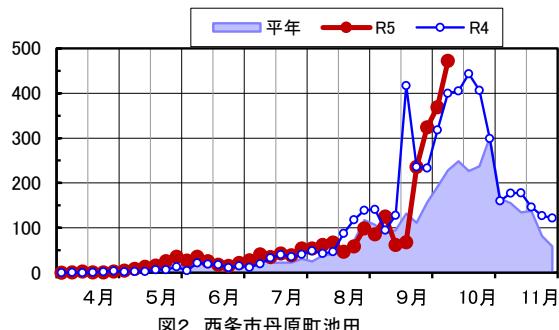
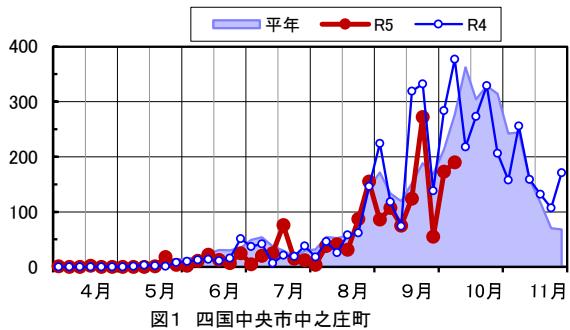
誘殺数が多くなっている地点では、今後、幼虫による食害が懸念されるので注意する。

5 防除上の注意

幼虫の齢期が進むことや、茎や結球部への潜り込みで防除効果が低下するので、早期発見に努め、卵塊や若齢幼虫の集団加害葉の除去を行うとともに、若齢幼虫期の防除を心がける。

また、施設栽培では開口部へ防虫ネットを設置し、成虫の内部への侵入を防ぐようとする。

○ハスモンヨトウ（性フェロモントラップ誘殺数）



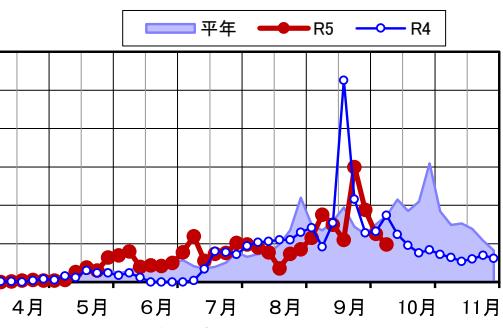
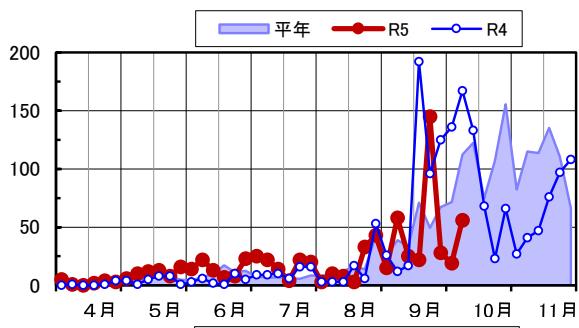


図4 伊予市下三谷

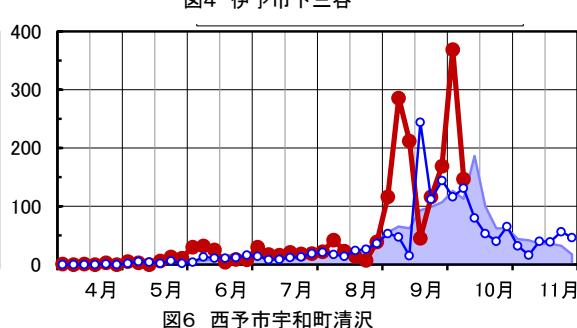
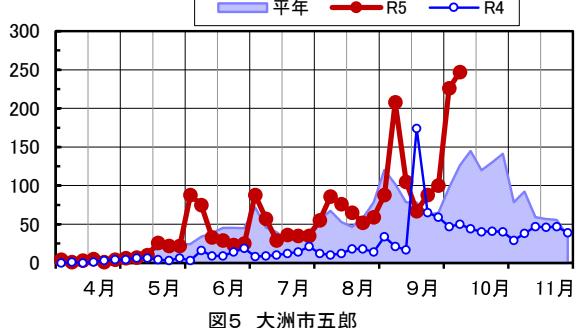


図6 西予市宇和町清沢

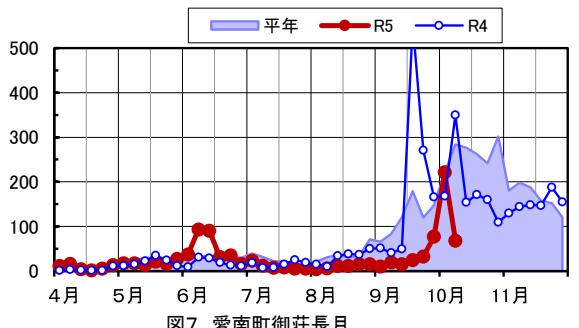


図7 愛南町御荘長月

○シロイチモジヨトウ (性フェロモントラップ誘殺数)

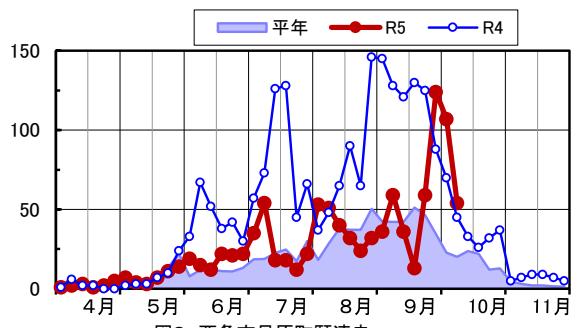


図9 松山市上難波

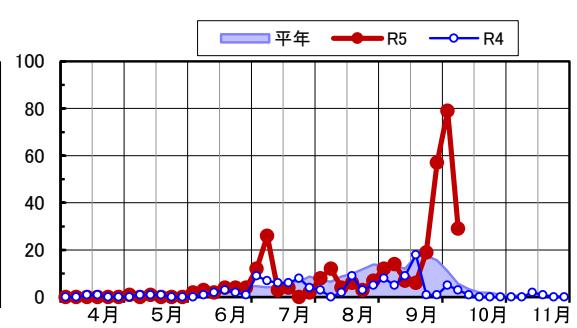
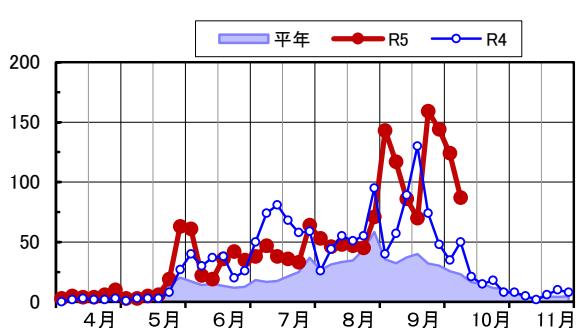
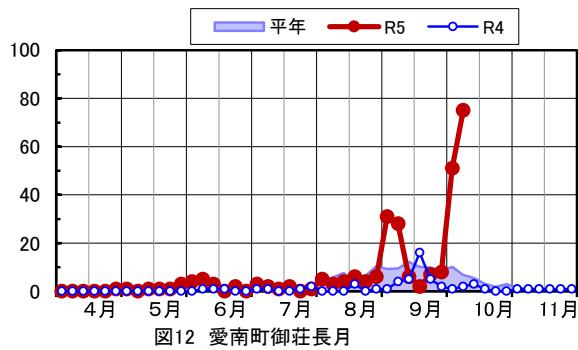
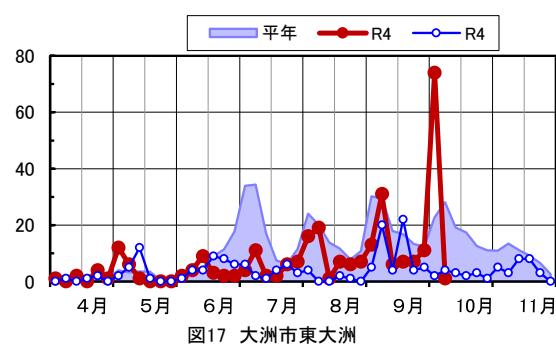
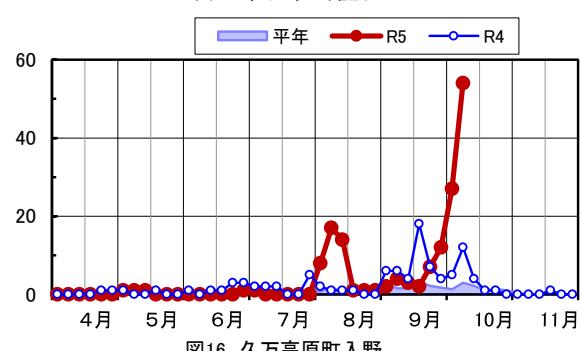
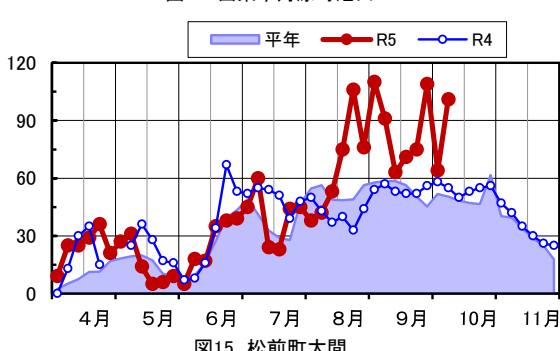
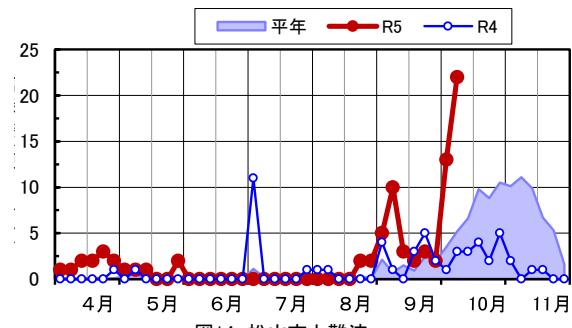
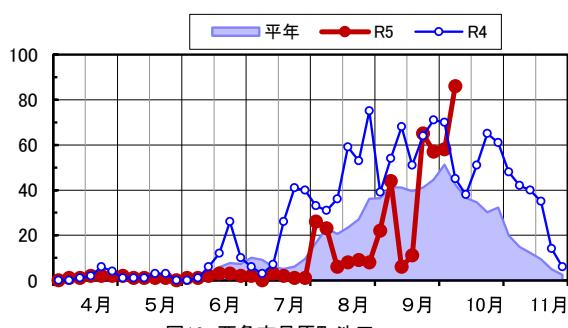


図11 大洲市東大洲



○オオタバコガ (性フェロモントラップ誘殺数)



各関係機関・団体長 様

病害虫防除技術情報（第 5 号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参考の上、防除指導方よろしくお願ひします。

記

1 情報の内容

施設栽培トマトにおけるトマトキバガによる被害の初確認について

2 対象作物

トマト、ミニトマト

3 発生の経過

本虫は重要病害虫侵入警戒調査において、令和 4 年に松前町のトマト施設周辺に設置したトマトキバガの性フェロモントラップで発生が初確認され（令和 4 年 5 月 20 日付け、病害虫発生予察特殊報第 1 号参照）、これまでに、久万高原町、大洲市、松山市、伊予市でも発生が確認されている。しかし、現在まで本虫による農作物の被害は認められていなかった。

10 月上旬に久万高原町のトマト生産者より、本虫の幼虫による葉の被害と思われる症状が見られたと連絡があったため、寄生葉を採取し羽化させて確認したところトマトキバガであった。

4 被害・発生状況

トマトの葉の内部に幼虫が潜り込んで食害し、葉肉内に孔道が形成される。食害部分は表皮のみを残して薄皮状になり、白～褐変した外観となる（写真 1）。果実では、幼虫が穿孔侵入して内部組織を食害するため、果実表面に数 mm 程度の穿孔痕が生じるとともに食害部分の腐敗が生じ果実品質が著しく低下するとされるが、現在のところ確認されていない。

現地での発生量は少なく、寄生株率 13% で、1 株に 1～2 か所程度の被害葉が見られた。

5 本種の特徴

（1）形態

成虫は翅を閉じた静止時（写真 2）で体長 5～7 mm。前翅は灰褐色で黒色斑が散在する。後翅は一様に淡黒褐色である。幼虫は終齢で約 8 mm に達する。体色は淡緑色～淡赤白色で、前胸の背面後縁に狭い黒色横帯を有する（写真 3）。

（2）生態

1 年に複数回の世代が発生し、繁殖力が高い。発生世代数は環境条件によって異なり、南米では年に 10～12 世代発生することが報告されている。卵～成虫になるまでの期間は 24～38 日程度で、気温が低い時期はさらに延びる。また、発育下限温度は 8 ℃ とされている。

成虫は夜行性で、日中は葉の間に隠れていることが多い。雌は一生のうち平均約 260 個の卵を寄生植物の葉の裏面などに産み付ける。幼虫は 1 齢～4 齢までの生育ステージがあり、土中や葉の表面で蛹化（写真 4）する。

6 防除対策

- （1）圃場をよく見回り、見つけ次第捕殺もしくは被害葉を処分する。
- （2）被害葉や被害果実は圃場内に放置せず、土中に埋めるなど適切に処分する。
- （3）発生圃場では発生を拡大させないため、薬剤散布を行う。散布に当たっては薬剤抵抗性を発達させないため、系統の異なる薬剤でローテーション散布を行う。



表 トマトキバガに対する防除薬剤

農薬の名称	作物名称 トマト ミニトマト	使用方法	希釗倍数使用量	使用時期	本剤の 使用回数	IRACコード
ダブルシーターSE	○ ○	散布	1000倍	収穫前日まで	2回以内	5
ディアナSC	○ ○	散布	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内	5
アファーム乳剤	○ ○	散布	2000倍	収穫前日まで	5回以内	6
アグリメック	○ ○	散布	500~1000倍	収穫前日まで	3回以内	6
コテツフロアブル	○ ○	散布	2000倍	収穫前日まで	3回以内	13
トルネードエースDF	○ ○	散布	2000倍	収穫前日まで	2回以内	22A
フェニックス顆粒水和剤	○ ○	散布	2000倍	収穫前日まで	2回以内	28
ベリマークSC	○ ○	灌注	400株当たり25ml	育苗期後半~定植当日	1回	28
プリロッソ粒剤	○ ○	株元散布	2g/株	育苗期後半~定植時		
プリロッソ粒剤オメガ	○ ○	株元散布	2g/株	育苗期後半~定植時		
ベネビアOD	○ ○	散布	2000倍	収穫前日まで	3回以内	28
ヨーバルフロアブル	○ ○	散布	2500倍	収穫前日まで	3回以内	28
グレーシア乳剤	○ ○	散布	2000倍	収穫前日まで	2回以内	30
プレオフロアブル	○ ○	散布	1000倍	収穫前日まで	2回以内	UN

※ベリマークSC、プリロッソ粒剤、プリロッソ粒剤オメガ、ベネビアODは同一成分のため、使用回数に留意する。

各関係機関・団体長 様

病害虫防除技術情報（第 6 号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参考の上、防除指導方よろしくお願いします。

記

1 情報の内容

タマネギベと病の防除の徹底について

2 発生状況

2 月中旬に広域調査を実施した結果、発生圃場率は 14.1%（表 1）で、東予地域中心に平年に比べて高くなっている。

2 月 22 日発表の気象予報では、気温、降水量ともにほぼ平年並とされており、現在の発生傾向が続くものとみられる。

3 防除上の注意

- (1) 越年罹病株（一次伝染株）は、やや萎縮し葉身が湾曲する症状を示す（写真 1）。湿潤な気象条件下（気温 15°C 前後、降雨が続く場合）では、罹病株上に多量の分生子が形成され、周辺に飛散し二次伝染を起こす。
- (2) 圃場観察を丁寧に行い、早期発見に努め、越年罹病株は直ちに抜き取り、圃場外に持ち出し適切に処分する。
- (3) 排水不良の圃場で発生が多いため、降雨後の排水に努める。
- (4) 発病後の薬剤散布は防除効果が劣るので予防に重点を置き、計画的に防除を実施する。なお、たまねぎの葉身は薬液の付着性が悪いため、展着剤を必ず加用し散布する。
- (5) 防除は降雨等の天候を考慮しながら 7~10 日間隔で行う。また、同一系統の薬剤の連用を避ける。
- (6) 農薬の散布にあたっては農薬安全使用基準を順守し、周辺農作物への飛散防止対策を徹底する。

表 1 広域調査におけるベと病の発生調査結果

調査年 (暦年)	作型	調査 圃場数	発生 圃場数	発生圃 場率(%)	程度別圃場数				発生程度	平均発病 株率(%)
					甚	多	中	少		
2020	普通	62	6	9.7	0	0	0	6	1.38	0.35
2021	普通	94	2	2.1	0	0	1	1	0.61	0.45
2022	普通	60	2	3.3	0	0	0	2	0.48	0.05
2023	普通	94	1	1.1	0	0	0	1	0.15	0.01
2024	普通	92	13	14.1	0	0	0	13	2.02	0.19
平年(4年間)				4.1					0.65	0.21

程度別面積：甚（発病株率 71% 以上）、多（同 41~70%）、中（同 21~40%）、少（同 1~20%）

病害虫発生予察要綱に基づき設定。

発生程度 :
$$\frac{(\text{甚の圃場数} \times 7 + \text{多の圃場数} \times 5 + \text{中の圃場数} \times 3 + \text{少の圃場数})}{(\text{調査圃場数} \times 7)} \times 100$$



写真1 越年罹病株（一次伝染株）の状況

令和5年度の主要病害虫の発生及び防除状況

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
水稻	葉いもち	平年： 早 期 普通期 前年： 早 期 普通期	早期： 巡回調査では7月から発生が確認され、急激に発生圃場が増加したものの、8月にかけて病勢は衰えた。 巡回調査での発生圃場率は7月66.7%（平年比多）、8月33.3%（平年並）、平均発病度は、7月1.23（平年比やや多）、8月1.83（平年比多）であった。 普通期： 7月5日三間町の品種「ひめの凜」で初発を確認した。巡回調査では7月から発生が確認され、急激に発生圃場が増加したものの、8月にかけて病勢は衰えた。 巡回調査での発生圃場率は、7月30.0%（平年比多）、8月63.2%（平年並）、9月63.2%（平年比やや多）、平均発病度は7月0.43（平年比やや多）、8月1.76（平年並）、9月1.76（平年やや多）であった。	早期： 5月下旬～6月上旬、7月上旬に降雨が平年より多く、特に東予地域ではBLASTAMによる感染好適日が広範囲に出現しており発病に助長的であった。7月中下旬の気温は平年より高く、降水量は平年より少なく経過し発病に抑制的であった。 普通期： 7月上旬に降雨が平年より多く、発病に助長的であったが、7月中下旬は気温は平年より高く、降水量は平年より少なく経過し発病に抑制的であった。	育苗箱施用（早期栽培ではピロキロン含有剤主体。普通期栽培では、トビイロウンカ対策のためにトリフルメゾピリム剤との混合剤が増加）。
	穂いもち	平年： 早 期 普通期 前年： 早 期 普通期	早期： 葉いもち発生圃場を中心に発生が確認されたが、発病程度の高い圃場は見られなかった。 巡回調査での発生圃場率25.0%（平年比やや多）、平均発病穂率0.10（平年並）であった。 普通期： 南予地域で広範囲に発生が確認され、一部でやや発生が多い圃場も見受けられたが、東中予地区平野部での発生は限定的で全体として並の発生であった。 巡回調査での発生圃場率21.1%（平年比やや少）、平均発病穂率0.75（平年比多）であった。	早期： 4月植えの出穂期にあたる7月上旬に降雨が平年より多く、発病に助長的であったが、7月中下旬は気温は平年より高く、降水量は平年より少なく経過し発病に抑制的であった。 普通期： 出穂期にあたる8月上旬、8月下旬に降雨が平年より多く発病に助長的で広範囲の発病につながったが、気温が平年並～高く経過し発病程度を抑えたと推定される。	出穂期頃の本田散布。 早期普通期とも通常1回。 早期：一部常発地域では2回の定期防除、一部地域では殺虫剤のみの散布。 普通期：一部常発地域では3回の定期防除。
	紋枯病	平年： 早 期 普通期 前年： 早 期 普通期	早期： 巡回調査では8月に発生が確認された。 平均発病度は3.48（平年比やや多）、8月広域調査での発病圃場率は59.5%であった。 普通期： 巡回調査では8月から発生が確認され、上位進展が見られる圃場も確認された。平均発病度は8月0.37（平年並）、9月3.76（平年並）であった。	早期栽培では、本病に有効な箱処理剤の実施率が高くなかった。期間をとおして気温が高く経過し、さらに出穂後も高温で発生が助長された。 普通期栽培では期間をとおして高温傾向が増加した。9月以降も高温となり上位進展が多く認められた。 西予地域で本病に有効な成分を含む箱施用剤へ変更しており、発生を抑制している。	早期では、本病に効果のある成分を含まない箱施用剤が主体で、本田防除による対応が主体。 普通期では、本病に効果のある箱施用剤の実施率が高く、本田出穂期防除との体系防除主体。
	稻こうじ病	平年： 早 期 普通期 前年： 早 期 普通期	早期： 巡回調査及び広域調査での発生は確認されなかった。 普通期： 近年発生の多い地域を中心に広く発生が認められ、一部程度の高い圃場も確認された。	普通期では8月上旬（幼穂分化期～穂孕み期頃）の天候不順により、感染にやや好適な条件となった。 近年発生の多かった地域ではシメコナゾール含有育苗箱施用剤を使用しており、発生はある程度抑えられていると推定される。	発生の多い地域ではシメコナゾール含有箱施用剤の施用。本病に効果の高い銅剤は散布適期が他病害と異なるため実施率は低い。
	ばか苗病	平年： 早 期 普通期 前年： 早 期 普通期	早期： 巡回調査での発生は確認されなかった。 普通期： 巡回調査での発生は確認されなかった。	自家採取圃場は少なくなってきたと推定される。自家採取圃場での種子消毒剤を実施する場合、トリフルミゾール剤等の感受性の低下した薬剤から他剤への切り替えが進んでいる。	種子消毒（薬剤はプロクラズ剤、イブコナゾール剤主体）。 種子更新。

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
水稻	もみ枯細菌病	平年： 早 期 並 普通期 やや少	早期： 巡回調査での発生は確認されなかった。	普通期では、8月の出穂前後に高温で雨量も多かった地域があり、発病を助長したと推定される。	種子消毒（銅剤、オキソリニック酸剤主体）。 出穂期の穂いもちとの同時防除。本病のみを対象した防除は少ない。
		前年： 早 期 やや少 普通期 やや少	普通期： 巡回調査での発生は確認されなかったが、一部の中南予地域の8月中下旬出穂圃場において発生が確認された。圃場における発病程度は少であった。		
穫葉枯病	平年： 早 期 並 普通期 並	早期： 巡回調査での発生は確認されなかった。	ヒメトビウンカの発生は広く認められるが、本虫に有効な育苗箱施用剤の実施率は高いと推定され圃場での密度を低く抑えていると考えられる。	育苗箱施用剤の施用。	
	前年： 早 期 やや少 普通期 やや少	普通期： 巡回調査での発生は確認されなかった。	予察灯での飛来状況から海外飛来個体は少なく、保毒虫の越冬量も少なかったと推定される。	出穂期に他の病害虫との同時防除。	
ごま葉枯病	平年： 早 期 並 普通期 並	早期： 巡回調査では8月に発生が確認された。 平均発病度は2.08（平年並）であった。	秋落ち田での発生が多い。 期間をとおして高温で経過し発病には助長的であった。	出穂期防除の実施。	
	前年： 早 期 やや少 普通期 やや少	普通期： 巡回調査では9月に発生が確認された。 平均発病度は0.89（平年並）であった。 一部地力低下圃場において多発圃場が確認された。			
イネミズゾウムシ	平年： 早 期 やや少 普通期 並	早期： 巡回調査では5月から発生が確認された。 発生圃場は平年よりやや少なく、例年確認できる圃場で確認できない圃場もあった。密度の高い圃場もなかった。	本虫に効果のある箱施用剤の普及により発生は抑制されていると推定される。	育苗箱施用剤の施用。	
	前年： 早 期 やや少 普通期 やや少	普通期： 6月に発生が確認された。 発生圃場は平年並で、密度の高い圃場はなかった。			
コブノメイガ	平年： 早 期 やや少 普通期 並	早期： 7月4半旬から圃場での被害を確認された。一部やや密度の高い圃場が確認されたものの全体的な密度はやや少なく経過した。	予察灯でのセジロウンカの飛来状況と本田での幼虫の発育状況、隣県の飛来状況から、主な飛来波は、7月2日、7月8日頃と推定され、飛来量は、本虫に適用のある育苗箱施用剤の普及率が低い早期での被害状況から少なかったと推定される。	育苗箱施用剤、出穂期防除で対応。	
	前年： 早 期 やや少 普通期 やや多	普通期： 8月以降、やや被害が目立つ圃場は増加し、平年並となつた。	普通期水稻では、本虫に適用のある育苗が庫施用剤普及率が高く発生密度を抑制している。		
セジロウンカ	平年： 早 期 やや少 普通期 やや少 前年： 早 期 やや多 普通期 やや多	巡回調査では7月から発生が確認された。多発圃場は確認されず発生量は概ねやや少で経過した。	予察灯（6か所）での初飛来は6月26日、主な飛来波は、7月2日、7月8日頃と推定される。飛来量は少なかった。 本虫に適用のある育苗箱施用剤普及率が高く発生密度を抑制している。	育苗箱施用剤、出穂期防除で対応。	

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
水稻	ツマグロヨコバイ	平年： 早 期 やや少 普通期 並	早期： 巡回調査では8月に発生が確認され、発生量はやや少であった。 普通期： 巡回調査では7月から発生が確認され、発生量は期間を通じて並であった。	本虫に適用のある育苗箱施用剤普及率が高く発生密度を抑制している。	育苗箱施用剤、本田剤の散布で対応。
	トビイロウンカ	平年： 早 期 並 普通期 やや少	早期： 8月に僅かに発生が確認された。 普通期： 8月から発生が確認された。やや密度が高い圃場も確認されたが僅かであった。南予の一部で僅かに坪枯が発生している	予察灯（6か所）での初飛来は7月1日、本県での捕獲頭数は例年少ないため、セジロウンカの飛来状況と本田での幼虫の発育状況、隣県の飛来状況から、主な飛来波は、7月2日、7月8日頃と推定され、隣県での本虫の飛来量から、本県での飛来量も少ないと推定される。 本虫に効果の高いトリフルメゾピリム剤含有育苗箱施用剤の普及率が高くなつており発生を抑制したと推定される。	育苗箱施用剤、本田防除は出穂期と仕上げ防除（出穂10-15日後）を実施。
	ニカメイガ	平年： 早 期 並 普通期 並 前年： 早 期 並 普通期 並	僅かに発生が確認された。	-	育苗箱施用剤、本田剤の散布で対応。
斑点米カメムシ類	平年： 早 期 やや少 普通期 並	早期： 出穂期にあたる7月の畦畔での発生地点率は少なく、最も収穫時期の早い愛南町では斑点米カメムシ類による格落ちがなかつた。	-	-	畦畔の除草、水田内の雑草除去。 本田の定期防除（出穂期のみか、出穂期及び出穂10-15日後の2回）散布。
	前年： 早 期 やや少 普通期 やや少	普通期： 出穂期にあたる8月の畦畔での発生地点率は並であったが、虫数はやや少であった。 発生種は、アカスジカスミカメが多く、次いでクモヘリカメムシ、ホソハリカメムシであった。なお、県下でイネカメムシの確認事例が増えて優先種となつている圃場も見られる。	-	-	
	ヒメトビウンカ	平年： 早 期 並 普通期 並	早期： 6月から発生が確認された。発生量は概ね並で経過した。 普通期： 7月から発生が確認された。発生量は9月にやや多となつたが概ね並で経過した。	本虫に効果の高いトリフルメゾピリム剤含有育苗箱施用剤の普及率が高くなつており発生を抑制したと推定される。	育苗箱施用剤、本田剤の散布。
フタオビコヤガ	平年： 早 期 やや少 普通期 やや少	早期： 7月から発生が確認された。発生量はやや少であった。	普通期栽培では本虫に効果のある箱施用剤の普及率が高く発生を抑制している。	育苗箱施用剤、本田剤の散布。	
	前年： 早 期 やや多 普通期 やや多	普通期： 9月に発生が確認された。発生量はやや少であった。			

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
水稻	イチモンジセセリ	平年： 早 期 並 普通期 やや少 前年： 早 期 やや多 普通期 やや少	早期： 7月から発生が確認された。発生量は並であった。 普通期： 8月に発生が確認された。発生量はやや少であった。	普通期栽培では本虫に効果のある箱施用剤の普及率が高く発生を抑制している。	育苗箱施用剤、本田剤の散布。
麦	赤かび病	平年：並 前年：並	裸麦では4月下旬頃から発生が散見されたが、5月上旬の主要産地の広域調査では並の発生であった。また、小麦でも5月上旬から発生が見られたが、発生の多い圃場は見られなかった。	3月15日から実施している子のう胞子の飛散量は、3月5半旬、4月2半旬に一部で多くなった。 開花期前後はあまり降雨ではなく、降雨の際の気温も低めでその後晴天となることが多く、感染には抑制的であった。	開花期を中心とした薬剤散布。 1回散布主体であるが、2回散布を定期として実施する地域もある。主要薬剤はチオファネートメチル剤
	うどんこ病	平年：並 前年：並	4月中旬頃より発生が認められたが、発生の増加した圃場は見られなかった。	4月の降水量が多く、発生には抑制的であった。	開花期～乳熟期を中心とした赤かび病との同時防除。本病を目的として防除をする事例はほとんどない。
	裸黒穂病	平年：やや少 前年：やや少	発病穂率の高い圃場はみられなかったが、広範囲で広く発生がみられる。	種子消毒の未実施圃場が多い。発病穂の除去は未実施。	種子消毒の実施率が低い傾向。
大豆	ハスモンヨトウ	平年：やや少 前年：やや少	8月頃から食害葉が散見され始め、9月中旬以降被害葉の増加が認められた。	9月以降気温が高く、降水量が少なく推移したため、9月中下旬頃より性フェロモントラップ調査による誘殺数が平年より多くなる地点が見られた。	8月～9月にかけて被害に応じて薬剤を散布。
かんきつ	そうか病	平年：やや多 前年：並	常発園における越冬病斑調査では、発病葉率・発病度とともに平年並であった。発芽が平年より早く、発病は平年並からやや多い発生となつた。新葉では5月から、果実では6月から発病がみられた。一部地域で発生の多い園地がみられた。	発芽期～開花期にかけて降水量が多く経過し発病に助長的であり、4月、5月の降雨により新葉感染はやや増加した。6月上旬、7月上旬の多雨により葉の発病と果実での発病を助長した。	発芽初期と開花期～落弁期には、灰色かび病との同時防除で対応。
	黒点病	平年：並 前年：やや多	6月から発病が認められたものの、発病程度はやや少から平年並で推移した。また、8月下旬以降、降雨が少なく、後期の発病は少なかった。一部で発生の多い園地が見られたが、発生程度はやや低かった。	6月の降水量が平年より多く、初期の発生量が多かった。その後は7月上旬は降水量が多く、7月中下旬は降水量が少なく、8月は平年並の降水量であった。適期防除が行われ、発病がやや少なかった。9月の降水量が少なく、発病に抑制的であった。	落弁期から秋季にかけて降水量に応じた定期防除で対応。
	かいよう病	平年：並 前年：やや少	2月に行った越冬病斑調査では、発生圃場率は平年並、発病度はやや多であり、5月の新梢における発病度、発病葉率ともに平年並であった。6月以降も平年並で推移した。	越冬病斑量はやや多であり、5、6、7月の降水量が多く、発病が助長された。9月以降は降水量が少なく、発生は増加傾向にはならなかった。また、本年は夏秋梢の発生が少なく、かいよう発病がやや抑制であった。	感受性の高い品種を中心に、発芽前と落弁直後の定期防除で対応。多発園では、開花前と6～9月に防除を実施。耕種的防除として、夏秋梢処理と防風垣整備も実施。
	ヤノネカイガラムシ	平年：並 前年：並	第1世代の初発日は平年より早く、第2世代の初発日はやや早であった。発生量は5月、6月は平年並に推移した。一部園地では多発圃場も認められている。	第1世代の発生時期に影響する4月までの気温が平年より高く、発生時期は平年より早かった。マシン油乳剤による冬季防除の省略、スプリンクラー防除園での散布むら、適期防除が実施されていないなど防除方法に問題のある園地がある。	冬季のマシン油乳剤散布と第1世代及び第2世代幼虫期の薬剤散布で対応。スピロトロト剤の普及により多発圃場は減少。
ミカンハダニ	平年：やや少 前年：並	越冬虫数は平年並、4月の発生量は平年並に推移した。5月において寄生葉率はやや少となり、6月以降の発生量は平年並～やや少となつた。7月には寄生葉率は、1葉あたり雌成虫数で12.53%（平年17.56%）と最も高くなつた。	4月の高温により、発芽期の密度が高まつた。また、5月上旬、6月上旬、7月上旬のまとまった降雨により発生は抑制された。また、多くの園地でミヤコカブリダニ等の土着天敵が確認されており、それらが密度を抑制したと考えられる。一部園地の多発要因として、他害虫防除を目的とした薬剤散布による、リサージェンスが考えられた。	冬季のマシン油乳剤散布と秋季を中心とした薬剤防除。	

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
かんきつ	ミカンサビダニ	平年：やや少 前年：並	8月から発生が認められたが、発生は広がらなかった。	6月～7月上旬のまとまった降雨により発生に抑制的であった。	5～8月の定期的な薬剤防除で対応。
	アブラムシ類	平年：やや少 前年：やや少	春芽の新梢への寄生がみられたが、発生はやや少なかった。夏季以降はやや少の発生で推移した。	4月の高温により発生が助長されたが、5月の降水量が多く、発生が抑制されたと考えられる。秋季の発生は乾燥等により秋芽の発生が少なく抑制的であった。	発生園地では、他害虫との同時防除で対応。
	ゴマダラカミキリ	平年：並 前年：並	5月下旬より県内各地で成虫を確認した。一部で発生が多い園地がみられた。	管理不良園や放任園周辺で発生が多かった。成虫の生存期間が長いことから、薬剤防除による効果が不十分な場合がある。	6～7月に本成虫とカイガラムシ類の同時防除で対応。多発園地では、7～8月に株元散布による食入防止対策を実施。
かき	炭そ病	平年：やや多 前年：並	結果母枝の越冬病斑発生園地率は21.7%（平年14.3%）とやや多であった。果実での発病度は平年並となつたが、一部発生の多いほ場が認められた。	7月上旬の降雨により発病が助長され、8月には平年並の降雨があり、発病に助長的であった。	定期的な薬剤防除で対応。徒長枝や発病枝及び果実の処分徹底。
	うどんこ病	平年：並 前年：並	5月に発生が確認され、その後生育期間を通して発病葉率、発病度ともに平年並に推移した。	前年の発生が平年並であり、越冬密度が平年並であった。適期防除や定期的な降雨により発生が抑制された。	定期的な薬剤防除で対応。
	角斑落葉病	平年：並 前年：並	平年並の発生であった。	7月、8月の定期的な降雨により発病が助長された。	定期的な薬剤防除で対応。
	アザミウマ類	平年：並 前年：並	チャノキイロアザミウマの被害は、一部園地で発生が認められたが、多発することなく推移し、やや少の発生であった。	7月の定期的な降雨により発生が抑制された。	定期的な薬剤防除で対応。
	カイガラムシ類	平年：並 前年：並	フジコナカイガラムシは7月から発生がみられ、第一世代の発生量はやや少、8月以降の第二世代の発生量は平年並となつた。	7月上旬のまとまった雨により発生は抑制されたが、その後天候が安定したため、第2世代の発生には助長的であった。	休眠期に粗皮削りを実施。4月の越冬世代が新梢へ移動直後、及び第1、2世代の幼虫発生時期に防除を実施。
	カキノヘタムシガ	平年：並 前年：並	一部の園で発生が認められ、並の発生であった。	定期防除により発生が抑えられた。	休眠期に粗皮削りを実施。葉芽を加害している時期の防除を実施。
	ハマキムシ類	平年：やや少 前年：やや少	やや少の発生であった。	定期防除防除により、発生が抑えられた。	開花から1か月間の防除が重要である。開花後の薬剤防除で対応。
キウイフルーツ	かいよう病	平年：- 前年：やや多	4月から一部の園で樹液の漏出が認められた。定点調査では漏出個所数は昨年より多くなった。葉の発生は昨年より多かったが、新梢での枯死被害がみられた。	4月、5月の降雨により新葉感染が多くなったが、その後は開花期にかけて降雨が少なく、葉の発病が抑制された。	定期的な薬剤防除で対応。園地見回りによる早期発見と発病部位の早期除去を実施。
果樹共通	果樹カメムシ類	平年：少 前年：少	越冬密度及び越冬成虫確認地点率は平年並であったが、フェロモントラップでの誘殺数が急増したことから5月31日付で注意報を発出した。その後も8月中旬まで予察灯・フェロモントラップでの誘殺数が非常に多く推移し、ナシやキウイフルーツ、カキなどで被害が発生した。8月中旬以降は発生量は減少し、9月はやや少～少発生であった。	越冬量は並であった。本年度のヒノキ球果の着球量が少なかったことから、新世代である8月中旬以降の密度は減少したと考えられた。	飛来が認められた園地では、薬剤防除で対応。
冬春トマト	疫病	平年：並 前年：並	発生は確認されなかった。	例年、促成栽培及び半促成栽培における発生は、ほとんど確認されず、散発的に発生する程度である。	発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。発病葉の摘葉等、耕種的防除の実施。
	灰色かび病	平年：多 前年：並	2月から発生が確認された。2月の発病度は0.08（平年0.07）でやや多、3月は0.29（平年0.05）で多、4月は0.25（平年0.13）でやや多、5月は0.18（平年0.06）で多の発生となつた。	2月は気温は平年より高く、発生に助長的であった。3月は気温はかなり高く、発生に助長的であった。4月は気温は高く、降水量はかなり多く、発生に助長的であった。5月は降水量は多く、発生に助長的であった。2月以降は、全般的に施設内の湿度が高まりやすい条件であった。	県内で耐性菌が確認されているベンズイミダゾール系薬剤の使用回避。発病前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。発病葉の摘葉等、耕種的防除の実施。施設換気による適切な温度・湿度管理。

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
冬春トマト	葉かび病	平年：並 前年：やや多	2月から一部圃場で発生が確認された。2月の発病株率は0.33%（平年1.52%）でやや多、3～4月は減少し、平年並の発生となつたが、5月に一部圃場で増加し、発病株率2.00%（平年1.81%）でやや多の発生となつた。	近年は、抵抗性品種が主体となつてゐるので、発生は少ない状況である。 2月は気温は平年より高く、発生に助長的であった。4～5月は降水量は多く、発生に助長的であった。	発生前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。 抵抗性品種の利用。 施設換気による適切な温度・湿度管理。 発病葉の摘葉等、耕種的防除の実施。
	タバココナジラミ	平年：やや少 前年：並	10月から発生が確認された。10月の寄生株率は4.25%（平年4.81%）で平年並、11～2月は減少し、やや少の発生となつたが、3～5月は増加し、5月の寄生株率は0.57%（平年1.57%）で平年並の発生となつた。	黄化葉巻病の媒介虫対策として薬剤による防除圧が高いことから、発生は抑制されたと考えられる。 また、10～11月は晴れの日が多く、降水量は少なく、発生に助長的であったが、12月は気温は低く、発生に抑制的であった。	定植時の粒剤処理。 発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。 防虫ネット（0.4～1mm目）の設置による物理的防除対策の実施。
	オンシツコナジラミ	平年：並 前年：やや少	発生は確認されなかつた。	全般的にオンシツコナジラミの発生は少ない状況である。 黄化葉巻病の媒介虫タバココナジラミに対する薬剤による防除圧が高いことから、発生は抑制されたと考えられる。 また、タバココナジラミに比べ薬剤感受性が相対的に高いことから、本虫の発生は抑制されたと考えられる。	定植時の粒剤処理。 発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。 防虫ネット（0.4～1mm目）の設置による物理的防除対策の実施。
	アブラムシ類	平年：並 前年：やや多	4月に一部圃場で発生が確認されたが、それ以外の時期には発生は確認されなかつた。	全般的にアブラムシ類の発生は少ない状況である。 定植時粒剤処理の防除効果が高く、タバココナジラミに対する防除圧も高くなつてゐることから、本虫発生に抑制的に働いてゐると考えられる。また、防虫ネット（1mm目以下）の設置による侵入抑制効果も大きい。	定植時の粒剤処理。生育中の薬剤散布。防虫ネット（0.4～1mm目）の設置による物理的防除対策の実施。
夏秋トマト	疫病	平年：少 前年：-	僅かに発生が認められた報告があつた。	栽培期間を通じて気温が高く、降水量が少なかつたため、遊走子の形成が少なく、発生に抑制的であった。	発生前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除で対応。発病葉の摘葉等、耕種的防除も併せて行う。
	灰色かび病	平年：並 前年：少	6月中旬の定点調査より発病が確認され、発病度は、6月0.06（並）、7月1.05（多）、8月0.00（少）、9月0.00（少）と推移した。	栽培期間をとおして高温少雨の傾向であったため発生に抑制的であった。7月の多発については、7月上旬の多雨が影響していると考えられる。	発生前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除で対応。排水対策、発病葉の摘葉、密植しないなど耕種的防除の徹底。
	葉かび病	平年：並 前年：少	8月に1圃場で発生が確認された。発病株率は、1.6%（平年0.0%）であった。そのほかの月には発生は確認されなかつた。	Cf-9遺伝子を持った品種の作付けが増えており、全体的には発生が抑えられているが、一部の圃場では、本病が発生している。	抵抗性品種の導入。発病後の防除では効果が上がりにくいため、発生前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除を実施。抵抗性品種を犯すレース出現の回避のため、他病害の防除に際し、本病にも効果のある剤を選択。
	かいよう病	平年：並 前年：やや多	一部圃場でのみ発生が見られた。	土壌消毒や作業による伝染回避等毎年徹底した対策を継続しており、伝染源の減少により発生は少なくなつてゐる。	資材消毒・土壌消毒の実施。高湿度時の摘葉・誘引等の作業回避。発病が疑われる株の早期除去。連作の回避。
タバココナジラミ（全タイプ）	タバココナジラミ（全タイプ）	平年：並 前年：並	6月～8月は発生が見られなかつたが、9月に2圃場で発生が確認された。寄生株率は、平均で4.8%であった。	9月は全体を通して気温が非常に高く、降水量も少なかつたことから、発生に助長的であった。	定植時の粒剤処理、ほ場周辺の除草の徹底、発生初期からの系統の異なる薬剤のローテーション防除で対応。ハウス開口部を防虫ネット等で被覆。
	オンシツコナジラミ	平年：並 前年：並	7月中旬の定点調査より発病が確認され、発病度は、6月0.00（並）、7月0.80（多）、8月0.00（少）、9月0.40（少）と推移した。	栽培期間中に平年より気温が高く、降水量の少なかつた7月と9月に本虫の発生が助長された。	定植時の粒剤処理、ほ場周辺の除草の徹底、発生初期からの系統の異なる薬剤のローテーション防除で対応。ハウス開口部を防虫ネット等で被覆。

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
夏秋トマト	アブラムシ類	平年：少 前年：並	定点調査圃場において発生は確認されなかった。	県内の主要産地では、防除意識が高まっており、定期防除によって発生が抑えられた。	発生前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除で対応。主産地である久万地域では、ネオニコチノイド系感受性低下個体が確認されているため、他系統を中心とした防除。
夏秋ナス	うどんこ病	平年：少 前年：並	6月から発生が認められ、栽培期間を通して発生した。発病度は6月0.07（平年0.89）少、7月0.43（平年2.08）少、8月1.11（平年1.05）並、9月0.75（平年3.97）少で経過した。	7月以降、主要産地である平野部の平均気温は27°Cを超える発病に抑制的であった。	発生前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除で対応。
	灰色かび病	平年：やや多 前年：やや多	6月にのみ発生が確認され発病果率は0.73%（平年0.15%）多であった。	5月下旬から6月上旬にかけての降水量が非常に多く、発生を助長した。その後は、まとまった降雨が少なく発生が抑制された。	発生前と発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除で対応。排水対策等、耕種的防除も併せて行う。
	アザミウマ類	平年：少 前年：少	ミナミキイロアザミウマを調査対象とした。6月から発生が認められた。1葉あたりの寄生虫数は6月0.80（平年0.03）多、7月0.08（平年0.04）多、8月0.01（平年0.45）少で経過し、9月に発生は見られなかった。作付け初期に多くの発生が見られた。	期間を通じて高温、少雨で経過し、本虫の発生に助長的であった。	定植時の粒剤処理。発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除で対応。薬剤抵抗性を獲得しやすいため、総合的防除を徹底する。
	アブラムシ類	平年：やや多 前年：やや少	発生密度は小さいものの期間を通して発生が認められた。1葉あたり寄生虫数は、6月0.04（平年0.04）並、7月0.03（平年0.01）多、8月0.02（平年0.06）並、9月0.02（平年0.05）やや少で経過した。	6～7月の高温・少雨は発生に助長的であったものの、定植時の粒剤処理や定期防除によって発生量は平年並に抑えられた。	定植時の粒剤処理、発生初期からの系統の異なる薬剤のローテーション防除で対応。
	ハダニ類	平年：並 前年：やや少	期間を通して発生が認められた。寄生葉率は、6月5.33%（平年3.77%）並、7月23.64%（平年5.44%）多、8月27.71%（平年9.41%）多、9月2.63%（平年10.05%）少で経過した。	作付け期間を通して、気温は平年より高く、少雨であったことから発生が助長された。	発生初期からの系統の異なる薬剤のローテーション防除で対応。
冬春きゅうり	べと病	【抑制】 平年：少 前年：少 【半促成】 平年：並 前年：少 【促成】 平年：並 前年：少	抑制栽培では、11月に発生が確認された。11月の発病葉率は1.00%（平年18.76%）でやや少の発生であった。 半促成栽培では、5月に発生が確認された。5月の発病葉率は1.60%（平年11.37%）で平年並の発生であった。なお、一部圃場では、6月に増加し、多の発生となった圃場も確認された。 促成栽培では、12月から発生が確認された。12～4月は平年並で推移したが、5月は増加し、発病葉率37.67%（平年19.58%）でやや多の発生となった。	抑制栽培では、11月は晴れの日が多く、降水量は平年並～少なく、発生に抑制的であった。 半促成栽培では、5月は気温は平年並、降水量は多く、施設内の湿度が高まり、発生に助長的であった。6月は気温は平年並、降水量は平年並～多く、発生に助長的であった。 促成栽培では、2月以降は、全般的に気温が平年より高く、暖房機が稼働しない時間がが多くなり、施設内の湿度が高まりやすい条件であったと考えられる。また、4～5月は降水量が多く、発生に助長的であった。	発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。 促成栽培では、暖房機（送風運転）や循環扇を用いた強制通風による葉面結露の抑制。 通路マルチによる施設内湿度の抑制。
	灰色かび病	【抑制】 平年：並 前年：並 【半促成】 平年：並 前年：並 【促成】 平年：並 前年：並	抑制栽培、半促成栽培では、発生は確認されなかった。 促成栽培では、4月に一部圃場で発生が確認されたが、それ以外の時期には発生は確認されなかった。	全般的に灰色かび病の発生は少ない状況である。	発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。 発生部位の除去等耕種的防除の実施。 施設換気による適切な温度・湿度管理。

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
冬春きゅうり	褐斑病	【抑制】 平年：やや少 前年：並 【半促成】 平年：並 前年：やや少 【促成】 平年：並 前年：並	抑制栽培では、10月から発生が確認された。10月の発病葉率は14.40%（平年12.13%）で平年並、11月は13.50%（平年25.93%）でやや少の発生となった。 半促成栽培、促成栽培では、発生は確認されなかった。	抑制栽培では、10～11月は晴れの日が多く、降水量は平年より少なく、発生に抑制的であった。 半促成栽培は、作型的に発生が少ない状況である。 近年は、抵抗性品種も導入されている。	発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。 抵抗性品種の利用。
	うどんこ病	【抑制】 平年：やや少 前年：並 【半促成】 平年：並 前年：並 【促成】 平年：多 前年：やや多	抑制栽培では、10月から発生が確認された。10月の発病葉率は2.20%（平年16.38%）で少、11月は10.75%（平年20.88%）で平年並の発生となった。 半促成栽培では、発生は確認されなかった。 促成栽培では、11月、1月、4～5月に発生が確認された。11月の発生葉率は1.00%（平年4.67%）で平年並、1月は2.67%（平年3.68%）で平年並、4月は1.33%（平年4.57%）で平年並、5月は増加し、32.67%（8.33%）で多の発生となった。	抑制栽培では、10～11月は晴れの日が多く、降水量は平年より少なく、発生に助長的であった。 半促成栽培では、4月は気温は平年より高く、降水量は多く、5月は降水量は平年より多く、発生に抑制的であった。 促成栽培では、11月は晴れの日が多く、降水量は平年より少なく、発生に助長的であった。また、5月の発生の増加は、肥切れや過繁茂により助長されたと考えられた。	発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。 密植や過繁茂を避ける等、本病の発生しにくい栽培環境づくりの実施。 抵抗性品種の導入。
アブラムシ類	【抑制】 平年：並 前年：並 【半促成】 平年：並 前年：並 【促成】 平年：並 前年：やや少	抑制栽培、半促成栽培では、発生は確認されなかった。 促成栽培では、5月に発生が確認された。5月の寄生虫数／葉は0.02頭（平年0.01頭）でやや多の発生となったが、寄生密度は低かった。	全般的にアブラムシ類の発生は少ない状況である。 定植時の粒剤処理及び定期防除の効果、防虫ネット（1mm目以下）の設置による侵入抑制効果も大きい。	定植時の粒剤処理。 生育期間中の薬剤散布。 防虫ネット（0.4～1mm目）、紫外線除去フィルムの利用。 圃場周辺（施設内外）の除草。	
	ミナミキイロアザミウマ	【抑制】 平年：やや少 前年：並 【半促成】 平年：並 前年：並 【促成】 平年：多 前年：並	抑制栽培では、10月から発生が確認された。10月の寄生虫数／葉は0.17頭（平年0.23頭）でやや多、11月は0.07頭（平年1.40頭）でやや少の発生となった。 半促成栽培では、発生は確認されなかった。 促成栽培では、2月から発生が確認された。2月の寄生虫数／葉は0.03頭（平年0.00頭）で多、3月は0.10頭（平年0.01頭）で多、4月は0.47頭（平年0.03頭）で多、5月は1.10頭（平年0.31頭）でやや多の発生となった。	抑制栽培では、10月は晴れの日が多く、降水量は平年より少なく、発生に助長的であった。 促成栽培では、11月は晴れの日が多く、気温は平年より高く、降水量は平年並～少なく、発生に助長的であった。2～4月は、気温は平年より高く、発生に助長的であった。 定植時の粒剤処理及び定期防除の効果、防虫ネット（1mm目以下）や紫外線除去フィルムの設置による侵入抑制効果も大きい。	定植時の粒剤処理。 系統の異なる薬剤によるローテーション防除。 防虫ネット（0.4～1mm目）、紫外線除去フィルムの利用。 一部で天敵製剤スワルスキーカブリダニを導入。 圃場周辺（施設内外）の除草。 栽培終了時の施設蒸し込み処理の実施。
タバココナジラミ	【抑制】 平年：多 前年：多 【半促成】 平年：並 前年：並 【促成】 平年：並 前年：並	抑制栽培では、10月から一部圃場で発生が確認された。10月の寄生葉率は22.40%（平年10.36%）で多、11月は39.25%（平年7.90%）で多の発生となった。 半促成栽培では、発生は確認されなかった。 促成栽培では、11月に発生が確認された。11月の寄生葉率は1.33%（平年2.85%）で平年並の発生であった。それ以外の時期には発生は確認されなかった。	抑制栽培では、10月は晴れの日が多く、降水量は平年より少なく、11月は気温は高く、降水量は平年並～少なく、発生に助長的であった。 促成栽培では、11月は気温は高く、降水量は平年並～少なく、発生に助長的であった。 定植時の粒剤処理及び定期防除の効果、防虫ネット（1mm目以下）や紫外線除去フィルムの設置による侵入抑制効果も大きい。	定植時の粒剤処理。 発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。 防虫ネット（0.4～1mm目）、紫外線除去フィルムの利用。	

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
冬春きゅうり	オンシツコナジラミ	【抑制】 平年：並 前年：並	抑制栽培では、11月に発生が確認された。11月の寄生葉率は1.25%（平年1.03%）でやや多の発生であった。 半促成栽培、促成栽培では、発生は確認されなかった。	抑制栽培では、11月は気温は平年より高く、降水量は少なく、発生に助長的であった。 定植時の粒剤処理及び定期防除の効果、防虫ネット（1mm目以下）や紫外線除去フィルムの設置による侵入抑制効果も大きい。	定植時の粒剤処理。 発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。 防虫ネット（0.4～1mm目）、紫外線除去フィルムの利用。
		【半促成】 平年：並 前年：並			
		【促成】 平年：並 前年：並			
夏秋きゅうり	べと病	平年：並 前年：並	6月から発生が確認された。6月の発病葉率は0.25%（平年1.15%）で平年並、7月は20.00%（平年18.18%）で平年並、8月は21.00%（平年12.39%）でやや多、9月は22.00%（平年23.67%）で平年並の発生となった。	8月は気温は平年並～高く、降水量は平年並～多く、台風6号・7号による湿った空気の影響もあり、発生に助長的であった。	発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。 肥切れさせない適切な肥培管理。 排水対策。
	灰色かび病	平年：並 前年：並	発生は確認されなかった。	全般的に灰色かび病の発生は少ない状況である。	発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。
	褐斑病	平年：多 前年：多	6月から発生が確認された。6月の発病葉率は2.00%（平年0.12%）で多、8月は35.00%（平年9.90%）で多、9月は50.00%（平年24.35%）でやや多の発生となった。	6月は降水量は平年並～多く、発生に助長的であった。8月は気温は平年並～高く、降水量は平年並～多く、台風6号・7号による湿った空気の影響もあり、発生に助長的であった。	発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。 抵抗性品種の利用。 適切な肥培管理の実施。
	うどんこ病	平年：多 前年：多	7月から発生が確認された。7月の発病葉率は1.00%（平年0.57%）で平年並、8月は4.00%（平年0.00%）で多、9月は3.00%（平年0.35%）で多の発生となった。	抵抗性品種が主体であるので、発生は少ない状況であるが、8～9月は、台風6号・7号による湿った空気の影響による樹体損傷や肥切れにより発生が助長されたと考えられた。	発生前・発生初期からの系統の異なる薬剤によるローテーション防除。 抵抗性品種の利用。
	アブラムシ類	平年：並 前年：少	6月から発生が確認された。6月の寄生虫数/葉は0.15頭（平年0.02頭）で多の発生、8月は2.23頭（平年2.65頭）でやや多の発生となったが、9月は減少傾向で推移した。	7月中・下旬は気温は高く、降水量は少なく、発生に助長的であったが、8月は降水量は平年並～多く、台風6号・7号による湿った空気の影響もあり、発生に抑制的であった。	定植時の粒剤処理。 生育期の定期的な薬剤防除。
タマネギ	ミナミキイロアザミウマ	平年：やや少 前年：やや少	6月に発生が確認された。6月の寄生虫数/葉は0.06頭（平年0.16頭）でやや多の発生であったが、7月以降は減少傾向で推移した。	7月中・下旬は気温は高く、降水量は少なく、発生に助長的であったが、8月は降水量は平年並～多く、台風6号・7号による湿った空気の影響もあり、発生に抑制的であった。	定植時の粒剤処理。 系統の異なる薬剤によるローテーション防除。
	タバココナジラミ	平年：多 前年：多	6月から発生が確認された。6月の寄生葉率は1.75%（平年0.05%）で多、7～8月は減少傾向で推移したが、9月に一部圃場で増加し、寄生葉率は10.00%（平年0.78%）で多の発生となった。	7月中・下旬は気温は高く、降水量は少なく、発生に助長的であったが、8月は降水量は平年並～多く、台風6号・7号による湿った空気の影響もあり、発生に抑制的であった。9月は気温は高く、降水量は少なく、発生に助長的であった。	定植時の粒剤処理。 生育期の定期的な薬剤防除。
	オンシツコナジラミ	平年：並 前年：やや少	8月に発生が確認された。8月の寄生葉率は0.50%（平年0.79%）で平年並の発生であった。	7月中・下旬は気温は高く、降水量は少なく、発生に助長的であったが、8月は降水量は平年並～多く、台風6号・7号による湿った空気の影響もあり、発生に抑制的であった。	定植時の粒剤処理。 生育期の定期的な薬剤防除。
	白色疫病	平年：少 前年：少	定点調査圃場において発生は確認されなかったが広域調査において一部圃場で発生が確認された。	1月以降の気温が平年より高く推移し続けたため、発生が抑制された。	例年発生の恐れのある早どり栽培を中心に生育期薬剤散布。
	べと病	平年：多 前年：多	2月まで発生が確認されなかった。3月以降は、発病株率が3月2.67%（平年1.38%）多、4月20.80%（平年5.13%）多、5月27.0%（平年12.47%）多で経過した。	栽培期間の全体を通して平年より気温が高く、発生を助長した。また4月以降の降水量が平年と比較して非常に多く、発生量が急激に増大した。	生育期の薬剤散布。圃場の排水の徹底。発病地では連作を避ける。

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
さといも	アブラムシ類	平年：多 前年：やや少	6月から発生が認められた。1株あたりの虫数は、6月0.14（平年1.45）少、7月13.24（平年3.24）多、8月35.41（平年5.27）多、9月23.15（平年5.66）多で経過した。	栽培期間全体を通して、平年より気温は高く降水量も少なかったため、発生が助長された。	定植時の粒剤処理、生育期の薬剤散布
	ハダニ類	平年：多 前年：並	栽培期間の前半に多く発生した。1株あたり寄生虫数は、6月1.75（平年0.47）多、7月41.10（平年17.42）多、8月0.64（平年5.06）少、9月0.85（平年1.05）並で経過した。	主産地では高温乾燥により本虫の発生が助長された。しかし、気温が非常に高まった8月以降は反って発生が抑制された。	ほ場周辺の除草の徹底、発生初期からの系統の異なる薬剤のローテーション防除で対応。
	ハスモンヨトウ	平年：並 前年：少	7月から発生が認められ、食害面積率は7月0.04%（平年0.97%）少、8月1.61%（平年1.75%）並、9月0.63%（平年6.03%）で経過した。	県内の主要産地では、防除意識が高まっており、定期防除によって発生が抑えられた。	8月中旬を中心とした薬剤防除で対応。
冬春イチゴ	うどんこ病	平年：やや多 前年：並	期間をとおして発病が認められた。発病葉率は3月から高まり、6月まで多の発生量で推移した。発病果率は、全体的に低く推移したが、5月にやや多の発生量となった。	3月以降の気温が平年と比較して高く、うどんこ病に対して公的な条件がそろったことから、発病が助長された。	育苗後期～10月末までの予防散布及び発病初期からの系統が異なる薬剤のローテーション防除。
	炭疽病	平年：やや多 前年：やや多	本圃での発病株率は、10月0.35%（平年0.21%）多、11月0.11%（平年0.54%）少、12月0.02%（平年0.06%）少で経過した。その後1月以降は発病は確認されなかった。	本圃移植直後は、やや多い発生量となったが、発病株の早期での発見、抜き取り、防除が実施され、栽培期間全体を見ると発病率は低く経過した。	育苗期に系統が異なる薬剤によるローテーション散布。雨よけ底面給水育苗及び感染リスクの低い親苗の利用。
	灰色かび病	平年：やや多 前年：並	1月から発病果率が増大し、1月1.00%（平年0.23%）多、2月0.88%（平年0.67%）やや多、3月0.57%（平年0.36%）多、4月0.67%（平年0.84%）やや少、5月1.29%（平年0.65%）多で経過した。	ハウス内の気温を低下させないようにハウスを締め切った圃場が多く、結果的に湿度が高まってしまい、発病果率が上昇した。	発生初期からの本病薬剤の散布。発病果実や葉身の除去。
冬春イチゴ	アザミウマ類	平年：多 前年：並	栽培期間を通して多く発生が認められた。寄生花率は、10月0.33%（平年1.44%）少、11月0.89%（平年0.66%）やや多、12月1.20%（平年0.39%）多、1月2.37%（平年0.61%）多、2月1.40%（平年0.76%）多、3月6.27%（平年3.28%）多、4月14.19%（平年7.93%）多、5月12.54%（平年19.06%）やや少で経過した。	2022年10月から2023年3月までの気温が高く、降水量が平年と比較して非常に低く、ハウス外での発生が助長された。その結果、ハウス内へのアザミウマ類の飛び込み数も多くなり発生量が平年と比較して多くなったと考えられる。	発生初期からの薬剤の散布。
	アブラムシ類	平年：やや多 前年：並	栽培期間を通して多く発生が認められた。寄生株率は、10月3.46%（平年2.00%）多、11月4.22%（平年2.31%）多、12月2.95%（平年1.20%）多、1月3.11%（平年0.94%）多、2月1.58%（平年0.33%）多、3月0.73%（平年0.82%）並、4月2.67%（平年1.15%）多、5月0.42%（平年1.31%）少で経過した。	2022年10月から2023年3月までの気温が高く、降水量が平年と比較して非常に低く、ハウス外での発生が助長された。その結果、ハウス内へのアブラムシ類の飛び込み数も多くなり発生量が平年と比較して多くなったと考えられる。	発生初期からの薬剤の散布。
	ハダニ類	平年：並 前年：並	栽培期間をとおして発生が認められた。寄生株率は定植直後の10月から2月までの栽培期間前半は少から並で経過し、3月から5月の後半は並から多で経過した。	栽培期間全体を通して並程度の発生量となったが、気温が上昇する栽培後期にかけて発生量が増大した。	比較的効果の期待できる剤を選択使用。気門封鎖剤の積極利用。天敵の利用。カブリダニの利用は徐々に増加している。
野菜共通	オオタバコガ	平年：並 前年：並	県下5地点の4～11月の性フェロモントラップによる雄成虫の累計誘殺数は、地点によりばらつきがあり、5地点中2地点で平年より多、1地点でやや多、1地点でやや少、1地点で少であった。全地点の累計誘殺数は平年並であったが、9月に平年を大幅に上回る増加ピークを示す地点が5地点中4地点、10月に5地点、11月に5地点で認められた。	9月以降の平年を大幅に上回る増加ピークは、9月以降の気温が県下全域で平年より高く、降水量も少なく推移したことが要因と推定される。特に、9月の気温は平年よりかなり高く、9～10月の降水量はかなり少なかった。	生育期薬剤散布、被害果の除去、幼虫の捕殺。 防虫ネットの被覆。 結球野菜では、育苗期後半～定植時のジアミド系薬剤を主体とした薬剤処理。
	シロイチモジヨトウ	平年：多 前年：やや少	県下5地点の4～11月の性フェロモントラップによる雄成虫の累計誘殺数は、地点によりばらつきがあり、5地点中2地点で平年より多、1地点でやや多、2地点で並であった。全地点の累計誘殺数は多であった。また、9月以降、平年を大幅に上回る増加ピークを示す地点が全地点で認められた。	9月以降の平年を大幅に上回る増加ピークは、9月以降の気温が県下全域で平年より高く、降水量も少なく推移したことが要因と推定される。特に、9月の気温は平年よりかなり高く、9～10月の降水量はかなり少なかった。	生育期の定期的な薬剤防除。 施設栽培では、防虫ネットの被覆による侵入防止。

農作物名	病害虫名	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
野菜共通	ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	県下7地点の4～11月の性フェロモントラップによる雄成虫の累計誘殺数は、地点によりばらつきがあり、7地点中1地点で平年より多、2地点でやや多、3地点で並、1地点でやや少であった。全地点の累計誘殺数は平年並であったが、9月に平年を大幅に上回る増加ピークを示す地点が7地点中6地点、10月に3地点、11月に4地点で認められた。	9月以降の平年を大幅に上回る増加ピークは、9月以降の気温が県下全域で平年より高く、降水量も少なく推移したことが要因と推定される。特に、9月の気温は平年よりかなり高く、9～10月の降水量はかなり少なかった。	生育期の定期的な薬剤防除。 施設栽培では、防虫ネットの被覆による侵入防止。 葉菜類では、育苗期の薬剤灌注処理。
	ヨトウガ	平年：多 前年：多	県下1地点の4～11月の性フェロモントラップによる雄成虫の累計誘殺数は、平年より多であった。特に、4月1半旬～5半旬の誘殺数は多で推移した。	例年4月に発生ピークはあるが、今年の4月の誘殺数が平年を大幅に上回ったのは、3月の気温が平年よりかなり高く、4月も高かったことが要因と推定される。	生育期の定期的な薬剤防除。 施設栽培では、防虫ネットの被覆による侵入防止。
	コナガ 【性フェロモントラップ】 平年：やや少 前年：並 【予察灯】 平年：少 前年：少	【性フェロモントラップ】 平年：並 【予察灯】 平年：少 前年：少	県下2地点の4～11月の性フェロモントラップによる雄成虫の累計誘殺数は、2地点中1地点で並、1地点でやや少であった。全地点の累計誘殺数は平年よりやや少であった。 県下6地点の4～11月の予察灯による累計誘殺数は、6地点中1地点で平年並、3地点でやや少、2地点で少であった。全地点の累計誘殺数は少であった。	4月、5月、6月上旬の降水量は平年よりかなり多く、発生に抑制的であったと推定される。	播種・定植時に粒剤施用。 生育期の定期的な薬剤防除。 ジアミド系薬剤への感受性低下個体群が広く確認されているため、他系統薬剤による防除。

2 病害虫程度別面積及び防除面積（県全体）

農作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計	実	延
早期水稻	2,837	葉いもち	0	0	0	1,891	1,891	2,837	2,837
		穂いもち	0	0	0	709	709	1,526	1,676
		紋枯病	0	23	138	1,430	1,591	1,526	1,655
		もみ枯細菌病	0	0	0	0	0	763	763
		ごま葉枯病	0	0	236	0	236	1,526	1,526
		稻こうじ病	0	0	0	0	0	0	0
		ニカメイガ	0	0	0	24	24	2,800	2,800
		セジロウンカ	0	0	0	1,407	1,407	2,800	5,676
		トビイロウンカ	0	0	0	23	23	2,800	5,676
		ヒメトビウンカ	0	0	0	1,223	1,223	2,800	5,676
		ツマグロヨコバイ	0	0	0	367	367	2,800	5,676
		斑点米カメムシ類	25	49	185	604	863	2,800	5,750
		イチモンジセシリ	0	0	0	473	473	1,526	1,655
		フタオビコヤガ	0	0	0	161	161	1,526	1,655
		コブノメイガ	0	0	0	392	392	1,526	1,655
		イネミズゾウムシ	0	0	0	709	709	2,800	2,800
		スクミリンゴガイ	33	33	67	67	200	150	150
普通期水稻	10,263	葉いもち	0	0	0	6,482	6,482	10,000	10,000
		穂いもち	0	0	0	2,161	2,161	10,000	20,527
		紋枯病	94	562	1,031	4,124	5,811	10,000	19,374
		もみ枯細菌病	0	0	0	500	500	3,407	3,407
		ごま葉枯病	0	6	15	1,059	1,080	8,348	8,348
		稻こうじ病	0	0	540	1,621	2,161	6,086	6,663
		ニカメイガ	0	0	0	52	52	10,000	10,000
		セジロウンカ	0	0	78	5,764	5,842	10,000	20,751
		トビイロウンカ	0	23	26	232	281	10,000	20,751
		ヒメトビウンカ	26	103	155	5,507	5,791	10,000	20,751
		ツマグロヨコバイ	0	0	76	2,053	2,129	10,000	20,751
		斑点米カメムシ類	129	517	1,811	3,277	5,734	10,000	19,374
		イチモンジセシリ	0	0	0	259	259	10,000	10,000
		フタオビコヤガ	0	0	0	141	141	10,000	19,374
		コブノメイガ	0	0	0	4,524	4,524	10,000	19,374
		イネミズゾウムシ	0	0	0	570	570	10,000	10,000
		スクミリンゴガイ	0	1,173	1,667	2,779	5,619	5,465	5,465
麦	2,070	うどんこ病	0	0	0	135	135	1,800	1,800
		赤かび病	0	0	0	180	180	1,800	2,400
		黒穂病類	0	0	0	500	500	900	900
大豆	346	ハスモンヨトウ	0	0	10	200	210	350	700
かんきつ	11,590	そうか病	0	15	170	378	563	3,224	6,648
		黒点病	30	104	1,500	8,458	10,092	8,436	33,658
		かいよう病	0	60	148	1,809	2,017	5,189	9,854
		灰色かび病	0	0	450	2,600	3,050	6,918	6,918
		ヤノネカイガラムシ	0	0	120	550	670	7,186	14,056
		フジコナカイガラムシ	0	0	100	650	750	6,918	6,918
		ミカンハダニ	178	524	2,318	4,636	7,656	6,883	12,598
		ミカンサビダニ	0	0	45	126	171	6,758	12,598
		カメムシ類	0	0	103	305	408	2,300	2,300
		チャノキイロアザミウマ	0	104	285	2,514	2,903	7,458	12,568
		ナシマカイガラムシ(サンホゼカイガラムシ)	0	10	104	850	964	6,918	6,918
		ツノロウムシ	0	0	80	80	160	4,356	4,356
		ルビーロウムシ	0	0	60	60	120	4,356	4,356
		ミカンハモグリガ	25	180	3,580	5,240	9,025	6,918	6,918
		ゴマダラカミキリ	0	0	0	1,650	1,650	6,918	6,918
		アブラムシ類	0	0	1,300	4,500	5,800	6,918	6,918

農作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計	実	延
かき	572	炭そ病	0	87	120	127	334	416	1,644
		うどんこ病	0	10	125	352	487	416	1,644
		円星落葉病	0	0	11	44	55	416	1,644
		角斑落葉病	0	12	180	320	512	416	1,644
		カキノヘタムシガ(カキミカ)	0	0	15	80	95	345	805
		フジコナカイガラムシ	0	15	145	223	383	416	1,644
		カメムシ類	0	0	10	110	120	345	345
		ハマキムシ類	0	0	0	112	112	285	598
		チャノキイロアザミウマ	0	5	12	150	167	379	1,186
		カキクダアザミウマ	0	0	0	5	5	379	758
キウイフルーツ	386	かいよう病	0	8	26	65	99	240	1,015
夏秋トマト	112	疫病	0	0	0	3	3	112	224
		灰色かび病	0	0	0	67	67	112	448
		葉かび病	0	0	0	22	22	112	224
		かいよう病	0	0	0	1	1	112	224
		オンシツコナジラミ	0	0	0	25	25	112	224
		タバココナジラミ	0	0	0	25	25	112	224
		アブラムシ類	0	0	0	8	8	112	224
夏秋ナス	137	うどんこ病	0	0	0	98	98	137	548
		灰色かび病	0	0	0	5	5	137	411
		ミナミキイロアザミウマ	0	0	0	40	40	137	411
		アブラムシ類	0	0	0	55	55	137	274
		ハダニ類	20	20	20	38	98	137	548
タマネギ	300	白色疫病	0	0	0	2	2	300	300
		べと病	0	2	12	47	61	300	1,650
サトイモ	428	アブラムシ類	0	0	10	418	428	428	856
		ハダニ類	0	10	50	368	428	428	1,284
		ハスモンヨトウ	0	0	5	352	357	428	856
イチゴ	75	灰色かび病	2	0	6	14	22	76	380
		うどんこ病	0	0	6	10	16	76	380
		炭そ病	0	0	0	12	12	76	152
		アブラムシ類	2	2	8	7	19	76	190
		アザミウマ類	12	13	19	15	59	76	304
		ハダニ類	6	4	9	39	58	76	228

V 調査観察成績

1) 稲 病害虫調査

項目	5月	6月	7月	8月	9月
イネミズゾウムシ	調査圃場数	12	30	0	0
	発生圃場率	25.0	13.3	—	—
	平均被害度	0.2	0.1	—	—
	25株成虫数	0.1	0	—	—
いもち病(葉)	調査圃場数	12	30	31	31
	発生圃場率	0	0	41.9	51.6
	平均発病度	0	0	0.7	1.8
	平均進行型病斑発生度	0	0	0	0
	置苗圃場率	4.0	6.0	0	0
	置苗発病率	0	0	0	0
いもち病(穂)	調査圃場数	0	0	5	18
	発生圃場率	—	—	0	16.7
	平均発病穂率	—	—	0	0.1
白葉枯病	調査圃場数	12	30	31	31
	発生圃場率	0	0	0	0
	平均発病度	0	0	0	0
	平均発病株率	0	0	0	0
ごま葉枯病(葉)	調査圃場数	12	30	31	31
	発生圃場率	0	0	6.5	3.2
	平均発病度	0	0	0.0	0.8
ごま葉枯病(穂)	調査圃場数	0	0	5	18
	発生圃場率	—	—	0	5.6
	平均発病度	—	—	0	0.0
紋枯病	調査圃場数	12	30	31	31
	発生圃場率	0	0	0	32.3
	平均発病度	0	0	0	1.6
	平均発病株率	0	0	0	3.8
イネクロカメムシ	調査圃場数	12	30	31	31
	発生圃場率	0	0	0	0
	平均25株虫数	0	0	0	0
コブノメイガ (見取)	調査圃場数	12	30	31	31
	発生圃場率	0	0	0	41.9
	平均被害葉率	0	0	0	0.1
	調査圃場数	1.0	14.0	31.0	31.0
	発生圃場率	0	0	0	0
	平均成虫数	0	0	0	0.1
イネツトムシ (イチモンジセセリ)	調査圃場数	12	30	31	31
	発生圃場率	0	6.7	3.2	0
	平均25株ツト数	0	0.0	0.0	0
	平均25株幼虫数	0	0.0	0.0	0
イネヨトウ	調査圃場数	12	30	31	31
	発生圃場率	0	0	0	0
	平均被害株率	0	0	0	0
アワヨトウ	調査圃場数	12	30	31	31
	発生圃場率	0	0	0	0
	平均25株虫数	0	0	0	0
ニカメイガ	調査圃場数	12	30	31	31
	発生圃場率	0	0	0	0
	平均被害株率	0	0	0	0
サンカメイガ	調査圃場数	12	30	31	31
	発生圃場率	0	0	0	0
	平均被害株率	0	0	0	0
縞葉枯病	調査圃場数	12	30	31	31
	発生圃場率	0	0	0	0
	平均被害株率	0	0	0	0

	項目	5月	6月	7月	8月	9月
				30	31	19
萎縮病	調査圃場数	12	30	31	31	0
	発生圃場率	0	0	0	0	0
	平均被害株率	0	0	0	0	0
ばか苗病	調査圃場数	12	30	31	31	19
	発生圃場率	0	0	0	0	0
	平均被害株率	0	0	0	0	0
イネキモグリバエ (葉)	調査圃場数	12	30	31	31	19
	発生圃場率	0	0	0	0	0
	平均被害株率	0	0	0	0	0
イネキモグリバエ (穂)	調査圃場数	12	30	31	31	19
	発生圃場率	0	0	0	0	0
	平均被害株率	0	0	0	0	0
スクミリングガイ	調査圃場数	12	30	31	31	19
	発生圃場率	16.7	26.7	12.9	19.4	5.3
	平均貝数/m ²	0.1	0.7	0.3	0.4	0.5
	平均塊卵/100株	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
稻こうじ病	調査圃場数	0	0	5	18	19
	発生圃場率	-	-	0	0	21.1
	平均発病穂率	-	-	0	0	0.7
糲枯細菌病	調査圃場数	0	0	5	18	19
	発生圃場率	-	-	0	0	0
	平均発病穂率	-	-	0	0	0
ツマグロヨコバイ	調査圃場数	6	17	31	31	19
	発生圃場率	0	0	6.5	29.0	10.5
	平均1株虫数	0	0	0.0	0.1	0.0
	(成虫数)	0	0	0.0	0.0	0
	(幼虫数)	0	0	0.0	0.0	0.0
ヒメトビウンカ	調査圃場数	6	17	31	31	19
	発生圃場率	0	17.6	41.9	48.4	47.4
	平均1株虫数	0	0.1	0.2	0.3	0.4
	(成虫数)	0	0.0	0.1	0.1	0.1
	(幼虫数)	0	0.0	0.1	0.2	0.3
セジロウンカ	調査圃場数	6	17	31	31	19
	発生圃場率	0	0	25.8	41.9	31.6
	平均1株虫数	0	0	0.0	0.2	0.1
	(長翅成虫数)	0	0	0.0	0.0	0.0
	(短翅成虫数)	0	0	0.0	0.0	0
	(幼虫数)	0	0	0.0	0.2	0.1
トビイロウンカ	調査圃場数	6	17	31	31	19
	発生圃場率	0	0	0	0	0
	平均1株虫数	0	0	0	0	0
	(長翅成虫数)	0	0	0	0	0
	(短翅成虫数)	0	0	0	0	0
	(幼虫数)	0	0	0	0	0
	短翅率	-	-	-	-	-
フタオビコヤガ (イネアオムシ)	調査圃場数	6	17	31	31	19
(払落)	発生圃場率	0	0	0	3.2	5.3
	平均1株幼虫数	0	0	0	0.0	0.0
(掬取)	調査圃場数	1	14.0	31.0	31.0	19.0
	発生圃場率	0	0	0	0	0
	(成虫数)	0	0	0	0	0
	(幼虫数)	0	0	0.0	0	0

項目	5月	6月	7月	8月	9月
本田内(捕虫網掬い取り調査)					
クモヘリカメムシ	調査圃場数	1	14	31	31
	発生圃場率	0	0	9.7	12.9
	平均虫数	0	0	0.3	0.2
ホソハリカメムシ	調査圃場数	1	14	31	31
	発生圃場率	0	0	9.7	3.2
	平均虫数	0	0	0.2	0.1
ミナミアオカメムシ	調査圃場数	1	14	31	31
	発生圃場率	0	0	0	12.9
	平均虫数	0	0	0	0.2
シラホシカメムシ	調査圃場数	1	14	31	31
	発生圃場率	0	0	0	3.2
	平均虫数	0	0	0	0.0
その他カメムシ類	調査圃場数	1	14	31	31
	発生圃場率	0	0	6.5	16.1
	平均虫数	0	0	0.2	0.3
アカスジカスミカメ	調査圃場数	1	14	31	31
	発生圃場率	0	0	6.5	0
	平均虫数	0	0	0.1	0
その他カスミカメ類	調査圃場数	1	14	31	31
	発生圃場率	0	7.1	9.7	0
	平均虫数	0	0.1	0.1	0
斑点米カメムシ類計	調査圃場数	1	14	31	31
	発生圃場率	0	7.1	25.8	35.5
	平均虫数	0	0.1	0.8	0.7
畦畔(捕虫網掬い取り調査)					
クモヘリカメムシ	調査地点数	6	21	27	25
	発生地点率	0	0	11.1	4.0
	平均虫数	0	0	0.7	0.4
ホソハリカメムシ	調査地点数	6	21	27	25
	発生地点率	0	0	25.9	24.0
	平均虫数	0	0	0.9	0.9
ミナミアオカメムシ	調査地点数	6	21	27	25
	発生地点率	0	0	0	0
	平均虫数	0	0	0	0
シラホシカメムシ	調査地点数	6	21	27	25
	発生地点率	0	9.5	0	16.0
	平均虫数	0	0.2	0	0.2
その他カメムシ類	調査地点数	6	21	27	25
	発生地点率	0	14.3	11.1	16.0
	平均虫数	0	0.9	0.7	0.2
アカスジカスミカメ	調査地点数	6	21	27	25
	発生地点率	16.7	9.5	37.0	24.0
	平均虫数	0.2	0.3	4.9	0.9
その他カスミカメ類	調査地点数	6	21	27	25
	発生地点率	0	28.6	25.9	20.0
	平均虫数	0	1.0	3.5	0.6
斑点米カメムシ類計	調査地点数	6	21	27	25
	発生地点率	16.7	38.1	48.1	48.0
	平均虫数	0.2	2.3	10.7	3.1
					17.2

地区		東予地域												中予地域								南予地域										
市町		四国中央市	四国中央市	四国中央市	西条市	西条市	西条市	西条市	今治市	今治市	今治市	今治市	松山市	松山市	松山市	松前町	松前町	伊予市	伊予市	東温市	久万高原町	久万高原町	久万高原町	愛南町	宇和島市	松野町	宇和島市	西予市	西予市	大洲市	内子町	
地点		土居町津根	土居町津根	土居町藤原	神戸	氷見蛭子	丹原今井	丹原池田	実報寺	朝倉1(圭吾)	朝倉2(近藤)	大西九王	菊間佐方	下伊台	河野	久谷	鶴吉	恵久美	上三谷	下三谷	上村	西明神	入野	露峰	御荘長月	津島山財	豊岡	三間増田	城川魚成	宇和西山田	東大洲	平岡
1:早期、2:早植、3:短期、4:普通		1	4	4	4	1	4	3	3	4	4	1	4	3	4	4	4	3	4	3	2	2	2	1	1	1	1	1	3	4	4	
調査月日		5/8				5/18		5/18				5/24									5/19	5/19	5/19	4/11	4/11	4/15	4/15	4/11				
◆見取調査																																
イネミズブウムシ	被害度	0				1		0				0									0.75	0	0	0	0	0.75	0	0	0			
葉いもち	発病度	0				0		0				0									0	0	0	0	0	0	0	0	0			
白葉枯病	発病株率	0				0		0				0									0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ごま葉枯病(葉)	発病度	0				0		0				0									0	0	0	0	0	0	0	0	0			
紋枯病	発病度	0				0		0				0									0	0	0	0	0	0	0	0	0			
イネクロカメムシ	25株虫数	0				0		0				0									0	0	0	0	0	0	0	0	0			
コブノメイガ	被害葉率	0				0		0				0									0	0	0	0	0	0	0	0	0			
イネツトムシ	25株ツト数	0				0		0				0									0	0	0	0	0	0	0	0	0			
イネヨトウ	被害株率	0				0		0				0									0	0	0	0	0	0	0	0	0			
アワヨトウ	25株虫数	0				0		0				0									0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ニカメイガ	被害株率	0				0		0				0									0	0	0	0	0	0	0	0	0			
サンカメイガ	被害株率	0				0		0				0									0	0	0	0	0	0	0	0	0			
縞葉枯病	被害株率	0				0		0				0									0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ばか苗病	被害株率	0				0		0				0									0	0	0	0	0	0	0	0	0			
イネキモグリバエ	被害株率(葉)	0				0		0				0									0	0	0	0	0	0	0	0	0			
スクミリンゴガイ	m ² 員数	0.5				0.5		0				0									0	0	0	0	0	0	0	0	0			
◆(穂)見取調査																																
ごま葉枯病(穂)	発病度	-				-		-				-								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
稻こうじ病	被害株率	-				-		-				-								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
穂いもち	発病穂率	-				-		-				-								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
糲枯細菌病	発病穂率	-				-		-				-								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
◆払落調査																																
ツマグロヨコバイ	1株虫数	-				0		-				-								-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0		
ヒメトビウンカ	1株虫数	-				0		-				-							-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0			
セジロウンカ	1株虫数	-				0		-				-							-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0			
トビイロウンカ	1株虫数	-				0		-				-							-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0			
フタオビコヤガ	1株虫数	-				0		-				-							-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0			
◆掬取調査																																
コブノメイガ	20回成虫	-				0		-				-							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
フタオビコヤガ	20回成虫	-				0		-				-							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
フタオビコヤガ	20回幼虫	-				0		-				-							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
クモヘリカメムシ	20回虫数	-				0		-				-							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ホゾハリカメムシ	20回虫数	-				0		-				-							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ミナミアオカメムシ	20回虫数	-				0		-				-							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
シラホシカメムシ	20回虫数	-				0		-				-							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
アカスジカスミカメ	20回虫数	-				0		-				-							-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
◆(畦畔等)掬取調査																																
クモヘリカメムシ	20回虫数	-				0		-				-							-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0			
ホゾハリカメムシ	20回虫数	-				0		-				-							-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0			
ミナミアオカメムシ	20回虫数	-				0		-				-							-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0			
シラホシカメムシ	20回虫数	-				0		-				-							-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0			
アカスジカスミカメ	20回虫数	-				0		-				-							-	-	-	-	-	-	0	0	0	1	0			

地区		東予地域												中予地域								南予地域												
市町		四国中央市	四国中央市	四国中央市	西条市	西条市	西条市	今治市	今治市	今治市	松山市	松山市	松山市	松前町	松前町	伊予市	伊予市	東温市	久万高原町	久万高原町	久万高原町	愛南町	宇和島市	松野町	宇和島市	西予市	西予市	大洲市	内子町					
地点		土居町津根	土居町藤原	土居町藤原	神戸	氷見蛭子	丹原今井	丹原池田	実報寺	朝倉1(圭吾)	朝倉2(近藤)	大西九王	菊間佐方	下伊台	河野	久谷	鶴吉	恵久美	上三谷	下三谷	上村	西明神	入野	露峰	御荘長月	津島山財	豊岡	三間増田	城川魚成	宇和西山田	東大洲	平岡		
1:早期、2:早植、3:短期、4:普通		1	4	4	3	1	4	2	3	4	4	1	4	3	4	4	4	3	4	3	2	2	2	1	1	1	1	1	3	4	4			
調査月日		6/14	6/14	6/14	6/14	6/14	6/21	6/21	6/21	6/21	6/19	6/20	-	6/20	6/20	6/20	6/20	6/20	6/20	6/20	6/20	6/16	6/16	6/16	6/13	6/13	6/15	6/15	6/12	6/14	6/19	6/15		
◆見取調査																																		
イネミズブウムシ	被害度	0	0	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0.5	0.25	0.75	0	0	0	0	0	0	0			
葉いもち	発病度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
白葉枯病	発病株率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ごま葉枯病(葉)	発病度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
紋枯病	発病度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
イネクロカメムシ	25株虫数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
コブノメイガ	被害葉率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
イネツトムシ	25株ツト数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0.25	0.75	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
イネヨトウ	被害株率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
アワヨトウ	25株虫数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ニカメイガ	被害株率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
サンカメイガ	被害株率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
縞葉枯病	被害株率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ばか苗病	被害株率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
イネキモグリバエ	被害株率(葉)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
スクミリンゴガイ	m ² 員数	0.5	0.5	0	0	0	7.5	7	0	0	0.5	0	0	-	0	0	0	0	1	0	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	0		
◆(穂)見取調査																																		
ごま葉枯病(穂)	発病度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
稻こうじ病	被害株率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
穂いもち	発病穂率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
糲枯細菌病	発病穂率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
◆払落調査																																		
ツマグロヨコバイ	1株虫数	0	0	-	-	0	-	0	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ヒメトビウンカ	1株虫数	0	0	-	-	0.8	-	0	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0.1	0.1	0	0	0	0	0	0	0	
セジロウンカ	1株虫数	0	0	-	-	0	-	0	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
トビイロウンカ	1株虫数	0	0	-	-	0	-	0	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
フタオビコヤガ	1株虫数	0	0	-	-	0	-	0	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
◆掬取調査																																		
コブノメイガ	20回成虫	0	0	-	-	0	-	0	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
フタオビコヤガ	20回成虫	0	0	-	-	0	-	0	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
フタオビコヤガ	20回幼虫	0	0	-	-	0	-	0	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
クモヘリカメムシ	20回虫数	0	0	-	-	0	-	0	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
ホゾハリカメムシ	20回虫数	0	0	-	-	0	-	0	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
ミナミアオカメムシ	20回虫数	0	0	-	-	0	-	0	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
シラホシカメムシ	20回虫数	0	0	-	-	0	-	0	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
アカスジカスミカメ	20回虫数	0	0	-	-	0	-	0	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
クモヘリカメムシ	20回虫数	-	0	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
ホゾハリカメムシ	20回虫数	-	0	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
ミナミアオカメムシ	20回虫数	-	0	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
シラホシカメムシ	20回虫数	-	0	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
アカスジカスミカメ	20回虫数	-	0	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-

地区		0												0												南予地域								
市町		四国中央市	四国中央市	四国中央市	西条市	西条市	西条市	西条市	今治市	今治市	今治市	今治市	松山市	松山市	松山市	松前町	松前町	伊予市	伊予市	東温市	久万高原町	久万高原町	久万高原町	愛南町	宇和島市	松野町	宇和島市	西予市	西予市	大洲市	内子町			
地点		土居町津根	土居町藤原	土居町藤原	神戸	氷見蛭子	丹原今井	丹原池田	実報寺	朝倉1(圭吾)	朝倉2(近藤)	大西九王	菊間佐方	下伊台	河野	久谷	鶴吉	恵久美	上三谷	下三谷	上村	西明神	入野	露峰	御荘長月	津島山財	豊岡	三間増田	城川魚成	宇和西山田	東大洲	平岡		
1:早期、2:早植、3:短期、4:普通		1	4	4	4	1	4	3	3	4	4	1	4	3	4	4	4	3	4	3	2	2	2	1	1	1	1	1	3	4	4			
調査月日		8/4	8/17	8/17	8/14	8/14	8/18	8/18	8/16	8/16	8/16	8/16	8/16	8/10	8/22	8/22	8/22	8/22	8/15	8/15	8/22	8/14	8/14	8/14	8/14	8/14	8/14	8/15	8/15	8/14	8/14			
◆見取調査																																		
イネミズブウムシ	被害度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
葉いもち	発病度	9	5	5.75	6.5	9	0.5	0.75	4.5	4.25	1	3.25	0	0	0	0	2	0.75	0	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.75	1	0		
白葉枯病	発病株率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ごま葉枯病(葉)	発病度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
紋枯病	発病度	0	1.75	1.75	0	1.5	0	40	0	0	0	0.25	2	0	0	0	0.25	0	0.5	0.25	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
イネクロカメムシ	25株虫数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
コブノメイガ	被害葉率	0	0.05	0.05	0	0	0.03	0	0.08	0	0.03	0	0.4	0.2	0.05	0	0.15	0.05	0.13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.28	0.1	0		
イネツトムシ	25株ツト数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
イネヨトウ	被害株率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
アワヨトウ	25株虫数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ニカメイガ	被害株率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
サンカメイガ	被害株率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
縞葉枯病	被害株率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ばか苗病	被害株率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
イネキモグリバエ	被害株率(葉)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
スクミリンゴガイ	m ² 貞数	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	0		
◆(穂)見取調査																																		
ごま葉枯病(穂)	発病度	0	-	-	0	0	-	0	-	-	-	0.25	-	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	
稻こうじ病	被害株率	0	-	-	0	0	-	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-		
穂いもち	発病穂率	0	-	-	0	0.7	-	0.1	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.4	0	0	-	-	-		
糲枯細菌病	発病穂率	0	-	-	0	0	-	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-			
◆払落調査																																		
ツマグロヨコバイ	1株虫数	0	0	0	0	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.6	0.1				
ヒメトビウンカ	1株虫数	0.1	1.4	0.6	0.1	0.5	0.1	0.1	2.9	0	0	0	0	0	0.2	0	0	0.3	0.1	2.1	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.1			
セジロウンカ	1株虫数	0	0.2	0.2	0.1	0.8	0.6	0.1	2.2	0.4	0	0.1	0	0.1	0	0	0	0	0	0.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.1				
トビイロウンカ	1株虫数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
フタオビコヤガ	1株虫数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
◆掬取調査																																		
コブノメイガ	20回成虫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
フタオビコヤガ	20回成虫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
フタオビコヤガ	20回幼虫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
クモヘリカメムシ	20回虫数	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	
ホソハリカメムシ	20回虫数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ミナミアオカメムシ	20回虫数	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
シラホシカメムシ	20回虫数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
アカシジカスミカメ	20回虫数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
◆(畦畔等)掬取調査																																		
クモヘリカメムシ	20回虫数	-	0	0	0	0	-	-	0	-	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ホソハリカメムシ	20回虫数	-	0	0	0	0	-	-	2	-	11	0	4	0	2	1	2	0	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ミナミアオカメムシ	20回虫数	-	0	0	0	-	-	0	-	0	0	0	0	0																				

地区		東予地域												中予地域								南予地域										
市町		四国中央市	四国中央市	四国中央市	西条市	西条市	西条市	今治市	今治市	今治市	松山市	松山市	松山市	松前町	松前町	伊予市	伊予市	東温市	久万高原町	久万高原町	久万高原町	愛南町	宇和島市	松野町	宇和島市	西予市	西予市	大洲市	内子町			
地点		土居町津根	土居町藤原	土居町藤原	神戸	氷見蛭子	丹原今井	丹原池田	実報寺	朝倉 ¹ (圭吾)	朝倉 ² (近藤)	大西九王	菊間佐方	下伊台	河野	久谷	鶴吉	恵久美	上三谷	下三谷	上村	西明神	入野	露峰	御荘長月	津島山財	豊岡	三間増田	城川魚成	宇和西山田	東大洲	平岡
1:早期、2:早植、3:短期、4:普通		1	4	4	4	1	4	3	3	4	4	1	4	3	4	4	4	3	4	3	2	2	2	1	1	1	1	1	3	4	4	
調査月日		9/14	9/14	9/7		9/7		9/11	9/11	9/11		9/12	9/8	9/14	9/13	9/8	9/8	9/8	9/8	9/8	9/8						9/11	9/12	9/12			
◆見取調査																																
イネミズブウムシ	被害度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
葉いもち	発病度	2.5	0.75	0		0	0.75	3.25	0		0.5	0.5	0	0.25	1.25	0	0	0	0	0	0								2.75	0	1	
白葉枯病	発病株率	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	0	0	
ごま葉枯病(葉)	発病度	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	0	17	
紋枯病	発病度	2.5	1.75	0		0	2	0	0		8.25	0	2.25	0	0	0	1.5	47.8	1.25									1.5	2.75	0		
イネクロカメムシ	25株虫数	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0		
コブノメイガ	被害葉率	0	0	0		0	0.13	0	0		0.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						3.4	0	0		
イネツトムシ	25株ツト数	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0		
イネヨトウ	被害株率	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0		
アワヨトウ	25株虫数	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0		
ニカメイガ	被害株率	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0		
サンカメイガ	被害株率	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0		
縞葉枯病	被害株率	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0		
ばか苗病	被害株率	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0		
イネキモグリバエ	被害株率(葉)	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0		
スクミリンゴガイ	m ² 員数	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	9.5	0		
◆(穂)見取調査																																
ごま葉枯病(穂)	発病度	0	0	0		0	0	0	0		0	0.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0		
稻こうじ病	被害株率	0	0	0		0	0	0	2		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						8	0	3		
穂いもち	発病穂率	0	0	0		0	0	0	0.05		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						5.5	0.1	8.6		
糲枯細菌病	発病穂率	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0		
◆払落調査																																
ツマグロヨコバイ	1株虫数	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0.3	0		
ヒメトビウンカ	1株虫数	0	0	1.1		0.2	0.8	0.2	0		0	0.3	0	0	0	0	0	0	3.8	0							0.1	0.3	0.1			
セジロウンカ	1株虫数	0.2	0	0.3		0	0.1	0.1	0		0	0	0	0.1	0	0	0	0	1.2	0							0	0	0			
トビイロウンカ	1株虫数	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0			
フタオビコヤガ	1株虫数	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0			
◆掬取調査																																
コブノメイガ	20回成虫	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0						0	0	0		
フタオビコヤガ	20回成虫	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0		
フタオビコヤガ	20回幼虫	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0		
クモヘリカメムシ	20回虫数	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0						0	1	0		
ホソハリカメムシ	20回虫数	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	1	0		
ミナミアオカメムシ	20回虫数	0	1	0		0	0	0	0		1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	7	0		
シラホシカメムシ	20回虫数	0	0	0		0	0	0	0		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0		
アカシジカスミカメ	20回虫数	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0		
◆(畦畔等)掬取調査																																
クモヘリカメムシ	20回虫数	0	-	0		-	0	0	0		-	2	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-						0	0	-		
ホソハリカメムシ	20回虫数	5	-	3		-	0	0	0		-	17	0	-	1	-	-	-	-	-	-	-						0	3	-		
ミナミアオカメムシ	20回虫数	0	-	0		-	0	0	0		-	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-						0	0	-		
シラホシカメムシ	20回虫数	1	-	0		-	0	0	0		-	13	0	-	1	-	-	-	-	-	-	-						0	0	-		
アカシジカスミカメ	20回虫数	21	-	0		-	0	0	8		-	79	0	-	1	-	-	-	-	-	-	-						0	7	-		

2) 広域調査

① いもち病 (7月(一部6月末含む) : 100株見取り調査)

地区	調査月日	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)
西条地区(旧周桑)	7月21日	22	10	45.5
今治地区	7月11日	39	1	2.6
東予計		61	11	18.0
久万高原町	7月21日	49	9	18.4
松山地区	7月26日	54	7	13.0
中予計		103	16	15.5
宇和島鬼北	7月13日	10	5	50.0
愛南	7月20日	7	7	100
西予	7月26日	16	6	37.5
大洲	7月27日	23	15	65.2
南予計		56	33	58.9
県全体		220	60	27.3

【参考】過去10年間の調査結果 (7月)

調査年度	調査地区数	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)
H25	4	219	26	11.9
H26	4	233	35	15.0
H27	5	302	69	22.8
H28	4	136	37	27.2
H29	6	269	14	5.2
H30	7	334	49	14.7
R1	7	358	32	8.9
R2	8	382	96	25.1
R3	12	391	129	33.0
R4	7	239	75	31.4
平均		286.3	56.2	19.5

② いもち病 (8月 : 100株見取り調査)

地区	調査月日	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)
四国中央市	8月4日	31	10	32.3
今治地区	8月3日	42	25	59.5
今治地区	8月17日	45	23	51.1
今治地区	8月29日	44	10	22.7
東予計		162	68	42.0
久万高原町	8月21日	74	7	9.5
松山地区	8月23日	51	23	45.1
伊予・松前地区	8月1日	41	8	19.5
東温地区	8月1日	35	11	31.4
伊予・松前地区	8月28日	43	13	30.2
東温地区	8月28日	36	11	30.6
中予計		280	73	26.1
宇和島鬼北	8月24日	11	9	81.8
愛南	8月17日	7	6	85.7
西予	8月31日	10	5	50.0
大洲	8月22日	19	13	68.4
南予計		47	33	70.2
県全体		489	174	35.6

【参考】過去10年間の調査結果 (8月)

調査年度	調査地区数	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)
H24	4	221	82	37.1
H25	4	219	26	11.9
H26	4	233	35	15.0
H27	5	302	69	22.8
H28	4	136	37	27.2
H29	6	269	14	5.2
H30	7	334	49	14.7
R1	7	358	32	8.9
R2	8	382	96	25.1
R3	12	391	129	33.0
R4	11	493	143	29.0
平均		272.7	48.9	18.7

② セジロウンカ (7月 : 10株払落し調査)

早期・普通期

地区	調査月日	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)	平均虫数 (頭/10株)	成幼虫密度別圃場割合%			成虫密度別圃場割合%	
						1~9頭	10~49頭	50頭~	1~9頭	10頭~
西条地区(旧周桑)	7月21日	22	7	0.0	0.73	31.8	0.0	0.0	0.00	0.0
今治地区	7月11日	39	5	0.0	0.26	12.8	0.0	0.0	5.1	0.0
東予計		61	12	19.7	0.50	22.3	0.0	0.0	2.6	0.0
久万高原町	7月21日	49	14	0.0	0.51	28.6	0.0	0.0	4.1	0.0
松山地区	7月26日	54	9	0.0	0.85	13.0	3.7	0.0	7.4	0.0
中予計		103	23	22.3	0.68	20.8	1.9	0.0	5.7	0.0
宇和島鬼北	7月13日	10	5	0.0	0.45	50.0	0.0	0.0	30.0	0.0
愛南	7月20日	7	5	0.0	7.71	57.1	14.3	0.0	57.1	0.0
西予	7月26日	16	9	0.0	5.69	37.5	18.8	0.0	18.8	0.0
大洲	7月27日	23	19	0.0	6.70	47.8	34.8	0.0	39.1	0.0
南予計		56	38	67.86	5.1	48.1	17.0	0.0	36.3	0.0
県全体		220	73	33.18	2.10	30.4	6.3	0.0	14.9	0.0

【参考】過去10年の調査結果

調査年度	調査地区数	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)	平均虫数 (頭/10株)	成幼虫密度別圃場割合%			成虫密度別圃場割合%	
						1~9頭	10~49頭	50頭~	1~9頭	10頭~
H25	5	288	221	76.7	3.8	65.5	10.5	0.0	37.7	0.3
H26	4	233	152	65.2	4.0	56.2	10.8	0.7	35.9	0.6
H27	5	303	240	79.2	7.4	56.4	23.1	1.2	38.6	3.4
H28	4	256	220	85.9	8.7	64.3	19.4	2.4	54.3	8.2
H29	6	269	171	63.6	3.1	58.5	4.5	0.0	42.3	0.0
H30	7	344	134	39.0	1.4	36.4	2.4	0.0	17.5	0.0
R1	7	355	167	47.0	2.5	41.8	11.0	0.6	27.3	1.2
R2	8	382	258	67.5	10.7	47.1	19.7	4.6	43.1	1.3
R3	12	396	133	33.6	1.3	31.5	2.7	0.0	16.9	0.2
R4	6	227	63	27.8	1.0	31.6	3.9	0.0	16.5	0.0
平年		305.3	175.9	58.6	4.4	48.9	10.8	1.0	33.0	1.5

③-1 トビイロウンカ (10株払落し調査)

(1) トビイロウンカの7月～9月の発生状況 (各地区農業技術者絡協議会等で調査)

【7月】

地区	調査月日	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)	平均虫数 (頭/10株)	成幼虫密度別圃場割合%					成虫密度別圃場割合%					短翅雌成虫発生圃場割合	
						1～9頭	10～49頭	50～199頭	200～499頭	500頭～	1頭	2～4頭	5～9頭	10～29頭	30頭～	圃場数	発生圃場率 (%)
西条地区(旧周桑)	7月21日	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
今治地区	7月11日	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東予計		61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久万高原町	7月21日	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松山地区	7月26日	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中予計		103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇和島・鬼北	7月13日	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛南	7月20日	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西予	7月26日	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大洲	7月27日	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南予計		56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県全体		220	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【8月】

地区	調査月日	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率(%)	平均虫数(頭/10株)	成幼虫密度別圃場割合%					成虫密度別圃場割合%					短翅雌成虫発生圃場割合
						1~9頭	10~49頭	50~199頭	200~499頭	500頭~	1頭	2~4頭	5~9頭	10~29頭	30頭~	
四国中央市	8月4日	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
今治地区	8月3日	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
今治地区	8月17日	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
今治地区	8月29日	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東予計		162	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久万高原町	8月21日	74	1	1.35	0.01	0	0	0	0	0	0.01	0	0	0	0	1.35
松山地区	8月23日	51	1	1.96	0.02	1.96	0	0	0	0	1.96	0	0	0	0	1.96
伊予・松前地区	8月1日	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東温地区	8月1日	35	1	2.86	0.03	2.86	0	0	0	0	2.86	0	0	0	0	0
伊予・松前	8月28日	43	4	9.3	0.1	9.3	0	0	0	0	4.65	0	0	0	0	0
東温	8月28日	36	1	2.78	1.97	0	0	2.78	0	0	0	0	0	2.78	0	1.278
中予計		280	8	2.86	0.36	2.35	0	0.46	0	0	1.58	0	0	0.46	0	3.107
宇和島・鬼北	8月24日	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛南	8月17日	7	1	14.3	0.14	14.3	0	0	0	0	14.3	0	0	0	0	0
西予	8月31日	10	2	20	0	20	0	0	0	0	10	0	0	0	0	1.10
大洲	8月22日	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南予計		47	3	6.38	0.14	8.58	0	0	0	0	6.08	0	0	0	0	1.213
県全体		489	11	2.25	0.16	3.64	0	0.15	0	0	2.55	0	0	0.15	0	4.0.818

【9月】

地区	調査月日	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率(%)	平均虫数(頭/10株)	成幼虫密度別圃場割合%					成虫密度別圃場割合%					短翅雌成虫発生圃場	
						1~9頭 頭	10~49 頭	50~ 199頭	200~ 499頭	500頭 ~	1頭	2~4頭	5~9頭	10~29 頭	30頭~	圃場数	発生圃場率(%)
新居浜	9月4日	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西条	9月6日	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東予計		98	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松山地区	9月11日	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊予・松前地区	9月12日	40	5	12.5	1.03	0.1	0.03	0	0	0	0.1	0	0	0.03	0	2	5
東温地区	9月12日	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中予計		121	5	4.13	0.34	0.03	0.01	0	0	0	0.03	0	0	0.01	0	2	1.65
県全体		219	5	2.28	0.17	0.02	0.01	0	0	0	0.02	0	0	0.01	0	2	0.91

④ コブノメイガ (7月(一部8月1半旬まで) :100株見取り調査)

早期・普通期

【令和5年】

地区	調査月日	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)
西条地区(旧周桑)	7月21日	22	0	0
今治地区	7月11日	39	0	0
四国中央市	8月4日	31	12	38.7
今治地区	8月3日	42	10	23.8
東予計		134	22	16.4
久万高原町	7月21日	49	4	8.2
松山地区	7月26日	54	12	22.2
伊予・松前地区	8月1日	41	23	56.1
東温地区	8月1日	35	10	28.6
中予計		179	49	27.4
宇和島鬼北	7月13日	10	0	0.0
愛南	7月20日	7	3	42.9
西予	7月26日	16	6	37.5
大洲	7月27日	23	6	26.1
南予計		56	15	26.8
県全体		369	86	23.3

【参考】過去10年間の発生状況

調査年度	調査地区数	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率 (%)
H25	4	219	112	51.1
H26	4	233	15	6.4
H27	5	302	135	44.7
H28	4	256	91	35.5
H29	6	257	12	4.5
H30	7	344	36	10.8
R1	7	358	85	23.7
R2	8	382	231	60.5
R3	12	391	17	4.3
R4	11	285	9	3.2
平年		302.7	74.3	24.47875339

表1 斑点米カメムシ類の発生状況(6月下旬～7月上中旬採取調査)

【令和5年】早期水稻

地域名 調査日	区分	本 田			畦 畦		
		調査圃場 数	発生圃 場数	発生圃場率 (%)	調査地点 数	発生地 点数	発生地点率 (%)
周 桑 R5.7.21	ホソハリカメムシ	22	4	18.2	7	3	42.9
	クモヘリカメムシ		0	0.0		0	0.0
	アカスジカスミカメ		9	40.9		1	14.3
	シラホシカメムシ		1	4.5		0	0.0
	ミナミアオカメムシ		2	9.1		0	0.0
	イネカメムシ		0	0.0		0	0.0
	斑点米カメムシ類合計		10	45.5		4	57.1
今 治 R5.7.11	ホソハリカメムシ	1	0	0.0	1	1	100.0
	クモヘリカメムシ		0	0.0		1	100.0
	アカスジカスミカメ		0	0.0		1	100.0
	シラホシカメムシ		0	0.0		0	0.0
	ミナミアオカメムシ		0	0.0		0	0.0
	イネカメムシ		0	0.0		0	0.0
	斑点米カメムシ類合計		0	0.0		1	100.0
久 万 高原町 R5.7.21	ホソハリカメムシ	49	7	14.3	23	5	21.7
	クモヘリカメムシ		0	0.0		1	4.3
	アカスジカスミカメ		0	0.0		2	8.7
	シラホシカメムシ		1	2.0		4	17.4
	ミナミアオカメムシ		0	0.0		0	0.0
	イネカメムシ		0	0.0		0	0.0
	斑点米カメムシ類合計		8	16.3		8	34.8
宇和島他 R5.7.13	ホソハリカメムシ	10	1	10.0	7	2	28.6
	クモヘリカメムシ		0	0.0		2	28.6
	アカスジカスミカメ		1	10.0		1	14.3
	シラホシカメムシ		0	0.0		1	14.3
	ミナミアオカメムシ		0	0.0		1	14.3
	イネカメムシ		0	0.0		0	0.0
	斑点米カメムシ類合計		1	10.0		2	28.6
愛 南 R5.7.20	ホソハリカメムシ	7	0	0.0	6	2	33.3
	クモヘリカメムシ		0	0.0		0	0.0
	アカスジカスミカメ		0	0.0		0	0.0
	シラホシカメムシ		0	0.0		0	0.0
	ミナミアオカメムシ		0	0.0		0	0.0
	イネカメムシ		0	0.0		0	0.0
	斑点米カメムシ類合計		0	0.0		2	33.3
全 県	種 類	調査圃場 数	発生圃 場数	発生圃場率 (%)	調査点数	発生地 点数	発生地点率 (%)
	ホソハリカメムシ	89	12	13.5	44	13	29.5
	クモヘリカメムシ		0	0.0		4	9.1
	アカスジカスミカメ		10	11.2		5	11.4
	シラホシカメムシ		2	2.2		5	11.4
	ミナミアオカメムシ		2	2.2		1	2.3
	イネカメムシ		0	0.0		0	0.0
	斑点米カメムシ類合計		19	21.3		17	38.6

(東中予)

種類	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率(%)	調査点数	発生地点数	発生地点率(%)
ホソハリカメムシ	72	11	15.3	31	9	29.0
クモヘリカメムシ		0	0.0		2	6.5
アカスジカスミカメ		9	12.5		4	12.9
シラホシカメムシ		2	2.8		4	12.9
ミナミアオカメムシ		2	2.8		0	0.0
イネカメムシ		0	0.0		0	0.0
斑点米カメムシ類合計		18	25.0		13	41.9

(南予)

種類	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率(%)	調査点数	発生地点数	発生地点率(%)
ホソハリカメムシ	17	1	5.9	13	4	30.8
クモヘリカメムシ		0	0.0		2	15.4
アカスジカスミカメ		1	5.9		1	7.7
シラホシカメムシ		0	0.0		1	7.7
ミナミアオカメムシ		0	0.0		1	7.7
イネカメムシ		0	0.0		0	0.0
斑点米カメムシ類合計		1	5.9		4	30.8

表2 斑点米カメムシ類の発生状況(8月末～9月上旬すくい取調査)
【令和5年】普通期水稻

地域名 調査日	区分	本 田			畦 畦		
		調査圃 場数	発生圃 場数	発生圃場率 (%)	調査地點 数	発生地 点数	発生地點率 (%)
四国 中央 R5.9.1	ホソハリカメムシ	31	2	6.5	3	1	33.3
	クモヘリカメムシ		8	25.8		0	0.0
	アカスジカスミカメ		8	25.8		3	100.0
	シラホシカムムシ		3	9.7		1	33.3
	ミナミアオカメムシ		2	6.5		0	0.0
	イネカメムシ		0	0.0		0	0.0
	斑点米カメムシ類合計		16	51.6		3	100.0
新居浜 R5.9.4	ホソハリカメムシ	25	3	12.0	3	2	66.7
	クモヘリカメムシ		11	44.0		2	67
	アカスジカスミカメ		4	16.0		3	100
	シラホシカムムシ		3	12.0		1	33
	ミナミアオカメムシ		2	8.0		2	66.7
	イネカメムシ		0	0.0		0	0.0
	斑点米カメムシ類合計		15	60.0		3	100.0
西条 R5.9.6	ホソハリカメムシ	73	17	23.3	16	7	43.8
	クモヘリカメムシ		31	42.5		0	0
	アカスジカスミカメ		28	38.4		7	44
	シラホシカムムシ		10	13.7		3	19
	ミナミアオカメムシ		10	13.7		1	6.3
	イネカメムシ		0	0.0		0	0.0
	斑点米カメムシ類合計		50	68.5		10	62.5
今治 R5.8.29	ホソハリカメムシ	44	4	9.1	16	8	50.0
	クモヘリカメムシ		13	29.5		8	50.0
	アカスジカスミカメ		10	22.7		10	62.5
	シラホシカムムシ		2	4.5		2	12.5
	ミナミアオカメムシ		2	4.5		0	0.0
	イネカメムシ		2	4.5		0	0.0
	斑点米カメムシ類合計		21	47.7		13	81.3
東温① R5.8.28	ホソハリカメムシ	36	5	13.9	18	3	16.7
	クモヘリカメムシ		5	13.9		3	16.7
	アカスジカスミカメ		2	5.6		1	5.6
	シラホシカムムシ		2	5.6		4	22.2
	ミナミアオカメムシ		2	5.6		1	5.6
	イネカメムシ		6	16.7		0	0.0
	斑点米カメムシ類合計		15	41.7		9	50.0
東温② R5.9.12	ホソハリカメムシ	28	1	3.6	13	7	53.8
	クモヘリカメムシ		6	21.4		3	23.1
	アカスジカスミカメ		8	28.6		4	30.8
	シラホシカムムシ		1	3.6		2	15.4
	ミナミアオカメムシ		11	39.3		3	23.1
	イネカメムシ		12	42.9		1	7.7
	斑点米カメムシ類合計		22	78.6		9	69.2
松山① R5.8.23	ホソハリカメムシ	51	4	7.8	10	2	20.0
	クモヘリカメムシ		2	3.9		2	20.0
	アカスジカスミカメ		5	9.8		2	20.0
	シラホシカムムシ		0	0.0		2	20.0
	ミナミアオカメムシ		1	2.0		0	0.0
	イネカメムシ		3	5.9		0	0.0
	斑点米カメムシ類合計		16	31.4		3	30.0

松山② R5.9.11	ホソハリカメムシ	53	11	20.8	15	4	26.7
	クモヘリカメムシ		10	18.9		3	20.0
	アカスジカスミカメ		5	9.4		3	20.0
	シラホシカメムシ		1	1.9		1	6.7
	ミナミアオカメムシ		7	13.2		1	6.7
	イネカメムシ		4	7.5		2	0.0
	斑点米カメムシ類合計		26	49.1		8	53.3
伊予松前① R5.8.28	ホソハリカメムシ	43	7	16.3	22	9	40.9
	クモヘリカメムシ		10	23.3		5	22.7
	アカスジカスミカメ		8	18.6		12	54.5
	シラホシカメムシ		1	2.3		3	13.6
	ミナミアオカメムシ		0	0.0		1	4.5
	イネカメムシ		2	4.7		0	0.0
	斑点米カメムシ類合計		16	37.2		13	59.1
伊予松前② R5.9.12	ホソハリカメムシ	40	1	2.5	13	1	7.7
	クモヘリカメムシ		4	10.0		1	7.7
	アカスジカスミカメ		3	7.5		1	7.7
	シラホシカメムシ		4	10.0		5	38.5
	ミナミアオカメムシ		3	7.5		0	0.0
	イネカメムシ		2	5.0		0	0.0
	斑点米カメムシ類合計		14	35.0		6	46.2
宇和島他 R5.8.24	ホソハリカメムシ	11	4	36.4	11	5	45.5
	クモヘリカメムシ		5	45.5		4	36.4
	アカスジカスミカメ		1	9.1		2	18.2
	シラホシカメムシ		2	18.2		3	27.3
	ミナミアオカメムシ		0	0.0		0	0.0
	イネカメムシ		3	27.3		0	0.0
	斑点米カメムシ類合計		8	72.7		7	63.6
大洲喜多 R5.8.22	ホソハリカメムシ	19	5	26.3	13	7	53.8
	クモヘリカメムシ		8	42.1		2	15.4
	アカスジカスミカメ		3	15.8		4	30.8
	シラホシカメムシ		1	5.3		3	23.1
	ミナミアオカメムシ		1	5.3		0	0.0
	イネカメムシ		3	15.8		0	0.0
	斑点米カメムシ類合計		10	52.6		9	69.2
西予市 R5.8.31	ホソハリカメムシ	10	1	10.0	7	5	71.4
	クモヘリカメムシ		2	20.0		2	29
	アカスジカスミカメ		5	50.0		3	43
	シラホシカメムシ		0	0.0		0	0
	ミナミアオカメムシ		0	0.0		0	0.0
	イネカメムシ		4	40.0		0	0.0
	斑点米カメムシ類合計		6	60.0		6	85.7
全県	種類	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率(%)	調査点数(雑草)	発生地点数	発生地点率(%)
	ホソハリカメムシ	464	65	14.0	160	61	38.1
	クモヘリカメムシ		115	24.8		35	21.9
	アカスジカスミカメ		90	19.4		55	34.4
	シラホシカメムシ		30	6.5		30	18.8
	ミナミアオカメムシ		41	8.8		9	5.6
	イネカメムシ		41	8.8		3	1.9
	斑点米カメムシ類合計		235	50.6		99	61.9

(東中予)

種類	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率(%)	調査点数(雑草)	発生圃場数	発生圃場率(%)
ホソハリカメムシ	424	55	13.0	129	44	34.1
クモヘリカメムシ		100	23.6		27	20.9
アカスジカスミカメ		81	19.1		46	35.7
シラホシカムシ		27	6.4		24	18.6
ミナミアオカムシ		40	9.4		9	7.0
イネカムシ		31	7.3		3	2.3
斑点米カメムシ類合計		211	49.8		77	59.7

(南予)

種類	調査圃場数	発生圃場数	発生圃場率(%)	調査点数(雑草)	発生圃場数	発生圃場率(%)
ホソハリカメムシ	40	10	25.0	31	17	54.8
クモヘリカメムシ		15	37.5		8	25.8
アカスジカスミカメ		9	22.5		9	29.0
シラホシカムシ		3	7.5		6	19.4
ミナミアオカムシ		1	2.5		0	0.0
イネカムシ		10	25.0		0	0.0
斑点米カメムシ類合計		24	60.0		22	71.0

2 麦

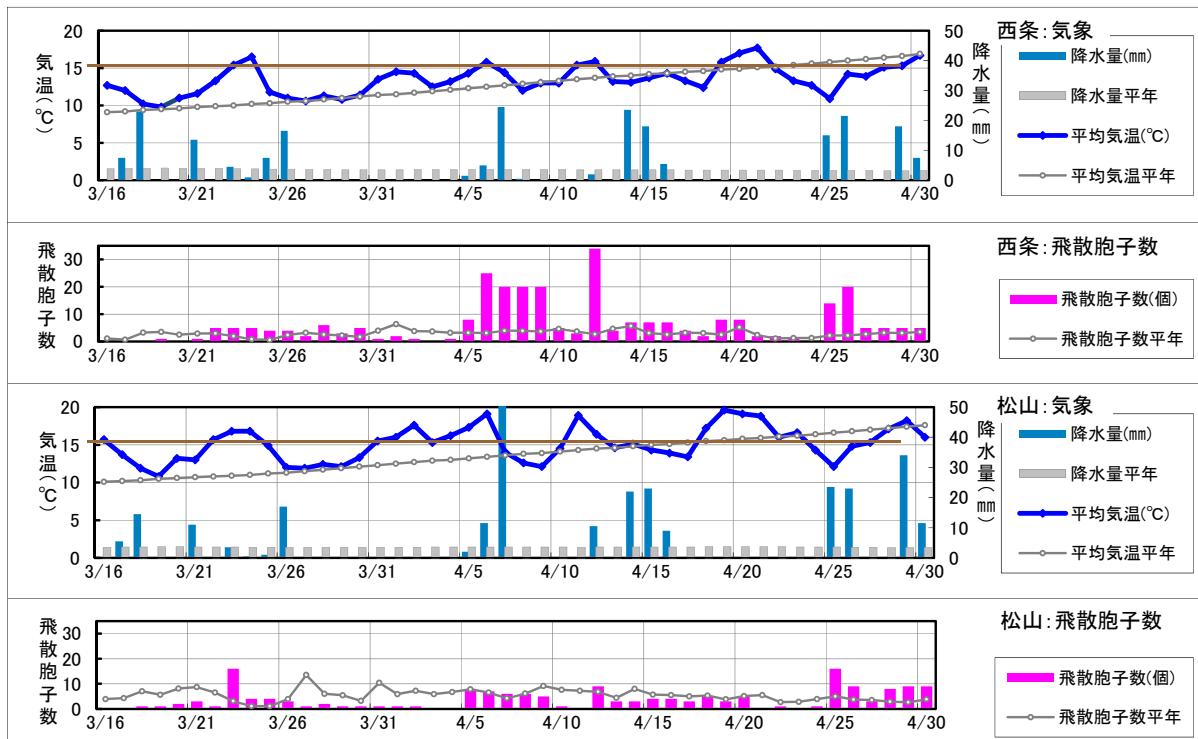
(1) 麦赤かび病

子のう胞子飛散量調査

調査地点: 西条市丹原町池田/松山市上難波、気象: アメダス西条/アメダス松山

概要: <3月16日から調査開始>

平年と比較して気温は高く推移し、定期的にまとまった降雨があった。飛散胞子数は西条市で、4月第2半旬に多くなつたが、そのほかの時期はおおむね平年並みであった。



2023 年	西条市丹原町					松山市上難波					2023 年	西条市丹原町					松山市上難波					
	気象		飛散胞子			気象		飛散胞子				気象		飛散胞子			気象		飛散胞子			
	平均 気温 (°C)	降水 量 (mm)	飛散 胞子 数	半旬 計	平年 半旬 計	平均 気温 (°C)	降水 量 (mm)	飛散 胞子 数	半旬 計	平年 半旬 計		平均 気温 (°C)	降水 量 (mm)	飛散 胞子 数	半旬 計	平年 半旬 計	平均 気温 (°C)	降水 量 (mm)	飛散 胞子 数	半旬 計	平年 半旬 計	
3/16	12.7	0	0			15.7	0	0			4/11	15.4	0	3			18.9	0	0			
3/17	12.0	7.5	0			13.7	5.5	0			4/12	15.9	2	34			16.4	10.5	9			
3/18	10.2	23	0			11.9	14.5	1			4/13	13.2	0	4			14.6	0	3			
3/19	9.8	0	1			10.8	0	1			4/14	13.1	23.5	7			15.1	22	3			
3/20	11.0	0	0	1	11.1	13.2	0	2	4	28.9	4/15	13.7	18	7	55	19.9	14.3	23	4	19		
3/21	11.6	13.5	1			13.0	11	3			4/16	14.3	5.5	7			13.9	9	4			
3/22	13.3	0	5			15.7	0	1			4/17	13.3	0	4			13.4	0	3			
3/23	15.4	4.5	5			16.8	3.5	16			4/18	12.4	0	2			17.2	0	5			
3/24	16.5	1	5			16.8	0.5	4			4/19	15.8	0	8			19.6	0	3			
3/25	11.8	7.5	4	20	9.4	14.9	1	4	28	20.5	4/20	17.0	0	8	29	16.6	19.1	0	5	20		
3/26	11.0	16.5	4			12.0	17	3			4/21	17.7	0	2			18.8	0	0			
3/27	10.6	0	2			11.9	0	1			4/22	14.9	0	2			16.0	0	1			
3/28	11.3	0	6			12.4	0	2			4/23	13.3	0	1			16.6	0	0			
3/29	10.8	0	3			12.1	0	1			4/24	12.7	0	0			14.3	0	1			
3/30	11.4	0	5			13.3	0	1			4/25	10.9	15	14	19	8.3	12.1	23.5	16	18		
3/31	13.5	0	1	21	16.1	15.5	0	1	9	42.4	4/26	14.2	21.5	20			14.8	23	9			
4/1	14.5	0	2			16.0	0	1			4/27	13.9	0	5			15.3	0	3			
4/2	14.3	0	1			17.6	0	1			4/28	15.1	0	5			17.1	0	8			
4/3	12.5	0	0			15.3	0	0			4/29	15.3	18	5			18.2	34	9			
4/4	13.2	0	1			16.2	0	0			4/30	16.7	7.5	5	40	14.7	16.0	11.5	9	38		
4/5	14.3	1.5	8	12	20.3	17.3	2	8	10	33.5	計	-	216.0	287	287	136	-	281.0	171	171	252	
4/6	15.8	5	25			19.1	11.5	7			飛散胞子数調査:											
4/7	14.4	24.5	20			14.0	58	6			・麦畠場に明日山式胞子採集器を設置し、原則毎朝調査。											
4/8	12.0	0.5	20			12.6	0	6			・スライドグラスに付着した胞子を、面積18×18mm分カウント、2枚のスライドグラス分を合計し、飛散胞子数とした。											
4/9	13.0	0	20			12.1	0	5			・調査間隔があついた場合は、日数で除し、日別値を求めた。											
4/10	13.0	0	5	90	19.3	14.5	0	1	25	33.5												

(2) 麦広域調査

市町村	調査圃場数	発生圃場数									
		赤かび病 (発病穂率)		裸黒穂病 (発病茎率)			うどんこ病 (発病程度)			アブラムシ類	黒節病
		無	少 (<0, ≥40%)	無	少 (1%以下)	中 (2~5%)	無	少 (1~%9)	中 (10~29%)	発生有	発生有
西条市	112	93	19	93	19	0	26	0	0	0	0
東温市	53	49	4	47	6	0	0	0	0	0	0
伊予市	27	23	4	25	2	0	0	0	0	0	0
松前町	36	30	6	36	0	0	0	0	0	0	1
松山市	18	16	2	12	6	0	0	0	0	0	1
大洲市	6	3	3	3	2	1	0	0	0	0	0
内子町	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0
西予市	27	17	10	24	3	0	0	0	0	0	0
計	282	234	48	243	38	1	26	0	0	0	2
発生圃場率 (%)			17.0		38.4			0.0		0.0	0.7

1)調査方法:赤かび病・黒穂病類 (1圃場当たり1000穂調査)

うどんこ病・アブラムシ類 (1圃場当たり100葉×4カ所、計400葉調査)

3 大豆

(3) 大豆広域調査

調査地区	調査圃 場数	ハスモンヨトウ									
		1 a当たり白変か所数別 圃場数					食害度別圃場数				
		0	1~2	3~5	6~7	8~	0	0~10	11~25	26~50	51~
西条市	40	19	19	2	0	0	0	15	23	2	0
西予市	30	23	7	0	0	0	-	-	-	-	-
計	70	42	26	2	0	0	0	15	23	2	0

4 かんきつ

調査地点概要は下記のとおり

調査地点	品種	備考
東 予	四国中央市下柏	温州みかん
	大西町山之内①	温州みかん
	大西町山之内②	はれひめ
	菊間町西山	伊予柑
	大三島町宗方	はれひめ
	大三島盛	温州みかん
	大三島野々江	甘平
中 予	松山市菅沢	温州みかん
	松山市上難波	愛媛果試第28号
	松山市粟井	甘平
	松山市庄	甘平
	松山市伊台	温州みかん
	伊予市上灘	温州みかん
	伊予市下灘	温州みかん
中 予	伊予市宮下①	温州みかん
	伊予市宮下②	伊予柑
	砥部町大南	温州みかん
	伊方町中之浜	温州みかん
	八幡浜市宮内①	伊予柑
	八幡浜市宮内②	伊予柑
	八幡浜市向灘	温州みかん
中 予	八幡浜市須川	伊予柑
	八幡浜市舌間	温州みかん
	八幡浜市川上	温州みかん
	宇和島市白浦	温州みかん
	宇和島市立間①	温州みかん
	宇和島市立間②	温州みかん
	宇和島市高串	温州みかん
中 予	宇和島市繁近①	温州みかん
	宇和島市繁近②	せとか
愛南町平山		甘夏

1) 病害調査 (120葉・果調査)

調査場所	調査時期		
	5月	6月	7月
東予	0	0	0
四国中央市下柏	0	0	0
大西町山之内①	0	0	0
大三島盛	0	0	0
中予	0.8	1.1	1.1
松山市伊台	0	0	0
松山市菅沢	0	0	0
伊予市上灘	0	0	0
伊予市下灘	0	0	0
伊予市宮下①	0	0	0
砥部町大南	5	6.7	6.7
南予	0	0	0.1
伊方町中之浜	0	0	0
八幡浜市向灘	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	0
八幡浜市川上	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0.8
平均	0.3	0.4	0.4

調査場所	調査時期		
	5月	6月	7月
東予	0	0	0
四国中央市下柏	0	0	0
大西町山之内①	0	0	0
大三島盛	0	0	0
中予	0.3	0.2	0.4
松山市伊台	0	0	0
松山市菅沢	0	0	0
伊予市上灘	0	0	0
伊予市下灘	0	0	0
伊予市宮下①	0	0	0
砥部町大南	1.7	1.3	2.7
南予	0	0	0.02
伊方町中之浜	0	0	0
八幡浜市向灘	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	0
八幡浜市川上	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0.2
平均	0.1	0.1	0.2

そうか病発病果率 (%)		調査時期				
調査場所		6月	7月	8月	9月	10月
東予		0	0	0	0	0
四国中央市下柏		0	0	0	0	0
大西町山之内①		0	0	—	0	—
大三島盛		0	0	—	0	—
中予		1.7	1.9	2.5	2.6	—
松山市伊台		0	0	0	0	—
松山市菅沢		0	0	0	0	—
伊予市上灘		0	0	0	0	—
伊予市下灘		0	0	0	0	—
伊予市宮下①		0	0	0	0	—
砥部町大南		10	11.7	15	15.8	—
南予		0	0	0	0	—
伊方町中之浜		0	0	0	0	—
八幡浜市向灘		0	0	0	0	—
八幡浜市舌間		0	0	0	0	—
八幡浜市川上		0	0	0	0	—
宇和島市高串		0	0	0	0	—
宇和島市白浦		0	0	0	0	—
宇和島市繁近①		0	0	0	0	—
宇和島市立間①		0	0	0	0	—
宇和島市立間②		0	0	0	0	—
平均		0.6	0.6	0.9	0.9	—

そうか病果実発病度		調査時期				
調査場所		6月	7月	8月	9月	10月
東予		0	0	0	0	0
四国中央市下柏		0	0	0	0	0
大西町山之内①		0	0	—	0	—
大三島盛		0	0	—	0	—
中予		0.8	0.9	1.2	1.1	—
松山市伊台		0	0	0	0	—
松山市菅沢		0	0	0	0	—
伊予市上灘		0	0	0	0	—
伊予市下灘		0	0	0	0	—
伊予市宮下①		0	0	0	0	—
砥部町大南		4.7	5.7	7	6.5	—
南予		0	0	0	0	—
伊方町中之浜		0	0	0	0	—
八幡浜市向灘		0	0	0	0	—
八幡浜市舌間		0	0	0	0	—
八幡浜市川上		0	0	0	0	—
宇和島市高串		0	0	0	0	—
宇和島市白浦		0	0	0	0	—
宇和島市繁近①		0	0	0	0	—
宇和島市立間①		0	0	0	0	—
宇和島市立間②		0	0	0	0	—
平均		0.3	0.3	0.4	0.4	0

調査場所	調査時期					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
東予	0.1	11.2	26.5	26.0	24.0	34.6
四国中央市下柏	0	10.8	6.7	3.3	6.7	—
大三島盛	0	0.8	0	8.3	24.2	—
大三島町宗方	0	30	87.5	81.7	75.8	80
大三島野々江	0.8	35	91.7	83.3	55.8	52.5
大西町山之内①	0	0	0	0	3.3	—
大西町山之内②	0	0	0	0	2.5	2.5
菊間町西山	0	1.7	0	5	0	3.3
中予	3	6.7	5.5	3.5	3.2	2.2
松山市粟井	0.8	13.3	1.7	0	1.7	5
松山市伊台	0	0	0	1.7	0	—
松山市庄	0	0.8	0	0	0	0
松山市上難波	0	0	0	1.7	—	—
松山市菅沢	0	0	8.3	0	1.7	—
伊予市上灘	0	3.3	2.5	1.7	0	—
伊予市下灘	0.8	2.5	0.8	0.8	0	0
伊予市宮下①	1.7	5.8	3.3	0	7.5	5.8
伊予市宮下②	0	3.3	0	0	0	0
砥部町大南	26.7	37.5	38.3	29.2	18.3	—
南予	0	0.2	8.1	14.1	27.4	38.4
伊方町中之浜	0	0	0	11.7	32.5	53.3
八幡浜市宮内①	0	0.8	91.7	0	96.7	88.3
八幡浜市宮内②	0	0	0	85.8	0	0
八幡浜市向灘	0	0	0	1.7	17.5	6.7
八幡浜市須川	0	0	0	0	5.8	25.8
八幡浜市舌間	0	0	0	14.2	40	60
八幡浜市川上	0	0	0	0	19.2	26.7
宇和島市高串	0	0	7.5	10	70.8	—
宇和島市白浦	0	0	0	0.8	2.5	26.7
宇和島市繁近①	0	0	0	18.3	54.2	—
宇和島市繁近②	0	0	7.5	29.2	13.3	55.8
宇和島市立間①	0	0	0	1.7	0	5.8
宇和島市立間②	0	0	0	0	21.7	—
愛南町平山	0	2.5	6.7	24.2	9.2	73.3
平均	1.0	4.8	11.4	13.4	19.4	28.6

調査場所	調査時期					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
東予	0.0	2.2	5.3	5.2	6.6	13.8
四国中央市下柏	0	2.2	1.3	0.7	2.7	—
大三島盛	0	0.2	0	1.7	4.8	—
大三島町宗方	0	6	17.5	16.3	24.5	40.7
大三島野々江	0.2	7	18.3	16.7	13.2	13.2
大西町山之内①	0	0	0	0	0.7	—
大西町山之内②	0	0	0	0	0.5	0.5
菊間町西山	0	0.3	0	1	0	0.7
中予	0.7	1.8	1.2	0.7	0.8	0.4
松山市栗井	0.2	2.7	0.3	0	0.3	1
松山市伊台	0	0	0	0.3	0	—
松山市庄	0	0.2	0	0	0	0
松山市上難波	0	0	0	0.3	—	—
松山市菅沢	0	0	1.7	0	0.3	—
伊予市上灘	0	0.7	0.5	0.3	0	—
伊予市下灘	0.2	0.5	0.2	0.2	0	0
伊予市宮下①	0.3	1.2	1.3	0	2.2	1.2
伊予市宮下②	0	0.7	0	0	0	0
砥部町大南	6	12.2	7.7	5.8	4.3	—
南予	0	0.2	2.2	3.8	6.1	9.7
伊方町中之浜	0	0	0	2.3	6.5	12.7
八幡浜市宮内①	0	0.8	26.3	0	23.3	31.7
八幡浜市宮内②	0	0	0	17.2	0	0
八幡浜市向灘	0	0	0	0.3	3.5	3.3
八幡浜市須川	0	0	0	0	1.2	5.2
八幡浜市舌間	0	0	0	2.8	8	13.3
八幡浜市川上	0	0	0	0	3.8	6.7
宇和島市高串	0	0	1.5	2	14.2	—
宇和島市白浦	0	0	0	0.2	0.5	5.3
宇和島市繁近①	0	0	0	3.7	14.8	—
宇和島市繁近②	0	0	1.5	5.8	2.7	11.2
宇和島市立間①	0	0	0	0.3	0	1.2
宇和島市立間②	0	0	0	0	4.3	—
愛南町平山	0	2.5	1.3	18.2	3.2	16
平均	0.2	1.2	2.6	3.1	4.7	8.2

調査場所	調査時期					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月
東予	0	0.1	1.3	1.8	1.4	0.6
四国中央市下柏	0	0	0	0	0	0
大三島盛	0	0	0	0	0	0
大三島町宗方	0	0.8	5.8	8.3	9.2	4.2
大三島野々江	0	0	3.3	4.2	0.8	0
大西町山之内①	0	0	0	0	0	0
大西町山之内②	0	0	0	0	0	0
菊間町西山	0	0	0	0	0	0
中予	0.2	0.6	2.3	1.8	1.4	0.8
松山市粟井	1.7	5.8	17.5	6.7	5	5.8
松山市伊台	0	0	0	0	0	0
松山市庄	0	0	0.8	5	5.8	0
松山市上難波	0	0	0	0	0	0
松山市菅沢	0	0	0	0	0	0
伊予市上灘	0	0	0	0	0	0
伊予市下灘	0	0	4.2	2.5	1.7	1.7
伊予市宮下①	0	0	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0	4.2	1.7	0
砥部町大南	0	0	0	0	0	0
南予	0	0.2	0.1	0.1	0.2	0
伊方町中之浜	0	0	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	0	2.5	1.7	0.8	1.7	0
八幡浜市宮内②	0	0.8	0	0	1.7	0
八幡浜市向灘	0	0	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	0	0	0	0
八幡浜市川上	0	0	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0	0	0	0
宇和島市繁近②	0	0	0	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0	0	0	0
愛南町平山	0	0	0	0	0	0
平均	0.1	0.3	1.1	1.0	0.9	0.4

調査場所	調査時期					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月
東予	0	0.02381	0.83333	0.7381	0.85714	0.30952
四国中央市下柏	0	0	0	0	0	0
大三島盛	0	0	0	0	0	0
大三島町宗方	0	0.2	4.5	4.3	5.8	2.2
大三島野々江	0	0	1.3	0.8	0.2	0
大西町山之内①	0	0	0	0	0	0
大西町山之内②	0	0	0	0	0	0
菊間町西山	0	0	0	0	0	0
中予	0.0	0.3	0.9	1.0	0.8	0.3
松山市粟井	0.3	2.5	6.2	2.7	1	2.5
松山市伊台	0	0	0	0	0	0
松山市庄	0	0	0.2	3.7	4.5	0
松山市上難波	0	0	0	0	0	0
松山市菅沢	0	0	0	0	0	0
伊予市上灘	0	0	0	0	0	0
伊予市下灘	0	0	2.2	0.5	1	0.3
伊予市宮下①	0	0	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0	3.5	1	0
砥部町大南	0	0	0	0	0	0
南予	0	0.1	0.1	0.0	0.1	0
伊方町中之浜	0	0	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	0	1.2	1.7	0.2	1	0
八幡浜市宮内②	0	0.2	0	0	1	0
八幡浜市向灘	0	0	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	0	0	0	0
八幡浜市川上	0	0	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0	0	0	0
宇和島市繁近②	0	0	0	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0	0	0	0
愛南町平山	0	0	0	0	0	0
平均	0.0	0.1	0.5	0.5	0.5	0.2

調査場所	調査時期					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
東予	0	0.2	0.2	1.7	0.5	0
四国中央市下柏	0	0	0	0	0	—
大三島盛	0	0	0	0	0	—
大三島町宗方	0	0.8	1.7	7.5	0.8	—
大三島野々江	0	0.8	0	2.5	1.7	—
大西町山之内①	0	0	0	1.7	0	—
大西町山之内②	0	0	0	0	0	0
菊間町西山	0	0	0	0	0.8	0
中予	0.3	1.0	1.5	1.3	0.9	0.8
松山市粟井	2.5	10	6.7	5.8	2.5	3.3
松山市伊台	0	0	0	0	0	—
松山市庄	0	0	7.5	3.3	1.7	0.8
松山市上難波	0	0	0	0	—	—
松山市菅沢	0	0	0	0	0	0
伊予市上灘	0	0	0	0	0	—
伊予市下灘	0	0	0.8	1.7	0	0
伊予市宮下①	0	0	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0	1.7	4.2	0.8
砥部町大南	0	0	0	0	0	—
南予	0	0.2	0.4	0.4	0.2	0
伊方町中之浜	0	0	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	0	2.5	3.3	2.5	0.8	0
八幡浜市宮内②	0	0	0.8	3.3	1.7	0
八幡浜市向灘	0	0	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	0	0	0	0
八幡浜市川上	0	0	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0	—
宇和島市白浦	0	0	0	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0	0	0	—
宇和島市繁近②	0	0	0	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0.8	0	0	—
愛南町平山	0	0	0	0	0	0
平均	0.1	0.5	0.7	1.0	0.5	0.3

調査場所	調査時期					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
東予	0	0.1	0.2	1.0	0.1	0
四国中央市下柏	0	0	0	0	0	—
大三島盛	0	0	0	0	0	—
大三島町宗方	0	0.8	1.7	6.2	0.2	—
大三島野々江	0	0.2	0	0.5	0.3	—
大西町山之内①	0	0	0	0.3	0	—
大西町山之内②	0	0	0	0	0	0
菊間町西山	0	0	0	0	0.2	0
中予	0.1	0.4	0.8	0.8	0.4	0.3
松山市栗井	1.2	4	4	3.8	0.5	0.7
松山市伊台	0	0	0	0	0	—
松山市庄	0	0	3.5	2	1	0.2
松山市上難波	0	0	0	0	—	—
松山市菅沢	0	0	0	0	0	0
伊予市上灘	0	0	0	0	0	—
伊予市下灘	0	0	0.8	0.3	0	0
伊予市宮下①	0	0	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0	1.7	2.2	0.8
砥部町大南	0	0	0	0	0	—
南予	0	0.1	0.3	0.3	0.0	0
伊方町中之浜	0	0	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	0	1.2	2.7	2.5	0.2	0
八幡浜市宮内②	0	0	0.2	1.3	0.3	0
八幡浜市向灘	0	0	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	0	0	0	0
八幡浜市川上	0	0	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0	—
宇和島市白浦	0	0	0	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0	0	0	—
宇和島市繁近②	0	0	0	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0.8	0	0	—
愛南町平山	0	0	0	0	0	0
平均	0.0	0.2	0.4	0.6	0.2	0.1

灰色かび病花弁発病率 (%)	調査時期
調査場所	5月
東予	0.2
四国中央市下柏	0.8
大三島盛	0
大三島町宗方	0
大三島野々江	0
大西町山之内①	0.8
大西町山之内②	0
菊間町西山	0
中予	0.3
松山市粟井	0.8
松山市伊台	2.5
松山市庄	0
松山市上難波	0
松山市菅沢	0
伊予市上灘	0
伊予市下灘	0
伊予市宮下①	0
伊予市宮下②	0
砥部町大南	0
南予	0.3
伊方町中之浜	0
八幡浜市宮内①	0
八幡浜市宮内②	0
八幡浜市向灘	0.8
八幡浜市須川	0
八幡浜市舌間	0
八幡浜市川上	0
宇和島市高串	2.5
宇和島市白浦	0
宇和島市繁近①	0
宇和島市繁近②	0
宇和島市立間①	0
宇和島市立間②	0
愛南町平山	0.8
平均	0.3

2) 害虫調査 (120葉・果実調査、アブラムシ類は新梢、ミカンサビダニは3樹全果)

調査場所		調査時期									
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
東予		1.1	1.5	0	1.0	1.9	15.1	0.1	0.0	0.4	2.4
四国中央市下柏		5	0	0	2.5	0	100	0	0	0.8	15
大三島盛		1.7	10.8	0	4.2	8.3	0.8	0	0	0	0
大三島町宗方		0	0	0	0	0	1.7	0	0	0	1.7
大三島野々江		0	0	0	0	0	0	0.8	0	0.8	0
大西町山之内①		0	0	0	0	0.8	0	0	0	0	0
大西町山之内②		0	0	0	0	0.8	3.3	0	0	0	0
菊間町西山		0.8	0	0	0	3.3	0	0	0	0.8	0
中予		0.3	1.3	2.8	1.0	2.3	12.6	7.2	3.6	0.8	6.0
松山市栗井		1.7	8.3	12.5	1.7	9.2	80.8	37.5	0	0	5.8
松山市伊台		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松山市庄		0	0	0	0.8	0	33.3	0	0	0	5
松山市上難波		0	0	0	0	0.8	0	0	0	0	0
松山市菅沢		0	2.5	0	4.2	8.3	5	18.3	0	0	3.3
伊予市上灘		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊予市下灘		0	0	11.7	3.3	0.8	5	0	0	2.5	13.3
伊予市宮下①		0	0	0	0	0.8	1.7	0.8	0	0	1.7
伊予市宮下②		0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3
砥部町大南		0.8	2.5	3.3	0	3.3	0	15	35.8	5	27.5
南予		0.7	0.8	0.2	0	0	11.0	2.0	1.7	0.0	1.0
伊方町中之浜		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡浜市宮内①		0	3.3	0	0	0	5.8	1.7	2.5	0	0
八幡浜市宮内②		0	0	0.8	0	0	11.7	0.8	0	0	0
八幡浜市向灘		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡浜市須川		0	0	0	0	0	0.8	0	0	0	0
八幡浜市舌間		0.8	5.8	1.7	0	0	0	10.8	0	0	0
八幡浜市川上		6.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0.8
宇和島市高串		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
宇和島市白浦		1.7	1.7	0	0	0	0	8.3	20	0	0
宇和島市繁近①		0	0	0	0	0	20.8	5	0	0	—
宇和島市繁近②		0	0	0.8	0	0	86.7	0	0.8	0	0
宇和島市立間①		0	0	0	0	0	0	0.8	0	0	0
宇和島市立間②		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛南町平山		0	0	0	0	0	28.3	0	0	0	11.7
平均		0.6	1.1	1.0	0.5	1.2	12.4	3.2	1.9	0.3	3.1

調査場所		調査時期									
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
東予		0.01	0.01	0	0.01	0.03	1.17	1.61	0	0.00	0.05
四国中央市下柏		0.07	0	0	0.03	0	8.09	0	0	0.01	0.3
大三島盛		0.02	0.07	0	0.04	0.11	0.01	0	0	0	0
大三島町宗方		0	0	0	0	0	0.02	0	0	0	0.02
大三島野々江		0	0	0	0	0.02	0.04	11.28	0	0	0.02
大西町山之内①		0	0	0	0	0.03	0	0	0	0	0
大西町山之内②		0	0	0	0	0.01	0.04	0	0	0	0
菊間町西山		0.01	0	0	0	0.07	0	0	0	0.01	0
中予		0.00	0.03	0.04	0.02	0.03	0.59	0.15	0.17	0.01	0.12
松山市栗井		0.02	0.16	0.19	0.03	0.14	4.55	0.61	0	0	0.09
松山市伊台		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松山市庄		0	0	0	0.01	0	1.15	0	0	0	0.06
松山市上難波		0	0	0	0	0.01	0	0	0	0	0
松山市菅沢		0	0.04	0	0.05	0.13	0.05	0.47	0	0	0.03
伊予市上灘		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊予市下灘		0	0	0.2	0.09	0.01	0.08	0	0	0.03	0.23
伊予市宮下①		0	0	0	0	0.01	0.03	0.01	0	0	0.02
伊予市宮下②		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.07
砥部町大南		0.01	0.06	0.05	0	0.03	0	0.37	1.66	0.05	0.69
南予		0.01	0.01	0.00	0	0	0.57	0.00	0.03	0	0.02
伊方町中之浜		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡浜市宮内①		0	0.04	0	0	0	0.07	0	0.03	0	0
八幡浜市宮内②		0	0	0.01	0	0	0.13	0.01	0	0	0
八幡浜市向灘		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡浜市須川		0	0	0	0	0	0.01	0	0	0	0
八幡浜市舌間		0.01	0.09	0.05	0	0	0	0	0	0	0
八幡浜市川上		0.09	0	0	0	0	0	0	0	0	0.02
宇和島市高串		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
宇和島市白浦		0.02	0.03	0	0	0	0	0	0.43	0	0
宇和島市繁近①		0	0	0	0	0	1.2	—	0	0	—
宇和島市繁近②		0	0	0.01	0	0	5.33	0	0.01	0	0
宇和島市立間①		0	0	0	0	0	—	—	0	0	0
宇和島市立間②		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
愛南町平山		0	0	0	0	0	1.19	0	0	0	0.19
平均		0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.71	0.44	0.07	0.00	0.06

ヤリイガラシ寄生葉率 (%)		調査時期					
調査場所		5月	6月	7月	8月	9月	10月
東予		0	0	0	0	0	0
四国中央市下柏		0	0	0	0	0	0
大三島盛		0	0	0	0	0	0
大三島町宗方		0	0	0	0	0	0
大三島野々江		0	0	0	0	0	0
大西町山之内①		0	0	0	0	0	0
大西町山之内②		0	0	0	0	0	0
菊間町西山		0	0	0	0	0	0
中予		0	0	0.2	0	0	0.2
松山市栗井		0	0	0	0	0	0
松山市伊台		0	0	0	0	0	0
松山市庄		0	0	0	0	0	0
松山市上難波		0	0	0	0	0	0
松山市菅沢		0	0	1.7	0	0	1.7
伊予市上灘		0	0	0	0	0	0
伊予市下灘		0	0	0	0	0	0
伊予市宮下①		0	0	0	0	0	0
伊予市宮下②		0	0	0	0	0	0
砥部町大南		0	0	0	0	0	0
南予		0	0	0	0	0.1	0.1
伊方町中之浜		0	0	0	0	0	0
八幡浜市宮内①		0	0	0	0	0	0
八幡浜市宮内②		0	0	0	0	1.7	0
八幡浜市向灘		0	0	0	0	0	0
八幡浜市須川		0	0	0	0	0	0
八幡浜市舌間		0	0	0	0	0	0.8
八幡浜市川上		0	0	0	0	0	0
宇和島市高串		0	0	0	0	0	0
宇和島市白浦		0	0	0	0	0	0
宇和島市繁近①		0	0	0	0	0	0
宇和島市繁近②		0	0	0	0	0	0
宇和島市立間①		0	0	0	0	0	0
宇和島市立間②		0	0	0	0	0	0
愛南町平山		0	0	0	0	0	0
平均		0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1

ヤリイガラシ寄生果率 (%)		調査時期			
調査場所		7月	8月	9月	10月
東予		0	0	0	0
四国中央市下柏		0	0	0	0
大三島盛		0	0	0	0
大三島町宗方		0	0	0	0
大三島野々江		0	0	0	0
大西町山之内①		0	0	0	0
大西町山之内②		0	0	0	0
菊間町西山		0	0	0	0
中予		0	0	0	0.2
松山市栗井		0	0	0	0
松山市伊台		0	0	0	0
松山市庄		0	0	0	0
松山市上難波		0	0	0	—
松山市菅沢		0	0	0	1.7
伊予市上灘		0	0	0	0
伊予市下灘		0	0	0	0
伊予市宮下①		0	0	0	0
伊予市宮下②		0	0	0	0
砥部町大南		0	0	0	0
南予		0	0	0	0
伊方町中之浜		0	0	0	0
八幡浜市宮内①		0	0	0	0
八幡浜市宮内②		0	0	0	0
八幡浜市向灘		0	0	0	0
八幡浜市須川		0	0	0	0
八幡浜市舌間		0	0	0	0
八幡浜市川上		0	0	0	0
宇和島市高串		0	0	0	0
宇和島市白浦		0	0	0	0
宇和島市繁近①		0	0	0	0
宇和島市繁近②		0	0	0	0
宇和島市立間①		0	0	0	0
宇和島市立間②		0	0	0	0
愛南町平山		0	0	0	0
平均		0	0	0	0.1

調査場所	調査時期			
	7月	8月	9月	10月
東予	0	0	0	0
四国中央市下柏	0	0	0	0
大三島盛	0	0	0	0
大三島町宗方	0	0	0	0
大三島野々江	0	0	0	0
大西町山之内①	0	0	0	0
大西町山之内②	0	0	0	0
菊間町西山	0	0	0	0
中予	0	0.4	0.8	0
松山市栗井	0	0	0	0
松山市伊台	0	4.2	0	0
松山市庄	0	0	0	0
松山市上難波	0	0	0	—
松山市菅沢	0	0	7.5	0
伊予市上灘	0	0	0	0
伊予市下灘	0	0	0	0
伊予市宮下①	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0	0
砥部町大南	0	0	0	0
南予	0	0	0	0
伊方町中之浜	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	0	0	0	0
八幡浜市宮内②	0	0	0	0
八幡浜市向灘	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	0	0
八幡浜市川上	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0	0
宇和島市繁近②	0	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0	0
愛南町平山	0	0	0	0
平均	0	0.1	0.2	0

調査場所	調査時期			
	7月	8月	9月	10月
東予	0	0	0	0
四国中央市下柏	0	0	0	0
大三島盛	0	0	0	0
大三島町宗方	0	0	0	0
大三島野々江	0	0	0	0
大西町山之内①	0	0	0	0
大西町山之内②	0	0	0	0
菊間町西山	0	0	0	0
中予	0	0	0	0.5
松山市栗井	0	0	0	0
松山市伊台	0	0	0	0
松山市庄	0	0	0	0
松山市上難波	0	0	0	—
松山市菅沢	0	0	0	4.2
伊予市上灘	0	0	0	0
伊予市下灘	0	0	0	0
伊予市宮下①	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0	0
砥部町大南	0	0	0	0
南予	0	0	0	0
伊方町中之浜	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	0	0	0	0
八幡浜市宮内②	0	0	0	0
八幡浜市向灘	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	0	0
八幡浜市川上	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0	0
宇和島市繁近②	0	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0	0
愛南町平山	0	0	0	0
平均	0	0	0	0.1

調査場所	調査時期			
	7月	8月	9月	10月
東予	0	0	0	0
四国中央市下柏	0	0	0	0
大三島盛	0	0	0	0
大三島町宗方	0	0	0	0
大三島野々江	0	0	0	0
大西町山之内①	0	0	0	0
大西町山之内②	0	0	0	0
菊間町西山	0	0	0	0
中予	0	0	0	0
松山市栗井	0	0	0	0
松山市伊台	0	0	0	0
松山市庄	0	0	0	0
松山市上難波	0	0	0	—
松山市菅沢	0	0	0	0
伊予市上灘	0	0	0	0
伊予市下灘	0	0	0	0
伊予市宮下①	0	0	0	0
伊予市宮下②	0	0	0	0
砥部町大南	0	0	0	0
南予	0	0	0	0
伊方町中之浜	0	0	0	0
八幡浜市宮内①	0	0	0	0
八幡浜市宮内②	0	0	0	0
八幡浜市向灘	0	0	0	0
八幡浜市須川	0	0	0	0
八幡浜市舌間	0	0	0	0
八幡浜市川上	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0
宇和島市白浦	0	0	0	0
宇和島市繁近①	0	0	0	0
宇和島市繁近②	0	0	0	0
宇和島市立間①	0	0	0	0
宇和島市立間②	0	0	0	0
愛南町平山	0	0	0	0
平均	0	0	0	0

調査場所	調査時期	
	10月	
東予	0	
四国中央市下柏	0	
大三島盛	0	
大三島町宗方	0	
大三島野々江	0	
大西町山之内①	0	
大西町山之内②	0	
菊間町西山	0	
中予	0	
松山市栗井	0	
松山市伊台	0	
松山市庄	0	
松山市上難波	0	
松山市菅沢	0	
伊予市上灘	0	
伊予市下灘	0	
伊予市宮下①	0	
伊予市宮下②	0	
砥部町大南	0	
南予	0.3	
伊方町中之浜	0	
八幡浜市宮内①	0	
八幡浜市宮内②	0	
八幡浜市向灘	0	
八幡浜市須川	0	
八幡浜市舌間	4.2	
八幡浜市川上	0	
宇和島市高串	0	
宇和島市白浦	0	
宇和島市繁近①	0	
宇和島市繁近②	0	
宇和島市立間①	0	
宇和島市立間②	0	
愛南町平山	0	
平均	0.1	

アラシ類寄生新梢率 (%)		調査時期		
調査場所		4月	6月	7月
東予		0.7	3	0
四国中央市下柏		0	8	0
大三島盛		1	0	0
大三島町宗方		0	1	0
大三島野々江		0	3	0
大西町山之内①		3	9	0
大西町山之内②		1	0	0
菊間町西山		0	0	0
中予		0.7	2.0	0.4
松山市栗井		0	0	0
松山市伊台		0	1	0
松山市庄		1	4	0
松山市上難波		0	5	0
松山市菅沢		0	1	3
伊予市上灘		0	0	0
伊予市下灘		0	9	0
伊予市宮下①		1	0	0
伊予市宮下②		5	0	1
砥部町大南		0	0	0
南予		0.3	0	0
伊方町中之浜		0	0	0
八幡浜市宮内①		0	0	0
八幡浜市宮内②		0	0	0
八幡浜市向灘		0	0	0
八幡浜市須川		0	0	0
八幡浜市舌間		0	0	0
八幡浜市川上		0	0	0
宇和島市高串		0	0	0
宇和島市白浦		0	0	0
宇和島市繁近①		4	0	0
宇和島市繁近②		0	0	0
宇和島市立間①		0	0	0
宇和島市立間②		0	0	0
愛南町平山		0	0	0
平均		0.5	1.3	0.1

3) 広域調査（かんきつかいよう病）

（1）かんきつかいよう病

かんきつかいよう病越冬病斑調査結果（R4年2月調査）

地域	地区(旧市町村)	調査ほ場数	発生ほ場数	発生ほ場率(%)	平均発病度
東予	今治市	45	18	0.4	1.7
	平均・小計	45	18	0.4	1.7
中予	松山市	81	41	50.6	1.9
	伊予市	7	5	71	1.6
	砥部町	6	4	67	8.1
	平均・小計	94	50	53.2	2.3
南予	八幡浜市	14	9	64.3	4.0
	宇和島市	8	1	12.5	0.2
	平均・小計	22	10	45.5	2.6
	県合計	161	78	48.4	2.2

注1) 調査品種は伊予柑、調査部位は夏秋梢

注2) 調査基準

調査樹数：10樹/1ほ場当たり

調査基準

A：約半数以上の葉が発病し、1葉あたりの病斑数が4個以上認められる樹

B：病斑が樹全体に分布し、10%～50%未満の葉が発病し、1葉あたり病斑数が1～3個

C：病斑が部分的にかたまって発生しているが、発病葉率が約10%程度

D：発病葉が散見される程度

E：発病無し

$$\text{発病度} = ((A*7 + B*5 + C*3 + D*1) / (\text{調査樹数}*7)) * 100$$

（2）ヤノネカイガラムシ初発日調査

○第1世代と第2世代の初発日：同一地区内のかんきつ園での調査（同一の場所名でも園地は同一とは限らない）。

場所	標高 (m)	第1世代					第2世代				
		本年	平年	平年比	前年	前年比	本年	平年	平年比	前年	前年比
松山市下伊台(果樹研)	200	5月4日	5月12日	8日早い	5月12日	8日早い	7月21日	7月25日	4日早い	7月23日	2日早い
松山市栗井①	60	-	-	-	5月9日	-	-	-	-	7月26日	-
松山市栗井②	150	-	-	-	-	-	-	-	-	7月26日	-
八幡浜市合田	100	5月3日	5月6日	3日早い	5月7日	4日早い	7月17日	7月21日	4日早い	7月20日	3日早い
八幡浜市川上	50	4月28日	5月4日	6日早い	5月9日	11日早い	-	-	-	-	-
八幡浜市真綱代	130	-	5月5日	-	5月6日	-	-	-	-	-	-
八幡浜市向灘	100	5月3日	5月7日	4日早い	5月7日	4日早い	-	-	-	-	-
宇和島市吉田(みかん研)	10	5月1日	-	-	5月7日	6日早い	7月16日	-	-	7月21日	5日早い

平年値はH25～R4の平均値

(3) 秋季広域調査

調査方法：令和4年10月に、各園地120果（6樹×20果）を見取りにより調査

調査圃場数

地区	温州 みかん	※中晩柑	調査園地 合計
東予	11	22	33
中予	4	27	31
南予	28	19	47
県全体	43	68	111

※中晩柑：伊予柑（22）、不知火（12）、せとか（8）、甘平（15）、ぽんかん（3）、その他（8）

かんきつ病害発生状況

地区	発生圃場率 (%)			発病度		
	黒点病	かいよう 病	※そうか 病	黒点病	かいよう 病	※そうか 病
東予	84.8	36.4	0	4.69	0.85	0
中予	80.6	25.8	50.0	3.51	0.37	0.04
南予	68.1	2.1	3.6	2.14	0.06	0.01
県全体	76.6	18.9	7.0	3.28	0.38	0.02

※そうか病は温州みかん園のみ調査

注) 発病度 = $((A \times 5 + B) / (A + B + C)) \times 100$

調査基準

【そうか病】 A：病斑が果面の1/4を越えるもの。B：病斑が果面の1/4以下に分布するもの。C：病斑がないもの。

【かいよう病】 A：病斑数が1果当たり4個以上のもの。B：病斑数が1果当たり1～3個のもの。C：病斑がないもの

【黒点病】 A：病斑が一見して確認されるもの。B：病斑が散見されるもの。C：病斑がないもの。

かんきつ害虫発生状況

地区	発生圃場率 (%)								
	チャノキロアザ ミヤ被害果	ヤノカイコラム シ	フジコナカイカ ラムシ	ナシマルカイカラ ムシ	アカマツカイカラ ムシ	ミカンサビタニ 被害果	※ルビーロウム シ	※ツノロウムシ	※イセリヤカイ ガラムシ
東予	0	6.1	3.0	15.2	0	6.1	0	0	6.1
中予	0	3.2	0	12.9	6.5	0	0	3.2	6.5
南予	25.5	2.1	0	2.1	0	0	2.1	0	0
県全体	10.81	3.603	0.9	9.009	1.8018	1.8018	0.9009	0.9009	3.603

※ルビーロウムシ、ツノロウムシ、イセリヤカイガラムシは果実調査時に近隣の枝葉に寄生が確認できた場合も計数した。

5 かき

調査地点概要は下記のとおり

調査地点		品種	備考
東 予	西条市小松町大郷	愛宕	
	西条市丹原町長野	太天	
	西条市丹原町高松①	愛宕	
	西条市丹原町高松②	横野	
南 予	西条市丹原町高松③	松本早生富有	
	宇和島市柿原	次郎	
	宇和島市高串	次郎	
	内子町五十崎	富有	
内子町五百木		富有	

1) 病害調査 (100葉・果実・新梢調査)

調査地点	調査時期					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月
東予	0	0.6	4	4	6.4	13.2
小松町大郷	0	0	6	7	31	34
丹原町長野	0	0	0	0	0	0
丹原町高松①	0	1	1	3	1	19
丹原町高松②	0	0	0	0	0	0
丹原町高松③	0	2	13	12	0	13
南予	0.8	0.3	2	4	8	8
宇和島市柿原	3	1	6	15	29	30
宇和島市高串	0	0	0	1	0	2
内子町五十崎	0	0	0	0	2	0
内子町五百木	0	0	0	0	0	0
平均	0.3	0.4	2.9	4.2	7.0	10.9

調査地点	調査時期					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月
東予	0	0.1	0.4	0.5	1.1	1.8
小松町大郷	0	0	0.6	0.7	5.5	4.8
丹原町長野	0	0	0	0	0	0
丹原町高松①	0	0.1	0.1	0.3	0.1	2.9
丹原町高松②	0	0	0	0	0	0
丹原町高松③	0	0.2	1.5	1.6	0	1.5
南予	0.1	0.03	0.2	0.5	1.3	0.8
宇和島市柿原	0.3	0.1	0.6	2	5	3
宇和島市高串	0	0	0	0.1	0	0.2
内子町五十崎	0	0	0	0	0.2	0
内子町五百木	0	0	0	0	0	0
平均	0.03	0.04	0.3	0.5	1.2	1.4

調査地点	調査時期		
	5月	6月	7月
東予	0	0	0.2
小松町大郷	0	0	0
丹原町長野	0	0	0
丹原町高松①	0	0	0
丹原町高松②	0	0	1
丹原町高松③	0	0	0
南予	0	0	0
宇和島市柿原	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0
内子町五十崎	0	0	0
内子町五百木	0	0	0
平均	0	0	0.1

炭疽病 発病果率 (%)	調査時期					
調査地点	5月	6月	7月	8月	9月	10月
東予	0	0	0	0	0	1
小松町大郷	0	0	0	0	0	1
丹原町長野	0	0	0	0	-	0
丹原町高松①	0	0	0	0	-	0
丹原町高松②	0	0	0	0	-	0
丹原町高松③	0	0	0	0	-	4
南予	0	0	0	0	0	0
宇和島市柿原	0	0	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0	0
内子町五十崎	0	0	0	0	0	0
内子町五百木	0	0	0	0	0	1
平均	0	0	0	0	0	0.7

円星落葉病発病葉率 (%)	調査時期	
調査地点	9月	10月
東予	0	0
小松町大郷	0	0
丹原町長野	0	0
丹原町高松①	0	0
丹原町高松②	0	0
丹原町高松③	0	0
南予	0	0
宇和島市柿原	0	0
宇和島市高串	0	0
内子町五十崎	0	0
内子町五百木	0	0
平均	0	0

角斑落葉病発病葉率 (%)	調査時期			
調査地点	7月	8月	9月	10月
東予	0	0	0	2.8
小松町大郷	0	0	0	13
丹原町長野	0	0	0	0
丹原町高松①	0	0	0	1
丹原町高松②	0	0	0	0
丹原町高松③	0	0	0	0
南予	0	0	0	1.5
宇和島市柿原	0	0	0	3
宇和島市高串	0	0	0	0
内子町五十崎	0	0	0	0
内子町五百木	0	0	0	3
平均	0	0	0	2.2

2) 害虫調査

カキノヘタムシガ被害率(%)		調査時期			
調査地点		7月	8月	9月	10月
東予		0	0	0	0
小松町大郷		0	0	0	0
丹原町長野		0	0	0	0
丹原町高松①		0	0	0	0
丹原町高松②		0	0	0	0
丹原町高松③		0	0	0	0
南予		0	0	0.3	0
宇和島市柿原		0	0	0	0
宇和島市高串		0	0	1	0
内子町五十崎		0	0	0	0
内子町五百木		0	0	0	0
平均		0	0	0	0

フジコナカイガラムシ寄生率(%)		調査時期			
調査地点		4月			
東予		0			
小松町大郷		0			
丹原町長野		0			
丹原町高松①		0			
丹原町高松②		0			
丹原町高松③		0			
南予		0			
宇和島市柿原		0			
宇和島市高串		0			
内子町五十崎		0			
内子町五百木		0			
平均		0			

フジコナカイガラムシ寄生率(%)		調査時期					
調査地点		5月	6月	7月	8月	9月	10月
東予		0	0	0.6	1.6	2.2	3.2
小松町大郷		0	0	2	2	0	1
丹原町長野		0	0	0	0	5	0
丹原町高松①		0	0	0	5	5	15
丹原町高松②		0	0	0	0	0	0
丹原町高松③		0	0	1	1	1	0
南予		0	0	0	0	0	0
宇和島市柿原		0	0	0	0	0	0
宇和島市高串		0	0	0	0	0	0
内子町五十崎		0	0	0	0	0	0
内子町五百木		0	0	0	0	0	0
平均		0	0	0.3	0.9	1.2	1.8

カキクダアザミウマ被害率(%)		調査時期	
調査地点		6月	10月
東予		0	0
小松町大郷		0	0
丹原町長野		0	0
丹原町高松①		0	0
丹原町高松②		0	0
丹原町高松③		0	0
南予		0	0
宇和島市柿原		0	0
宇和島市高串		0	0
内子町五十崎		0	0
内子町五百木		0	0
平均		0	0

調査地点	調査時期				
	6月	7月	8月	9月	10月
東予	0	0	0	0	0
小松町大郷	0	0	0	0	0
丹原町長野	0	0	0	0	0
丹原町高松①	0	0	0	0	0
丹原町高松②	0	0	0	0	0
丹原町高松③	0	0	0	0	0
南予	0	0	0	0	0
宇和島市柿原	0	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0
内子町五十崎	0	0	0	0	0
内子町五百木	0	0	0	0	0
平均	0	0	0	0	0

調査地点	調査時期				
	6月	7月	8月	9月	10月
東予	0	0	0	0	0
小松町大郷	0	0	0	0	0
丹原町長野	0	0	0	0	0
丹原町高松①	0	0	0	0	0
丹原町高松②	0	0	0	0	0
丹原町高松③	0	0	0	0	0
南予	0	0	0	0	0
宇和島市柿原	0	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0
内子町五十崎	0	0	0	0	0
内子町五百木	0	0	0	0	0
平均	0	0	0	0	0

調査地点	調査時期				
	6月	7月	8月	9月	10月
東予	0	0	0	0	0
小松町大郷	0	0	0	0	0
丹原町長野	0	0	0	0	0
丹原町高松①	0	0	0	0	0
丹原町高松②	0	0	0	0	0
丹原町高松③	0	0	0	0	0
南予	0	0	0	0	0
宇和島市柿原	0	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	0
内子町五十崎	0	0	0	0	0
内子町五百木	0	0	0	0	0
平均	0	0	0	0	0

6 キウイフルーツ

1) かいよう病調査重点調査

樹液漏出数

(5樹全枝及び主幹部調査)

	1月	2月	3月	4月	5月
西条市丹原町石経	0	0	0	1	0
伊予市上唐川①	0	0	1	0	0
砥部町北川毛	0	0	3	4	0

新梢萎凋枯死数

(5樹全新梢調査)

	4月	5月	6月
西条市丹原町石経	0	0	0
伊予市上唐川①	0	0	0
砥部町北川毛	0	0	0

発病葉率 (%)

(60葉×5樹 300葉調査)

	4月	5月	6月
西条市丹原町石経	0	1.3	0.7
伊予市上唐川①	0	78.7	45.7
砥部町北川毛	0	6	35

葉発病度

(60葉×5樹 300葉調査)

	4月	5月	6月
西条市丹原町石経	0	0.3	0.2
伊予市上唐川①	0	49.3	23.5
砥部町北川毛	0	2.3	14.8

※発病度： ((4A+3B+2C+D) / (4 × 調査葉数)) × 100

A: 1葉あたりの病斑数が31個以上、または葉の50%以上の面積に病斑がある。

B: 病斑数が11～30個、または葉の25～50%未満の面積に病斑がある。

C: 病斑数が4～10個、または葉の25%未満の面積に病斑がある。

D: 病斑数が1～3個

E: 病斑なし

2) かいよう病 巡回調査

発病葉率 (%)

(250葉調査)

	4月	5月	6月
西条市丹原町来見	0	0	0.8
西条市丹原町関屋	0	0	0.8
西条市丹原町北田野	0	0	1.6
西条市丹原町上市	0	0	2
西条市小松町石根	0	0	2
伊予市下唐川	0	0.8	4.4
伊予市上唐川②	0	9.2	4.4
伊予市上唐川③	0	7.6	10
砥部町五本松	0	10.4	35.6
長浜1	0	71.6	50
長浜2	0	32.8	34.8
長浜3	0	86	56.4
長浜4 (旧定点)	0	96.8	40.4
長浜5	0.4	96	48.4
長浜6	0.4	88	63.6

7 野菜

1) 病害虫調査

(1) 夏秋トマト

100株・1株1葉の中位100葉・100果実調査。「-」は未調査。

灰色かび病発病度 地点	調査時期				アブラムシ類寄生株率 (%) 地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月		6月	7月	8月	9月
久万高原町直瀬①	-	0.75	-	-	久万高原町直瀬①	-	0	-	-
久万高原町直瀬②	-	4	-	-	久万高原町直瀬②	-	0	-	-
久万高原町直瀬③	-	0	-	-	久万高原町直瀬③	-	0	-	-
久万高原町父二峰①	0	-	-	-	久万高原町父二峰①	0	-	-	-
久万高原町父二峰②	0	-	-	-	久万高原町父二峰②	0	-	-	-
久万高原町父二峰③	0	-	-	-	久万高原町父二峰③	0	-	-	-
久万高原町父二峰④	0	-	-	-	久万高原町父二峰④	0	-	-	-
久万高原町明神①	0	-	0	0	久万高原町明神①	0	-	0	0
久万高原町明神②	0	-	0	0	久万高原町明神②	0	-	0	0
久万高原町明神③	0	-	0	0	久万高原町明神③	0	-	0	0
久万高原町明神④	0	-	0	0	久万高原町明神④	0	-	0	0
久万高原町面河	-	0	-	-	久万高原町面河	-	0	-	-
久万高原町露峰	0.5	0.5	0	0	久万高原町露峰	0	0	0	0
平均	0.1	1.1	0	0	平均	0	0	0	0

灰色かび病発病果率 (%) 地点	調査時期				タバコナジラミ成虫寄生株率 (%) 地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月		6月	7月	8月	9月
久万高原町直瀬①	-	3	-	-	久万高原町直瀬①	-	0	-	-
久万高原町直瀬②	-	16	-	-	久万高原町直瀬②	-	0	-	-
久万高原町直瀬③	-	0	-	-	久万高原町直瀬③	-	0	-	-
久万高原町父二峰①	0	-	-	-	久万高原町父二峰①	0	-	-	-
久万高原町父二峰②	0	-	-	-	久万高原町父二峰②	0	-	-	-
久万高原町父二峰③	0	-	-	-	久万高原町父二峰③	0	-	-	-
久万高原町父二峰④	0	-	-	-	久万高原町父二峰④	0	-	-	-
久万高原町明神①	0	-	0	0	久万高原町明神①	0	-	0	0
久万高原町明神②	0	-	0	0	久万高原町明神②	0	-	0	20
久万高原町明神③	0	-	0	0	久万高原町明神③	0	-	0	4
久万高原町明神④	0	-	0	0	久万高原町明神④	0	-	0	0
久万高原町面河	-	0	-	-	久万高原町面河	-	0	-	-
久万高原町露峰	2	2	0	0	久万高原町露峰	0	0	0	0
平均	0.2	4.2	0	0	平均	0	0	0	4.8

灰色かび病コーストスボット発生果率 (%) 地点	調査時期				オシソコナジラミ成虫寄生株率 (%) 地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月		6月	7月	8月	9月
久万高原町直瀬①	-	1	-	-	久万高原町直瀬①	-	0	-	-
久万高原町直瀬②	-	14	-	-	久万高原町直瀬②	-	2	-	-
久万高原町直瀬③	-	0	-	-	久万高原町直瀬③	-	0	-	-
久万高原町父二峰①	0	-	-	-	久万高原町父二峰①	0	-	-	-
久万高原町父二峰②	0	-	-	-	久万高原町父二峰②	0	-	-	-
久万高原町父二峰③	1	-	-	-	久万高原町父二峰③	0	-	-	-
久万高原町父二峰④	0	-	-	-	久万高原町父二峰④	0	-	-	-
久万高原町明神①	0	-	0	12	久万高原町明神①	0	-	0	2
久万高原町明神②	0	-	0	4	久万高原町明神②	0	-	0	0
久万高原町明神③	0	-	8	4	久万高原町明神③	0	-	0	0
久万高原町明神④	0	-	0	16	久万高原町明神④	0	-	0	0
久万高原町面河	-	0	-	-	久万高原町面河	-	2	-	-
久万高原町露峰	1	0	35	20	久万高原町露峰	0	0	0	0
平均	0.2	3	8.6	11.2	平均	0	0.8	0	0.4

疫病発病葉率(%) 地点	調査時期				タバコ類被害率(%) 地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月		6月	7月	8月	9月
久万高原町直瀬①	-	0	-	-	久万高原町直瀬①	-	0	-	-
久万高原町直瀬②	-	0	-	-	久万高原町直瀬②	-	0	-	-
久万高原町直瀬③	-	0	-	-	久万高原町直瀬③	-	0	-	-
久万高原町父二峰①	0	-	-	-	久万高原町父二峰①	0	-	-	-
久万高原町父二峰②	0	-	-	-	久万高原町父二峰②	0	-	-	-
久万高原町父二峰③	0	-	-	-	久万高原町父二峰③	0	-	-	-
久万高原町父二峰④	0	-	-	-	久万高原町父二峰④	0	-	-	-
久万高原町明神①	0	-	0	0	久万高原町明神①	0	-	0	0
久万高原町明神②	0	-	0	0	久万高原町明神②	0	-	0	0
久万高原町明神③	0	-	0	0	久万高原町明神③	0	-	0	0
久万高原町明神④	0	-	0	0	久万高原町明神④	0	-	0	0
久万高原町面河	-	0	-	-	久万高原町面河	-	0	-	-
久万高原町露峰	0	0	0	0	久万高原町露峰	0	0	0	0
平均	0	0	0	0	平均	0	0	0	0

葉かび病発病株率(%) 地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
久万高原町直瀬①	-	0	-	-
久万高原町直瀬②	-	0	-	-
久万高原町直瀬③	-	0	-	-
久万高原町父二峰①	0	-	-	-
久万高原町父二峰②	0	-	-	-
久万高原町父二峰③	0	-	-	-
久万高原町父二峰④	0	-	-	-
久万高原町明神①	0	-	8	0
久万高原町明神②	0	-	0	0
久万高原町明神③	0	-	0	0
久万高原町明神④	0	-	0	0
久万高原町面河	-	0	-	-
久万高原町露峰	0	0	0	0
平均	0	0	1.6	0

(2) 冬春トマト

100株・1株1葉の中位100葉・100果実調査。「-」は未調査。

灰色かび病発病度	調査時期								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市大町	0	0	0	0	0	0	0.5	1.3	
松山市小坂	0	0	0	0	0	0	0.3	0	
松山市庄	0	0	0	0	0	0	0	0	
松前町神崎	-	-	-	0	0	1.5	1	0	
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0	0	
大洲市東大洲②	-	-	-	-	-	0	0	0	
愛南町一本松	0	0	0	0	0.5	0.5	0	0	
平均	0	0	0	0	0.1	0.3	0.3	0.2	

灰色かび病発病果率(%)	調査時期								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市大町	0	0	0	0	0	0	2	5	
松山市小坂	0	0	0	0	0	0	1	0	
松山市庄	0	0	0	0	0	0	0	0	
松前町神崎	-	-	-	0	0	6	4	0	
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0	0	
大洲市東大洲②	-	-	-	-	-	0	0	0	
愛南町一本松	0	0	0	0	1	1	0	0	
平均	0	0	0	0	0.2	1	1	0.7	

灰色かび病ゴーストストップ発生果率(%)	調査時期								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市大町	0	0	0	0	0	0	0	0	
松山市小坂	0	0	0	0	0	4	13	17	
松山市庄	0	0	0	0	0	0	0	0	
松前町神崎	-	-	-	0	0	0	0	0	
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0	0	
大洲市東大洲②	-	-	-	-	-	0	0	0	
愛南町一本松	0	0	0	0	0	0	0	0	
平均	0	0	0	0	0	0.6	1.9	2.4	

疫病発病葉率(%)	調査時期								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市大町	0	0	0	0	0	0	0	0	
松山市小坂	0	0	0	0	0	0	0	0	
松山市庄	0	0	0	0	0	0	0	0	
松前町神崎	-	-	-	0	0	0	0	0	
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0	0	
大洲市東大洲②	-	-	-	-	-	0	0	0	
愛南町一本松	0	0	0	0	0	0	0	0	
平均	0	0	0	0	0	0	0	0	

葉かび病発病株率(%)	調査時期								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市大町	0	0	0	0	0	0	0	0	14
松山市小坂	0	0	0	0	2	0	0	0	
松山市庄	0	0	0	0	0	0	0	0	
松前町神崎	-	-	-	0	0	0	0	0	
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0	0	
大洲市東大洲②	-	-	-	-	-	0	0	0	
愛南町一本松	0	0	0	0	0	0	0	0	
平均	0	0	0	0	0.3	0	0	0	2

(2) 冬春トマト (つづき)

ア布拉ムシ類寄生株率(%)	調査時期								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市大町	0	0	0	0	0	0	1	0	
松山市小坂	0	0	0	0	0	0	0	0	
松山市庄	0	0	0	0	0	0	0	0	
松前町神崎	-	-	-	0	0	0	0	0	
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0	0	
大洲市東大洲②	-	-	-	-	-	0	0	0	
愛南町一本松	0	0	0	0	0	0	0	0	
平均	0	0	0	0	0	0	0.1	0	

タバコナジラミ成虫寄生株率(%)	調査時期								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市大町	17	4	1	0	0	0	0	0	
松山市小坂	0	0	0	0	0	0	0	0	
松山市庄	0	1	0	0	0	0	0	0	
松前町神崎	-	-	-	0	0	3	0	4	
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0	0	
大洲市東大洲②	-	-	-	-	-	0	0	0	
愛南町一本松	0	0	0	0	0	0	0	0	
平均	4.3	1.3	0.3	0	0	0.4	0	0.6	

オニシコナジラミ成虫寄生株率(%)	調査時期								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市大町	0	0	0	0	0	0	0	0	
松山市小坂	0	0	0	0	0	0	0	0	
松山市庄	0	0	0	0	0	0	0	0	
松前町神崎	-	-	-	0	0	0	0	0	
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0	0	
大洲市東大洲②	-	-	-	-	-	0	0	0	
愛南町一本松	0	0	0	0	0	0	0	0	
平均	0	0	0	0	0	0	0	0	

タバコ類被害果率(%)	調査時期								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
西条市大町	0	0	0	0	0	0	0	0	
松山市小坂	0	0	0	0	0	0	0	0	
松山市庄	0	0	0	0	0	0	0	0	
松前町神崎	-	-	-	0	0	0	0	0	
大洲市東大洲①	-	-	-	-	0	0	0	0	
大洲市東大洲②	-	-	-	-	-	0	0	0	
愛南町一本松	0	0	0	0	0	0	0	0	
平均	0	0	0	0	0	0	0	0	

(3) 夏秋なす

100株・1株1葉の中位100葉・100果実調査。

「-」は未調査。

うどんこ病発病度 調査地点	調査時期				ミキシロアザミヤ寄生虫数/葉	調査時期			
	6月	7月	8月	9月		6月	7月	8月	9月
西条市神戸	0	0	0	0.3	西条市神戸	0	0	0	0
松山市拓南	0	-	-	-	松山市拓南	0	-	-	-
松山市久米	0	-	-	-	松山市久米	0	-	-	-
松山市小野①	0	-	-	-	松山市小野①	0	-	-	-
松山市小野②	0	-	-	-	松山市小野②	0	-	-	-
松山市久枝①	0	0	2	0.3	松山市久枝①	0	0	0	0
松山市久枝②	0	0	1	0	松山市久枝②	0	0	0.01	0
松前町北伊予①	0	0	4.5	0	松前町北伊予①	0	0	0	0
松前町北伊予②	0	0	0	3	松前町北伊予②	0	0	0	0
伊予市上野	0.8	3	0.3	0.8	伊予市上野	0.03	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	1	宇和島市高串	0	0	0	0
平均	0.1	0.4	1.1	0.8	平均	0.00	0	0	0

灰色かび病発病果率(%) 調査地点	調査時期				ハダニ類寄生葉率(%) 調査地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月		6月	7月	8月	9月
西条市神戸	0	0	0	0	西条市神戸	0	8	16	0
松山市拓南	0	-	-	-	松山市拓南	0	-	-	-
松山市久米	0	-	-	-	松山市久米	0	-	-	-
松山市小野①	0	-	-	-	松山市小野①	0	-	-	-
松山市小野②	2	-	-	-	松山市小野②	0	-	-	-
松山市久枝①	3	0	0	0	松山市久枝①	0	2	9	0
松山市久枝②	3	0	0	0	松山市久枝②	0	0	34	0
松前町北伊予①	0	0	0	0	松前町北伊予①	0	28	0	0
松前町北伊予②	0	0	0	0	松前町北伊予②	0	0	100	0
伊予市上野	0	0	0	0	伊予市上野	0	26	1	0
宇和島市高串	0	0	0	0	宇和島市高串	0	0	0	0
平均	0.7	0	0	0	平均	0	9.1	22.9	0

アラムシ類寄生虫数/葉 調査地点	調査時期				ハスモントウ食害面積率/葉 調査地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月		6月	7月	8月	9月
西条市神戸	0	0	0	0.01	西条市神戸	0	0	0	0
松山市拓南	0	-	-	-	松山市拓南	0	-	-	-
松山市久米	0	-	-	-	松山市久米	0	-	-	-
松山市小野①	0	-	-	-	松山市小野①	0	-	-	-
松山市小野②	0	-	-	-	松山市小野②	0	-	-	-
松山市久枝①	0	0	0	0.1	松山市久枝①	0	0	0	0
松山市久枝②	0.1	0	0	0.1	松山市久枝②	0	0	0	0
松前町北伊予①	0	0	0	0.2	松前町北伊予①	0	0	0	0
松前町北伊予②	0.01	0	0	0.04	松前町北伊予②	0	0	0	0
伊予市上野	0	0	0	0	伊予市上野	0	0	0	0
宇和島市高串	0	0	0	0	宇和島市高串	0	0	0	0
平均	0.01	0	0	0.1	平均	0	0	0	0

(4) 夏秋きゅうり

100株・1株1葉の中位100葉・100果実調査。

「-」は未調査。

調査地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
西条市丹原①	0	5	16	6
西条市丹原②	0	0	-	-
西条市実報寺	0	0	0	-
西予市野村町野村	0	-	-	-
西予市野村町中筋①	-	0	0	-
西予市野村町中筋②	-	0	0	-
西予市野村町中筋③	-	-	-	0
平均	0	1	4	3

調査地点	アブラムシ類寄生虫数/葉			
	6月	7月	8月	9月
西条市丹原①	0.6	0	0.6	0
西条市丹原②	0	0	-	-
西条市実報寺	0	0	8.4	-
西予市野村町野村	0	-	-	-
西予市野村町中筋①	-	0	0	-
西予市野村町中筋②	-	0	0	-
西予市野村町中筋③	-	-	-	0
平均	0.2	0	2.2	0

調査地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
西条市丹原①	0	0	46	84
西条市丹原②	6	0	-	-
西条市実報寺	2	0	24	-
西予市野村町野村	0	-	-	-
西予市野村町中筋①	-	0	38	-
西予市野村町中筋②	-	0	32	-
西予市野村町中筋③	-	-	-	16
平均	2	0	35	50

調査地点	ミキシロアザミヤ寄生虫数/葉			
	6月	7月	8月	9月
西条市丹原①	0.2	0	0	0
西条市丹原②	0	0	-	-
西条市実報寺	0	0	0	-
西予市野村町野村	0	-	-	-
西予市野村町中筋①	-	0	0	-
西予市野村町中筋②	-	0	0	-
西予市野村町中筋③	-	-	-	0
平均	0.1	0	0	0

調査地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
西条市丹原①	0	0	2	0
西条市丹原②	0	79	-	-
西条市実報寺	0	45	0	-
西予市野村町野村	0	-	-	-
西予市野村町中筋①	-	0	0	-
西予市野村町中筋②	-	0	0	-
西予市野村町中筋③	-	-	-	0
平均	0	24.8	0.5	0

調査地点	オジソコナジラミ成虫寄生葉率(%)			
	6月	7月	8月	9月
西条市丹原①	0	0	2	0
西条市丹原②	0	0	-	-
西条市実報寺	0	0	0	-
西予市野村町野村	0	-	-	-
西予市野村町中筋①	-	0	0	-
西予市野村町中筋②	-	0	0	-
西予市野村町中筋③	-	-	-	0
平均	0	0	0.5	0

調査地点	調査時期			
	6月	7月	8月	9月
西条市丹原①	0	0	0	0
西条市丹原②	0	0	-	-
西条市実報寺	0	0	0	-
西予市野村町野村	0	-	-	-
西予市野村町中筋①	-	0	0	-
西予市野村町中筋②	-	0	0	-
西予市野村町中筋③	-	-	-	0
平均	0	0	0	0

調査地点	タバコナジラミ成虫寄生葉率(%)			
	6月	7月	8月	9月
西条市丹原①	1	0	0	20
西条市丹原②	6	0	-	-
西条市実報寺	0	0	0	-
西予市野村町野村	0	-	-	-
西予市野村町中筋①	-	0	0	-
西予市野村町中筋②	-	0	0	-
西予市野村町中筋③	-	-	-	0
平均	1.8	0	0	10

調査地点	ベト病発病葉率(%)			
	6月	7月	8月	9月
西条市丹原①	1	41	22	2
西条市丹原②	0	0	-	-
西条市実報寺	0	59	3	-
西予市野村町野村	0	-	-	-
西予市野村町中筋①	-	0	1	-
西予市野村町中筋②	-	0	58	-
西予市野村町中筋③	-	-	-	42
平均	0.3	20	21	22

調査地点	ハスモヨウ寄生株率(%)			
	6月	7月	8月	9月
西条市丹原①	0	0	0	0
西条市丹原②	0	0	-	-
西条市実報寺	0	0	0	-
西予市野村町野村	0	-	-	-
西予市野村町中筋①	-	0	0	-
西予市野村町中筋②	-	0	0	-
西予市野村町中筋③	-	-	-	0
平均	0	0	0	0

(5) 冬春きゅうり (東予)

100株・1株1葉の中位100葉・100果実調査。「-」は未調査。

調査地点	調査時期						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
西条市小松	0	0	0	0	0	3	8
西条市丹原	0	0	0	0	0	1	87
西条市北田野	3	0	8	0	0	0	3
平均	1	0	2.7	0	0	1.3	32.7

調査地点	調査時期						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
西条市小松	0	0	0	0	0	0	0
西条市丹原	0	0	0	0	0	0	0
西条市北田野	0	0	0	0	0	0	0
平均	0	0	0	0	0	0	0

調査地点	調査時期						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
西条市小松	0	0	0	0	0	1	0
西条市丹原	0	0	0	0	0	0	0
西条市北田野	0	0	0	0	0	0	0
平均	0	0	0	0	0	0.3	0

調査地点	調査時期						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
西条市小松	0	1	0	0	0	3	60
西条市丹原	0	0	0	4	1	1	7
西条市北田野	0	1	2	2	12	57	46
平均	0	0.7	0.7	2.0	4.3	20.3	37.7

調査地点	調査時期						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
西条市小松	0	0	0	0	0	0	0
西条市丹原	0	0	0	0	0	0	0.01
西条市北田野	0	0	0	0	0	0.01	0.1
平均	0	0	0	0	0	0.00	0.02

調査地点	調査時期						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
西条市小松	0	0	0	0	0	0	1.4
西条市丹原	0	0	0	0	0	0.2	0
西条市北田野	0	0	0	0.1	0.3	1.2	1.9
平均	0	0	0	0.03	0.1	0.47	1.1

調査地点	調査時期						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
西条市小松	0	0	0	0	0	0	0
西条市丹原	0	0	0	0	0	0	0
西条市北田野	0	0	0	0	0	0	0
平均	0	0	0	0	0	0	0

タバコナガラミ成虫寄生葉率(%)	調査時期						
調査地点	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
西条市小松	2	0	0	0	0	0	0
西条市丹原	1	0	0	0	0	0	0
西条市北田野	1	0	0	0	0	0	0
平均	1.3	0	0	0	0	0	0

ハスモントウ寄生株率(%)	調査時期						
調査地点	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
西条市小松	0	0	0	0	0	0	0
西条市丹原	0	0	0	0	0	0	0
西条市北田野	0	1	0	0	0	0	0
平均	0	0.3	0	0	0	0	0

(5) 冬春きゅうり (南予)

うどんこ病発病葉率(%)	調査時期						
調査地点	9月	10月	11月	3月	4月	5月	6月
大洲市東大洲①	0	0	21	0	0	0	-
大洲市東大洲②	0	1	17	0	0	0	25
西予市野村町阿下	0	6	-	0	0	0	0
西予市野村町中筋①	0	0	0	0	0	0	0
西予市野村町中筋②	0	4	5	0	0	0	0
平均	0	2.2	10.8	0	0	0	6.3

褐斑病発病葉率(%)	調査時期						
調査地点	9月	10月	11月	3月	4月	5月	6月
大洲市東大洲①	0	1	0	0	0	0	-
大洲市東大洲②	0	4	0	0	0	0	0
西予市野村町阿下	0	35	-	0	0	0	1
西予市野村町中筋①	0	30	54	0	0	0	0
西予市野村町中筋②	0	2	0	0	0	0	2
平均	0	14.4	13.5	0	0	0	0.8

灰色かび病発病葉率(%)	調査時期						
調査地点	9月	10月	11月	3月	4月	5月	6月
大洲市東大洲①	0	0	0	0	0	0	-
大洲市東大洲②	0	0	0	0	0	0	0
西予市野村町阿下	0	0	-	0	0	0	0
西予市野村町中筋①	0	0	0	0	0	0	0
西予市野村町中筋②	0	0	0	0	0	0	0
平均	0	0	0	0	0	0	0

べと病発病葉率(%)	調査時期						
調査地点	9月	10月	11月	3月	4月	5月	6月
大洲市東大洲①	0	0	1	0	8	42	-
大洲市東大洲②	0	0	1	0	0	0	0
西予市野村町阿下	0	0	-	0	0	0	42
西予市野村町中筋①	0	0	0	0	0	0	0
西予市野村町中筋②	0	0	2	0	0	0	0
平均	0	0	1	0	1.6	8.4	10.5

(5) 冬春きゅうり (南予) つづき

アブラムシ類寄生虫数/葉	調査時期						
	9月	10月	11月	3月	4月	5月	6月
大洲市東大洲①	0	0	0	0	0	0	-
大洲市東大洲②	0	0	0	0	0	0	0
西予市野村町阿下	0	0	-	0	0	0	0
西予市野村町中筋①	0	0	0	0	0	0	0
西予市野村町中筋②	0	0	0	0	0	0	0
平均	0	0	0	0	0	0	0

ナキロアザミヤ寄生虫数/葉	調査時期						
	9月	10月	11月	3月	4月	5月	6月
大洲市東大洲①	0	0	0.1	0	0	0	-
大洲市東大洲②	0	0	0	0	0	0	0
西予市野村町阿下	0	0	-	0	0	0	0
西予市野村町中筋①	0	0.1	0.2	0	0	0	0
西予市野村町中筋②	0	0.8	0	0	0	0	0
平均	0	0.2	0.1	0	0	0	0

オシロイバミ成虫寄生葉率(%)	調査時期						
	9月	10月	11月	3月	4月	5月	6月
大洲市東大洲①	0	0	0	0	0	0	-
大洲市東大洲②	0	0	0	0	0	0	0
西予市野村町阿下	0	0	-	0	0	0	0
西予市野村町中筋①	3	0	4	0	0	0	0
西予市野村町中筋②	1	0	1	0	0	0	0
平均	0.8	0	1.3	0	0	0	0

タバコナガバミ成虫寄生葉率(%)	調査時期						
	9月	10月	11月	3月	4月	5月	6月
大洲市東大洲①	16	38	72	0	0	0	-
大洲市東大洲②	27	72	85	0	0	0	0
西予市野村町阿下	0	0	-	0	0	0	0
西予市野村町中筋①	0	2	0	0	0	0	0
西予市野村町中筋②	0	0	0	0	0	0	0
平均	8.6	22.4	39.3	0	0	0	0

ハスモントウ寄生株率(%)	調査時期						
	9月	10月	11月	3月	4月	5月	6月
大洲市東大洲①	0	0	0	0	0	0	-
大洲市東大洲②	0	0	0	0	0	0	0
西予市野村町阿下	1	0	-	0	0	0	0
西予市野村町中筋①	0	0	0	0	0	0	0
西予市野村町中筋②	0	0	0	0	0	0	0
平均	0.2	0	0	0	0	0	0

(6) 秋さといも

1株1葉で病害は100株、虫害は20株調査。「-」は未調査。

疫病発病株率(%) 調査地点	調査時期					ハダニ類寄生頭数/株 調査地点	調査時期				
	5月	6月	7月	8月	9月		5月	6月	7月	8月	9月
土居町中村	-	0	1	1	28	土居町中村	-	6.1	11.3	0	4.3
土居町藤原	-	0	2	1	12.5	土居町藤原	-	2.6	0.8	0	0
土居町燕崎	-	0	1	1	94	土居町燕崎	-	0	15.2	2.7	0.8
西条市丹原町	-	0	0	0	13	西条市丹原町	-	0	4.2	0.1	0
今治市朝倉	-	0	0	0	3	今治市朝倉	-	1.9	210.4	1.1	0
西予市宇和町郷内	0	0	0	0	0	西予市宇和町郷内	0.1	0	4.8	0	0
平均	0	0	0.7	0.5	25.1	平均	0.1	1.8	41.1	0.6	0.9

ア布拉ムシ類寄生虫数/株 調査地点	調査時期					ハスモヨトウ食害面積率(%) 調査地点	調査時期				
	5月	6月	7月	8月	9月		5月	6月	7月	8月	9月
土居町中村	-	0.1	8.3	91.6	10.2	土居町中村	-	0	0	0	0
土居町藤原	-	0.2	0.5	0.3	0.4	土居町藤原	-	0	0	0.1	0.3
土居町燕崎	-	0	67.5	5.1	1.3	土居町燕崎	-	0	0	0	0
西条市丹原町	-	0.2	2.4	24.6	19.4	西条市丹原町	-	0	0.1	0.3	0.8
今治市朝倉	-	0	0	84.0	47.6	今治市朝倉	-	0	0.1	0.7	0.2
西予市宇和町郷内	0.3	0.5	0.8	7	60	西予市宇和町郷内	0	0	0.1	8.5	2.5
平均	0.3	0.1	13.2	35.4	23.2	平均	0	0	0.04	1.6	0.6

(7) たまねぎ

病害・虫害・虫数は50株調査。「-」は未調査。

調査地点	調査時期				
	1月	2月	3月	4月	5月
今治市菊間	0	0	0	0	0
松山市難波	0	0	0	0	0
松山市河野	0	0	0	0	0
宇和島市三間町元宗 (早)	0	0	0	-	-
宇和島市三間町元宗	-	-	-	0	-
西予市宇和町大江	0	0	0	0	-
西予市宇和町郷内 (早)	0	0	0	-	-
平均	0	0	0	0	0

※ (早) は早どり

調査地点	調査時期				
	1月	2月	3月	4月	5月
今治市菊間	0	0	14	4	50
松山市難波	0	0	0	0	27
松山市河野	0	0	0	0	4
宇和島市三間町元宗 (早)	0	0	0	-	-
宇和島市三間町元宗	-	-	-	100	-
西予市宇和町大江	0	0	0	0	-
西予市宇和町郷内 (早)	0	0	2	-	-
平均	0	0	2.7	20.8	27

調査地点	調査時期				
	1月	2月	3月	4月	5月
今治市菊間	0	0.1	0.04	0.3	0.8
松山市難波	0	0	0	3.2	4.9
松山市河野	0	0	3.8	0.8	4.7
宇和島市三間町元宗 (早)	4	0.4	25.4	-	-
宇和島市三間町元宗	-	-	-	1.2	-
西予市宇和町大江	0	0.2	0.2	21.3	-
西予市宇和町郷内 (早)	0	0	0	-	-
平均	0.7	0.1	4.9	5.4	3.5

(8) 冬春いちご
本圃

調査地点	調査品種	調査地点数								
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
新居浜市	あまおとめ	1	1	1	1	1	1	1	1	
西条市	あまおとめ	1	1	5	1	1	1	1	1	
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	-	-	9	
	紅い雪	1	1	3	1	1	1	1	1	
今治市	さちのか	1	1	1	1	1	1	1	1	
松山市	あまおとめ	-	-	2	2	2	-	-	-	
	紅ほっぺ	1	1	9	9	16	1	1	1	
	紅い雪	1	1	1	1	1	1	1	1	
東温市	紅ほっぺ	-	-	6	-	7	-	-	-	
大洲市	紅ほっぺ	17	1	1	1	1	11	1	-	
	紅い雪	1	-	-	-	-	-	-	-	
	あまおとめ	1	-	-	-	-	-	-	-	
内子町	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	6	-	-	
西予市	あまおとめ	-	1	2	6	3	7	7	7	
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	1	1	-	
	紅い雪	-	1	-	2	5	5	5	2	
宇和島市	あまおとめ	1	-	3	1	-	-	-	-	
	紅い雪	-	-	2	-	-	-	-	-	
	こいみのり	1	-	1	-	-	-	-	-	
	レッドパー	2	-	4	-	-	-	-	-	
鬼北町	あまおとめ	2	-	-	-	-	-	-	-	
	紅ほっぺ	2	-	-	-	-	-	-	-	
	紅い雪	2	-	-	-	-	-	-	-	
	こいみのり	1	-	-	-	-	-	-	-	
	レッドパー	1	-	-	-	1	1	1	-	
計		37	9	41	26	40	37	21	24	

100株・100葉・100果実調査。「-」は未調査。調査は2022～2023年

うどんこ病発病葉率(%) 調査時期															
調査地点	品種	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月						
新居浜市	あまおとめ	0	1	1	0	2	0	2	8						
西条市	あまおとめ	0	0	0	0	0	0	0	0						
	紅い雫	0	0	0	0	0	0	0	2						
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	-	-	0						
今治市	さちのか	1	3	1	2	1	0	4	11						
松山市	あまおとめ	-	-	0	0	0	-	-	-						
	紅い雫	0	0	0	0	0	0	0	0						
	紅ほっぺ	0	0	0	0	0	0	0	0						
東温市	紅ほっぺ	-	-	0	-	0	-	-	-						
大洲市	紅ほっぺ	0	0	0	0	0	0.4	0	-						
	紅い雫	0	-	-	-	-	-	-	-						
	あまおとめ	0	-	-	-	-	-	-	-						
内子町	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	0	-	-						
西予市	あまおとめ	-	0	0	0	0	1.4	2	3.4						
	紅い雫	-	0	-	0	0	0	0.4	0						
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	0	0	-						
宇和島市	あまおとめ	0	-	0	0	-	-	-	-						
	こいみのり	0	-	0	-	-	-	-	-						
	レッドパール	0	-	0	-	-	-	-	-						
	紅い雫	-	-	0.5	-	-	-	-	-						
鬼北町	あまおとめ	2	-	-	-	-	-	-	-						
	こいみのり	0	-	-	-	-	-	-	-						
	レッドパール	8	-	-	-	0	0	0	-						
	紅い雫	0	-	-	-	-	-	-	-						
	紅ほっぺ	0	-	-	-	-	-	-	-						
平均		0.4	0.4	0.1	0.1	0.1	0.4	1.0	1.9						

うどんこ病発病葉率(%) 調査時期															
調査地点	品種	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月						
新居浜市	あまおとめ	-	-	0	1	1	2	1	3						
西条市	あまおとめ	-	0	0	0	0	0	0	0						
	紅い雫	-	0	0	0	0	0	0	0						
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	-	-	0						
今治市	さちのか	-	0	1	1	0	2	14	0						
松山市	あまおとめ	-	-	0	0	0	0	-	-						
	紅い雫	-	0	0	0	0	0	0	0						
	紅ほっぺ	-	0	0	0	0	0	0	0						
東温市	紅ほっぺ	-	-	0	-	0	-	0	-						
大洲市	紅ほっぺ	-	0	0	0	0	0	0	0						
	紅い雫	-	-	-	-	-	-	-	-						
	あまおとめ	-	-	-	-	-	-	-	-						
内子町	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	-	0	-						
西予市	あまおとめ	-	0	0	0	0	1.4	2	3.4						
	紅い雫	-	0	-	0	0	0	0.4	0						
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	0	0	-						
宇和島市	あまおとめ	-	-	0	0	-	-	-	-						
	こいみのり	-	-	0	-	-	-	-	-						
	レッドパール	-	-	0	-	-	-	-	-						
	紅い雫	-	-	3.5	-	-	-	-	-						
鬼北町	あまおとめ	-	-	-	-	-	-	-	-						
	こいみのり	-	-	-	-	-	-	-	-						
	レッドパール	-	-	-	-	-	-	0	0	0					
	紅い雫	-	-	-	-	-	-	-	-						
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	-	-	-						
平均		-	0	0.2	0.1	0.03	0.2	0.7	0.1						

(10) 冬春いちご (つづき)

炭疽病発病株率(%)		調査時期									
調査地点	品種	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		
新居浜市	あまおとめ	4	1	0	0	0	0	0	0	0	
西条市	あまおとめ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	紅い雪	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
今治市	さちのか	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
松山市	あまおとめ	-	-	0	0	0	-	-	-	-	
	紅い雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	紅ほっぺ	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0	
東温市	紅ほっぺ	-	-	0	-	0	-	-	-	-	
大洲市	紅ほっぺ	0.4	0	0	0	0	0	0	0	-	
	紅い雪	0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	あまおとめ	0	-	-	-	-	-	-	-	-	
内子町	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	0	-	-	-	
西予市	あまおとめ	-	0	0	0	0	0	0	0	0	
	紅い雪	-	0	-	0	0	0	0	0	0	
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	0	0	-	-	
宇和島市	あまおとめ	0	-	0	0	-	-	-	-	-	
	こいみのり	0	-	0	-	-	-	-	-	-	
	レッドパール	0	-	0	-	-	-	-	-	-	
	紅い雪	-	-	0	-	-	-	-	-	-	
鬼北町	あまおとめ	0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	こいみのり	0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	レッドパール	1	-	-	-	0	0	0	-	-	
	紅い雪	0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	紅ほっぺ	0	-	-	-	-	-	-	-	-	
平均		0.4	0.1	0.02	0	0	0	0	0	0	

灰色かび病発病率(%)		調査時期									
調査地点	品種	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		
新居浜市	あまおとめ	-	-	1	0	0	1	8	0		
西条市	あまおとめ	-	0	0	0	3	1	0	1		
	紅い雪	-	0	0.3	32	6	0	1	7		
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	-	-	0.8		
今治市	さちのか	-	0	0	0	2	0	0	0		
松山市	あまおとめ	-	-	0	0	0	-	-	-		
	紅い雪	-	0	4	3	8	3	3	0		
	紅ほっぺ	-	0	0	0	0.8	0	2	14		
東温市	紅ほっぺ	-	-	0	-	0.3	-	-	-		
大洲市	紅ほっぺ	-	0	0	0	0	0	0	0		
	紅い雪	-	-	-	-	-	-	-	-		
	あまおとめ	-	-	-	-	-	-	-	-		
内子町	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	-	2.7	-	-	
西予市	あまおとめ	-	0	0	0	0	0	0	0		
	紅い雪	-	0	-	0	0.4	0	0	0.4		
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	0	0	-		
宇和島市	あまおとめ	-	-	0	0	-	-	-	-		
	こいみのり	-	-	0	-	-	-	-	-		
	レッドパール	-	-	0	-	-	-	-	-		
	紅い雪	-	-	0	-	-	-	-	-		
鬼北町	あまおとめ	-	-	-	-	-	-	-	-		
	こいみのり	-	-	-	-	-	-	-	-		
	レッドパール	-	-	-	-	0	0	0	-		
	紅い雪	-	-	-	-	-	-	-	-		
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	-	-	-		
平均		-	0	0.1	1.3	0.9	0.6	0.7	1.3		

(10) 冬春いちご (つづき)

アズキ類寄生花率(%) 調査時期		アブラムシ類寄生株率(%) 調査時期																
調査地点	品種	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
新居浜市	あまおとめ	-	6	1	0	1	0	1	2	0	7	10	0	0	0	0	0	
西条市	あまおとめ	0	1	1	0	0	9	15	53	1	0	6.6	0	0	3	0	1	
	紅い雪	1	0	1.3	0	0	0	0	0	0	31	14	19	0	0	0	0	
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	-	-	9.6	-	-	-	-	-	-	0.7		
今治市	さちのか	-	0	0	0	0	0	36	3	0	0	0	4	5	0	2	1	
松山市	あまおとめ	-	-	12	12	15	-	-	-	0	0	0	0	-	-	-	-	
	紅い雪	0	0	0	0	0	0	0	0	82	0	0	0	0	0	0	0	
	紅ほっぺ	-	0	0.3	1.9	0.1	0	0	7	0	0	4.2	3	3.4	0	0	0	
東温市	紅ほっぺ	-	-	2	-	0	-	-	-	0	-	0	-	-	-	-		
大洲市	紅ほっぺ	-	0	0	0	0	3.9	0	-	0.5	0	0	0	0	1.5	0	-	
	紅い雪	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	
	あまおとめ	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	
内子町	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	0.5	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	
西予市	あまおとめ	-	0	0	0	0	14	12.7	16.6	あまおとめ	-	0	0	0	0.3	7.7	0.3	
	紅い雪	-	1	-	5	4.4	15.2	30	17	紅い雪	-	0	-	0	0.8	1.2	0	0
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	0	4	-	紅ほっぺ	-	-	-	-	0	0	-	
宇和島市	あまおとめ	-	-	0	30	-	-	-	-	あまおとめ	18	-	1.7	0	-	-	-	
	こいみのり	-	-	0	-	-	-	-	-	こいみのり	2	-	0	-	-	-	-	
	レッドパール	-	-	0.5	-	-	-	-	-	レッドパール	6	-	0.5	-	-	-	-	
	紅い雪	-	-	0	-	-	-	-	-	紅い雪	-	-	0	-	-	-	-	
鬼北町	あまおとめ	-	-	-	-	-	-	-	-	あまおとめ	0	-	-	-	-	-	-	
	こいみのり	-	-	-	-	-	-	-	-	こいみのり	0	-	-	-	-	-	-	
	レッドパール	-	-	-	-	1	3	3	-	レッドパール	0	-	-	0	0	0	-	
	紅い雪	-	-	-	-	-	-	-	-	紅い雪	2	-	-	-	-	-	-	
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	-	-	-	紅ほっぺ	0	-	-	-	-	-	-	
平均		0.3	0.9	1.2	3.1	1.4	6.3	14.2	12.5	平均	3.5	4.2	3.2	1.9	1.6	0.7	2.7	0.4

(10) 冬春いちご (つづき)

ハダニ類寄生株率(%) 調査時期		ハダニ類寄生株率(%) 調査時期																
調査地点	品種	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
新居浜市	あまおとめ	0	36	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
西条市	あまおとめ	0	40	24	20	14	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	紅い雲	0	29	25.3	48	0	0	0	0	0	4	1	0.7	0	0	0	0	0
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	0	
今治市	さちのか	0	0	0	19	31	1	4	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0
松山市	あまおとめ	-	-	11.5	19.5	30	-	-	-	6.5	0.5	3	-	-	-	-	-	
	紅い雲	2	4	83	1	0	0	0	6	5	4	0	0	0	0	0	0	0
	紅ほっぺ	0	0	0.3	0.4	2.6	3	0	0	0.9	0	0.1	0	0	0	0	0	0
東温市	紅ほっぺ	-	-	0	-	0	-	-	-	0.2	-	0	-	-	-	-	-	
大洲市	紅ほっぺ	0.2	1	0	0	0	29.1	0	-	2.9	0	0	0	0	0	0	-	
	紅い雲	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	
	あまおとめ	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	
内子町	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	3.3	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	
西予市	あまおとめ	-	4	35.5	17.3	0	16.7	24	28.4	あまおとめ	-	0	0	0	0	0	0	0
	紅い雲	-	4	-	22	18.8	18	19.6	4	紅い雲	-	0	-	0	0	0	0	0
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	0	0	-	紅ほっぺ	-	-	-	-	0	0	-	
宇和島市	あまおとめ	0	-	0.3	2	-	-	-	-	あまおとめ	12	-	0	0	-	-	-	
	こいみのり	0	-	0	-	-	-	-	-	こいみのり	1	-	0	-	-	-	-	
	レッドパール	0	-	0	-	-	-	-	-	レッドパール	1.5	-	0.5	-	-	-	-	
	紅い雲	-	-	0	-	-	-	-	-	紅い雲	-	-	0	-	-	-	-	
鬼北町	あまおとめ	20	-	-	-	-	-	-	-	あまおとめ	22	-	-	-	-	-	-	
	こいみのり	0	-	-	-	-	-	-	-	こいみのり	0	-	-	-	-	-	-	
	レッドパール	8	-	-	-	23	8	11	-	レッドパール	72	-	-	0	0	0	-	
	紅い雲	16	-	-	-	-	-	-	-	紅い雲	8	-	-	-	-	-	-	
	紅ほっぺ	2	-	-	-	-	-	-	-	紅ほっぺ	16	-	-	-	-	-	-	
平均		2.4	13.1	9.2	10.8	6.6	15.1	13.4	8.9	平均	6.5	0.9	0.8	0.04	0.2	0	0	0

ハダニ類寄生株率(%) 調査時期		ハダニ類寄生株率(%) 調査時期															
調査地点	品種	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
新居浜市	あまおとめ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西条市	あまおとめ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	紅い雲	4	1	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
今治市	さちのか	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松山市	あまおとめ	-	-	6.5	0.5	3	-	-	-	5	4	0	0	0	0	0	0
	紅い雲	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	紅ほっぺ	0	0	0.9	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東温市	紅ほっぺ	-	-	0.2	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大洲市	紅ほっぺ	2.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	紅い雲	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	あまおとめ	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
内子町	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
西予市	あまおとめ	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	紅い雲	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	紅ほっぺ	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	-
字和島市	あまおとめ	12	-	0	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
	こいみのり	1	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
	レッドパール	1.5	-	0.5	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
	紅い雲	-	-	0	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
鬼北町	あまおとめ	22	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
	こいみのり	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
	レッドパール	72	-	-	-	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
	紅い雲	8	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
	紅ほっぺ	16	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
平均		6.5	0.9	0.8	0.04	0.2	0	0	0	6.5	0.9	0.8	0.04	0.2	0	0	0

2) 広域調査

(1) いちご育苗床調査

調査地点	調査品種	調査地点数		
		6月	7月	8月
松山市	紅ほっぺ	6	6	-
東温市	紅ほっぺ	6	4	-
松前町	あまおとめ	2	2	-
	紅ほっぺ	1	1	-
大洲市	紅ほっぺ	16	1	-
内子町	紅ほっぺ	7	-	-
西予市	あまおとめ	7	1	9
	紅ほっぺ	2	-	1
	紅い雫	3	-	4
	こいみのり	1	-	1
宇和島市	あまおとめ	2	2	1
	紅い雫	-	1	1
	レッドパール	2	2	1
鬼北町	あまおとめ	1	2	2
	紅ほっぺ	1	1	2
	レッドパール	-	1	1
	こいみのり	1	1	-
計		57	24	23

1株1葉の50株調査。「-」未調査。調査年2023年

炭そ病発病株率(%)		調査時期		
調査地点	品種	6月	7月	8月
松山市	紅ほっぺ	0	1.1	-
東温市	紅ほっぺ	0	0.6	-
松前町	あまおとめ	0	0	-
	紅ほっぺ	0	0	-
内子町	紅ほっぺ	0	-	-
大洲市	紅ほっぺ	0	0	-
西予市	あまおとめ	0	0	0.2
	紅い雫	0	-	1
	こいみのり	0	-	2.0
	紅ほっぺ	0	-	0
宇和島市	あまおとめ	0	0	0
	紅い雫	-	0	0
	レッドパール	0	0	0
鬼北町	あまおとめ	0	0	0
	こいみのり	0	0	-
	紅ほっぺ	0	0	0
	レッドパール	-	0	0
平均		0	0.5	0.3

萎黄病発病株率(%)		調査時期		
調査地点	品種	6月	7月	8月
松山市	紅ほっぺ	0	0	-
東温市	紅ほっぺ	0	0	-
松前町	あまおとめ	0	0	-
	紅ほっぺ	0	0	-
内子町	紅ほっぺ	0	-	-
大洲市	紅ほっぺ	0	0	-
西予市	あまおとめ	0	0	0.7
	紅い雫	0	-	0
	こいみのり	0	-	0
	紅ほっぺ	0	-	0
宇和島市	あまおとめ	1	2	2
	紅い雫	-	0	0
	レッドパール	0	0	0
鬼北町	あまおとめ	0	0	0
	こいみのり	0	0	-
	紅ほっぺ	0	0	0
	レッドパール	-	0	0
平均		0.03	0.2	0.3

(1) いちご育苗床調査 (つづき)

疫病発病株率(%)		調査時期		
調査地点	品種	6月	7月	8月
松山市	紅ほっぺ	0	0	-
東温市	紅ほっぺ	0	0	-
松前町	あまおとめ	0	0	-
	紅ほっぺ	0	0	-
内子町	紅ほっぺ	0	-	-
大洲市	紅ほっぺ	0	0	-
西予市	あまおとめ	0	0	0
	紅い雫	0	-	0
	こいみのり	1	-	1
	紅ほっぺ	0	-	0
宇和島市	あまおとめ	0	0	0
	紅い雫	-	0	0
	レッドパール	0	0	0
鬼北町	あまおとめ	0	0	0
	こいみのり	0	0	-
	紅ほっぺ	0	0	0
	レッドパール	-	0	0
平均		0	0	0

うどんこ病発病葉率(%)		調査時期		
調査地点	品種	6月	7月	8月
松山市	紅ほっぺ	3.7	0	-
東温市	紅ほっぺ	1.3	0	-
松前町	あまおとめ	0	0	-
	紅ほっぺ	0	0	-
内子町	紅ほっぺ	1.3	-	-
大洲市	紅ほっぺ	2.6	0	-
西予市	あまおとめ	0.3	0	0
	紅い雫	3.3	-	0
	こいみのり	44	-	0
	紅ほっぺ	0	-	0
宇和島市	あまおとめ	0	0	0
	紅い雫	-	0	0
	レッドパール	13	0	0
鬼北町	あまおとめ	3	0	0
	こいみのり	0	0	-
	紅ほっぺ	46	0	0
	レッドパール	-	0	0
平均		3.7	0	0

ハダニ類寄生株率(%)		調査時期		
調査地点	品種	6月	7月	8月
松山市	紅ほっぺ	0.2	0	-
東温市	紅ほっぺ	3.8	0	-
松前町	あまおとめ	0	0	-
	紅ほっぺ	0	0	-
内子町	紅ほっぺ	13.4	-	-
大洲市	紅ほっぺ	0.8	3	-
西予市	あまおとめ	8	16	14
	紅い雫	0.7	-	3
	こいみのり	0	-	0
	紅ほっぺ	0	-	0
宇和島市	あまおとめ	0	1	0
	紅い雫	-	0	0
	レッドパール	0	0	0
鬼北町	あまおとめ	0	0	0
	こいみのり	2	10	-
	紅ほっぺ	0	0	0
	レッドパール	-	0	0
平均		3.3	1.2	7.6

アブラムシ類寄生株率(%)		調査時期		
調査地点	品種	6月	7月	8月
松山市	紅ほっぺ	14.7	0.8	-
東温市	紅ほっぺ	3.7	9.5	-
松前町	あまおとめ	0	0	-
	紅ほっぺ	0	0	-
内子町	紅ほっぺ	0.3	-	-
大洲市	紅ほっぺ	1.5	0	-
西予市	あまおとめ	18	14	2.9
	紅い雫	2	-	3
	こいみのり	0	-	2
	紅ほっぺ	17	-	38
宇和島市	あまおとめ	5	0	0
	紅い雫	-	0	0
	レッドパール	5	6	0
鬼北町	あまおとめ	0	0	16
	こいみのり	0	0	-
	紅ほっぺ	0	0	23
	レッドパール	-	0	2
平均		5.6	2.8	6.9

(1) いちご育苗床調査 (つづき)

調査地点	品種	調査時期		
		6月	7月	8月
松山市	紅ほっぺ	0	0	-
東温市	紅ほっぺ	0	0	-
松前町	あまおとめ	0	0	-
	紅ほっぺ	0	0	-
内子町	紅ほっぺ	0	-	-
大洲市	紅ほっぺ	0	0	-
西予市	あまおとめ	0	0	0
	紅い雫	0	-	0
	こいみのり	0	-	0
	紅ほっぺ	0	-	0
宇和島市	あまおとめ	0	0	0
	紅い雫	-	0	0
	レッドパール	0	0	0
鬼北町	あまおとめ	0	0	1
	こいみのり	0	0	-
	紅ほっぺ	0	4	0
	レッドパール	-	0	0
平均		0	0.2	0.1

(2) たまねぎ広域調査

白色疫病調査地点数

調査地点	作型	調査地点数		
		1月	2月	3月
西条市	早どり	9	-	-
	普通	-	18	47
今治市	早どり	5	-	-
	普通	-	15	13
松山市	早どり	18	-	-
	普通	-	40	59
松前町	早どり	7	-	-
大洲市	早どり	3	-	-
	普通	-	-	1
西予市	早どり	-	1	1
	普通	22	21	23
宇和島市	早どり	4	2	5
	普通	1	-	4
計	早どり	46	3	6
	普通	23	94	147

べと病調査地点数

調査地点	作型	調査地点数	
		2月	3月
西条市	普通	18	47
	普通	15	13
松山市	普通	40	59
	普通	-	1
大洲市	早どり	1	1
	普通	21	24
西予市	早どり	2	5
	普通	-	4
計	早どり	3	6
	普通	94	148

白色疫病発病株率(%)		調査時期		
調査地点	作型	1月	2月	3月
東予				
西条市	早どり	0	-	-
	普通	-	0.1	0.01
今治市	早どり	0	-	-
	普通	-	0	0
中予				
松山市	早どり	0	-	-
	普通	-	0	0
松前町	早どり	0	-	-
	普通	-	-	-
南予				
大洲市	早どり	0	-	-
	普通	-	-	0
西予市	早どり	-	0	0
	普通	0	0	0
宇和島市	早どり	0	0	0
	普通	0	-	0
平均	早どり	0	0	0
	普通	0	0.02	0.002

べと病発病株率(%)		調査時期	
調査地点	作型	2月	3月
東予			
西条市	普通	0	2.7
今治市	普通	0	1.2
中予			
松山市	普通	0	0.05
南予			
大洲市	普通	-	0
西予市	早どり	0	2
	普通	0.02	0.2
宇和島市	早どり	0	0
	普通	-	0
平均	早どり	0	0.3
	普通	0.01	1.0

8. トランプ等による害虫の発生消長調査

1) 予察灯 (ライトトランプ) による害虫の発生消長調査 (水稻海外飛来性、果樹カメムシ類は別途集計)

①調査場所: 西条市西泉 令和5年 (捕獲成虫数/半旬) 予察灯の種類・光源: 池田理化製MT-7、60W白色電球

月	半旬	ツマグロ ヨコハメイ	イナズマ ヨコハメイ	ヒメトビ ウシカ	ニカメイ カ"	サンカメイ カ"	フタオビ コヤカ"	イネトウ カ"	アワノメイ カ"	オクサカ メシ	ミナミアオ カメムシ	イセキム シ	イチモン ジカムシ	クモヘリカ メムシ	ホツハリカ メムシ	アカシジ カスミカム	イネミズ ツウムシ	コナガ	ヒメフタ シヨコハ イ	ドウガ カブイ ブイ	アドウ カヌ
4月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	6	1	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
6月	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	2	1	1
	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	6	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	2
	6	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
7月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0
	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	4	0	0	6	3
	4	5	4	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	7	1	0	0	0	1
	5	39	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	3
	6	190	66	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	0	6	4	0	0	3	2
8月	1	261	111	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	8	1	7	0	0	0	0	1
	2	40	21	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1
	3	127	184	14	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	5	0	1	0	3	0
	4	57	137	13	0	0	1	0	3	0	3	0	0	0	0	7	0	0	0	1	2
	5	7	80	5	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
	6	10	140	2	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	7	0	0	0	0	2
9月	1	7	63	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	2	0	55	4	0	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0
	3	52	179	3	0	0	0	0	6	2	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1
	4	53	251	1	0	0	1	0	2	1	7	0	0	2	0	3	0	0	0	1	0
	5	5	24	1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	6	6	76	1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
10月	1	2	9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数		869	1424	49	0	0	6	0	25	4	42	0	0	17	1	64	12	25	0	37	27
初飛来日		5/28	5/26	7/28			6/24		6/30	9/12	8/7			7/12	8/1	6/19	7/6	4/10		6/13	6/12
連続飛来日		7/15	5/26	8/14						9/13			8/3		7/15	7/11			6/23	6/26	

連続飛来日: 3日連続飛来の初日 ー: 欠測 誘殺があるにも関わらず、初飛来日、連続飛来日がないものは、欠測のため未記入。

②調査場所：松山市上難波 令和5年 (捕獲成虫数/半旬) 予察灯の種類・光源：池田理化製MT-7、60W白色電球

月	半旬	ツマグロ ヨコハイ	イナズマ ヨコハイ	ヒトビ ウンカ	ニカメイ カ	サンカメイ カ	フタオビ コヤカ	イネトウ カ	アワノメイ メシ	アオクサカ カメシ	ミナミアオ カメシ	イヌメム シ	イチモン ジカメム シ	クモヘリカ メムシ	ホソハリカ メムシ	アカズシ カスミカメ	イネミズ ゾウムシ	コナガ シ	ヒメフタテ シヨコハイ	トウカ ネハイ	アオトウ カネ	
4月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
5月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0
	6	2	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0
6月	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
	2	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	19	0	6	0	0
	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0
7月	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0
	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	5	0	0
	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	6	0	2	0	6	0	0
	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	3	0	0
	6	24	1	0	0	0	0	0	0	2	6	5	0	0	1	49	0	1	0	14	0	0
8月	1	19	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	2	1	20	0	0	0	0	9	0	0
	2	12	0	0	0	0	0	0	1	0	13	3	0	5	1	22	0	0	0	1	0	0
	3	14	0	0	0	0	0	0	1	3	7	0	0	2	0	20	0	0	0	4	0	0
	4	55	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0	0	2	1	9	0	0	0	3	0	0
	5	23	0	0	0	0	0	0	1	1	4	1	0	0	0	14	0	0	0	5	1	0
	6	6	0	0	0	0	0	0	3	2	3	0	0	1	1	6	0	0	0	1	0	0
9月	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	1	0	3	0	0	0	2	1	0
	2	1	0	0	0	0	0	0	2	1	9	1	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0
	3	0	2	0	0	0	0	0	2	0	12	0	0	0	3	20	0	0	0	1	0	0
	4	2	0	0	0	0	0	0	2	0	17	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
10月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数		182	25	1	0	0	0	1	12	17	130	13	0	13	8	203	0	126	0	67	3	
初飛来日		5/28	5/27	7/15				5/10	8/6	7/2	5/16	7/15		8/2	7/26	6/13		4/3		6/12	8/21	
連続飛来日		6/12	5/27								8/18	7/29				7/18		4/3		6/12		

連続飛来日：3日連続飛来の初日 ー：欠測 誘殺があるにも関わらず、初飛来日、連続飛来日がないものは、欠測のため未記入。

③調査場所：松前町大間 令和5年 (捕獲成虫数/半旬) 予察灯の種類・光源：池田理化製MT-7、60W白色電球

月	半旬	ツマグロ ヨコハメイ	イナズマ ヨコハメイ	ヒメトビ ウンカ	ニカメイ カ	サンカメイ カ	フタオビ コヤカ	イネトウ カ	アワノメイ カ	アオクサカ メシ	ミナミアオ カメムシ	イネカム シ	イチモン ジカムシ	クモヘリカ メムシ	ホツハリカ メムシ	アカシジ カスミカム	イネミズ ツウムシ	コナガ ツ	ヒメフタ シヨコハイ イ	ドウガ ホツハイ ブイ	アドウ カネ
4月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	
	6	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
6月	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	
7月	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	5	0	5	
	2	0	0	4	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	
	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	3	0	0	0	9	
	4	4	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	17	0	0	0	9	
	5	2	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	4	0	0	0	5	
	6	13	0	0	0	0	0	0	2	0	3	1	0	0	0	5	0	0	0	5	
8月	1	11	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	2	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	
	3	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	2	
	4	3	1	1	0	0	0	0	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	5	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	6	1	0	0	0	0	0	0	7	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
9月	1	3	0	2	0	0	0	0	1	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	2	3	1	0	0	0	0	0	13	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	3	7	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	
	4	9	0	3	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	4	0	0	0	1	
	5	0	0	2	0	0	0	0	0	2	19	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
	6	6	6	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	
10月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総数		81	8	15	0	0	3	0	43	2	91	5	0	1	0	55	0	40	0	42	
初飛来日		5/26	8/16	6/25			8/12		5/27		5/4	7/22		9/3		6/11		4/3		6/20	6/23
連続飛来日		5/26						9/9		7/15					7/16		4/3		7/11		

連続飛来日：3日連続飛来の初日 -：欠測 誘殺があるにも関わらず、初飛来日、連続飛来日がないものは、欠測のため未記入。

④調査場所：久万高原町入野 令和5年 (捕獲成虫数/半旬) 予察灯の種類・光源：池田理化製MT-7、60W白色電球

月	半旬	ツマグロ ヨコハメイ	イナズマ ヨコハメイ	ヒメヒツ ウシカ	ニカメイ カ	サンカメイ カ	フタオヒ コヤカ	イネコトウ カ	アワノメイ カ	アオクサカ メシ	ミナミアオ カメムシ	イネカム シ	イチモン ジカムシ	クモヘリカ メムシ	ホツハリカ メムシ	アカシジ カスミカム	イネミズ ツウムシ	コナガ ツ	ヒメフタテ シヨコハイ イ	ドウガ ホツイ ブイ	アドウ カネ
4月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0
6月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	5	1	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	67	0	0	1	0
7月	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	1	0
	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	3	1	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
	4	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	5	0
	5	0	0	0	0	0	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	8	0
	6	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
8月	1	0	0	1	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	4	0	0	2	0	0	9	0	5	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	3	0
	5	0	0	2	0	0	5	0	2	1	0	1	0	1	0	1	0	0	4	0	0
	6	0	0	0	0	1	0	5	0	0	2	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0
9月	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	1	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0
10月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数		3	0	6	0	0	49	0	47	2	4	5	0	6	0	30	111	10	0	54	0
初飛来日		6/25		8/2		6/25		6/15	7/11	9/24	8/22		8/16		5/29	5/17	4/5		6/27		
連続飛来日						7/26		6/25								9/16	6/25	6/9		7/14	

連続飛来日：3日連続飛来の初日 －：欠測 誘殺があるにも関わらず、初飛来日、連続飛来日がないものは、欠測のため未記入。

⑤調査場所：西予市宇和町山田 令和5年 (捕獲成虫数/半旬) 予察灯の種類・光源：池田理化製MT-7、60W白色電球

月	半旬	ツマグロ ヨコハメイ	イナズマ ヨコハメイ	ヒメトビ ウシカ	ニカメイ カ	サンカメイ カ	フタオビ コヤカ	イネトウ カ	アワノメイ カ	アオクサカ メシ	ミナミアオ カメムシ	イネカム シ	イチモン ジカムシ	クモヘリカ メムシ	ホツハリカ メムシ	アカシジ カムシ	イネミズ ツウムシ	コナガ ツ	ヒメフタ シヨコハイ イ	ドウガ ねハイ ブイ	アドウ カネ
4月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	1	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
	6	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
6月	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
	4	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	6	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	16	0	0	0	32
7月	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	38
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	41
	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	23	0	0	0	0	78
	4	45	0	0	0	0	0	0	5	1	3	1	0	0	88	0	0	0	0	35	1
	5	97	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1	0	0	52	0	0	0	0	23	0
	6	44	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	7	0
8月	1	44	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	2	1	7	0	0	0	0	0
	2	25	1	2	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	11	0	0	0	0	1	0
	3	138	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	11	0	0	0	8	0
	4	88	0	1	1	0	2	0	0	0	1	5	0	3	0	9	0	0	0	7	0
	5	6	0	0	0	0	3	0	0	0	1	28	0	3	0	5	0	0	0	7	0
	6	6	0	0	0	0	1	0	1	0	55	0	2	1	1	0	0	0	0	4	0
9月	1	45	0	0	0	0	1	0	0	2	9	14	0	18	0	19	0	0	0	3	0
	2	33	0	0	0	0	1	3	1	0	4	3	0	12	0	11	0	0	0	2	0
	3	93	0	0	0	0	0	0	0	2	3	4	0	13	0	15	0	0	0	0	0
	4	166	1	0	0	0	0	0	0	0	7	4	0	3	0	29	0	0	0	0	3
	5	165	1	0	0	0	0	1	0	1	2	1	0	6	0	7	0	0	0	0	0
	6	189	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	3	0	16	0	0	0	0	0
10月	1	44	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数		1302	7	6	1	0	8	19	13	17	39	119	4	72	2	377	0	10	0	298	2
初飛来日		5/28	7/11	6/13	8/19		8/4	4/30	5/3	7/4	6/24	7/16	7/20	6/29	8/1	5/28		4/10		6/17	7/8
連続飛来日		5/28					5/22		7/19	9/7	8/18		7/29		6/12					6/19	

連続飛来日：3日連続飛来の初日 －：欠測 誘殺があるにも関わらず、初飛来日、連続飛来日がないものは、欠測のため未記入。

⑥調査場所：愛南町御荘長月 令和5年 (捕獲成虫数/半旬) 予察灯の種類・光源：池田理化製MT-7、60W白色電球

月	半旬	ツマグロ ヨコハメイ	イナズマ ヨコハメイ	ヒメヒツ ウシカ	ニカメイ カ	サンカメイ カ	フタオヒ コヤカ	イネトウ カ	アワノメイ カ	アオクサカ メシ	ミナミアオ カメムシ	イネカム シ	イチモン ジカムシ	クモヘリカ メムシ	ホツハリカ メムシ	アカシジ カムシ	イネミズ ツウムシ	コナガ カムシ	ヒメフタテ シヨコハイ イ	ドウガ ホツイ ブイ	アドウ カネ
4月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
6月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0
	4	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	6	13	26	1	0	0	16	0	0	0	2	4	1	1	0	4	0	0	0	2	3
7月	1	2	33	2	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	2	1	0	0	0	2
	2	63	51	0	0	0	14	0	0	0	4	3	0	0	0	4	0	0	0	7	9
	3	12	43	0	0	0	18	0	0	0	0	6	1	1	0	3	3	0	0	4	14
	4	17	27	1	0	0	24	0	1	0	0	15	0	0	0	16	11	0	0	9	11
	5	27	0	0	0	0	48	0	1	0	0	3	0	4	0	6	0	0	0	6	9
	6	6	7	0	1	0	22	1	0	0	0	6	0	2	0	5	1	0	0	8	3
8月	1	1	32	1	0	0	21	0	0	0	1	15	0	3	0	6	1	0	0	1	6
	2	2	20	1	0	0	3	0	0	0	2	19	0	1	0	1	0	0	0	2	11
	3	59	254	1	0	0	5	0	0	0	1	35	0	6	0	19	0	0	0	8	31
	4	45	76	2	0	0	5	0	0	0	6	40	0	2	1	52	0	0	0	2	9
	5	7	32	1	0	0	7	0	0	0	0	22	0	13	0	63	0	0	0	2	9
	6	3	132	1	0	0	0	1	0	0	2	19	0	20	0	137	0	0	0	2	5
9月	1	8	267	1	0	0	2	2	0	0	2	35	0	28	0	264	0	0	0	1	0
	2	6	198	0	0	0	0	0	0	1	21	2	2	0	89	0	0	0	2	3	
	3	3	19	0	0	0	0	0	0	6	7	0	1	0	14	0	0	0	2	6	
	4	1	13	0	0	0	0	1	0	0	17	11	2	0	0	38	0	0	0	1	6
	5	4	14	0	0	0	0	0	0	0	18	7	0	0	1	13	0	0	0	0	3
	6	0	13	0	0	0	0	0	0	0	10	2	0	1	0	24	0	0	0	0	0
10月	1	0	5	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数		279	1262	12	1	0	214	12	3	0	78	272	6	87	2	777	23	3	0	62	140
初飛来日		6/26	6/26	6/26	7/31		5/28	4/16	5/22		4/10	6/27	6/29	6/27	8/16	5/29	4/18	4/11		6/12	6/28
連続飛来日		6/26	6/26				6/18				8/16	6/27		7/24		7/15	7/18			7/11	7/14

連続飛来日：3日連続飛来の初日 -：欠測 誘殺があるにも関わらず、初飛来日、連続飛来日がないものは、欠測のため未記入。

2) 予察灯による水稻海外飛来性害虫の調査

令和5年

予察灯の種類・光源：池田理化製MT-7 60W白色電球

(捕獲成虫数/半旬)

月	半旬	セジロウンカ						トビイロウンカ						コブノメイガ					
		西条市西泉	松山市上難波	松前町大間	久万高原町入野	西予市宇和町山田	愛南町御荘長月	西条市西泉	松山市上難波	松前町大間	久万高原町入野	西予市宇和町山田	愛南町御荘長月	西条市西泉	松山市上難波	松前町大間	久万高原町入野	西予市宇和町山田	愛南町御荘長月
4月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	1	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-
	2	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-
	3	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0
	4	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	1	0	5	18	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	2	0	9	59	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	2	8	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
8月	1	1	0	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	1	0	5	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	3	15	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0
	5	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	6	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9月	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	1	1	0	0
	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	5	3	0	3	1	0	1	0	0	1	1	0	7	0	0	0	0	0	0
	6	2	2	1	0	2	0	1	0	2	2	12	6	0	0	0	0	0	0
10月	1	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	41	29	90	4	19	30	5	0	3	3	15	19	2	0	5	4	2	0	
(前年)	134	54	37	22	36	30	9	0	7	7	22	20	6	0	1	1	6	4	
(平年*)	207	298	95	26	199	169	184	66	115	57	165	968	8	2	8	1	6	1	
初飛来日	7/11	7/1	7/1	8/16	7/1	6/26	9/1		9/22	9/2	9/29	7/1	8/23		7/31	8/16	8/7		
連続飛来日	8/11	7/1	7/1				8/10												

連続飛来日：3日連続飛来の初日。 - : 欠測。 平年*：各地点の予察灯参照。

日別値（予察灯による水稻海外飛来性害虫の調査）

2023 (令 和5 年)	セジロウンカ						トビイロウンカ						コブノメイガ						
	西条 市西 市泉	松山 市上 難波	松前 町大 間	久万 高原 町入 野	西予 市宇 和町	愛南 町御 莊長 月	西条 市西 市泉	松山 市上 難波	松前 町大 間	久万 高原 町入 野	西予 市宇 和町	愛南 町御 莊長 月	西条 市西 市泉	松山 市上 難波	松前 町大 間	久万 高原 町入 野	西予 市宇 和町	愛南 町御 莊長 月	
6/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/26	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/1	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7/2	0	2	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/4	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/6	0	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/7	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/8	0	0	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/9	0	3	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/10	0	4	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/11	1	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/12	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/14	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/15	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/18	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/19	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/23	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
7/24	0	-	1	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
7/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/26	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0
7/27	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/30	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7/31	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

日別値 (予察灯による水稻海外飛来性害虫の調査)

2022 (令 和4 年)	セジロウンカ						トビイロウンカ						コブノメイガ						
	西条 市西 市泉	松山 市上 難波	松前 町大 間	久万 高原 町入 野	西予 市宇 和町	愛南 町御 莊長 月	西条 市西 市泉	松山 市上 難波	松前 町大 間	久万 高原 町入 野	西予 市宇 和町	愛南 町御 莊長 月	西条 市西 市泉	松山 市上 難波	松前 町大 間	久万 高原 町入 野	西予 市宇 和町	愛南 町御 莊長 月	
8/1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/6	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
8/8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/10	0	0	1	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/11	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/12	2	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/13	7	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/14	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/16	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
8/17	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
8/19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/21	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
8/24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/29	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/31	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
9/2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
9/3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
9/4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0
9/5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/10	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/11	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/14	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
9/15	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
9/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9/17	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
9/18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/20	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/21	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0
9/22	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/23	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9/24	1	-	1	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
9/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/26	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/28	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9/29	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0
9/30	0	1	0	0	2	0	1	0	2	2	11	1	0	0	0	0	0	0	0

3) 果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ) の越冬状況調査

令和5年2月に広葉樹の落葉を2m² (1m²×2) 分集め、2月22日より室内で加温し、3月7日に虫数を調査。

地区	調査場所	越冬成虫数	越冬虫数/地点	地区	調査場所	越冬成虫数	越冬虫数/地点
東予	四国中央市土居町上野	1		南予	内子町内子	2	
	西条市氷見	0			内子町五十崎	2	
	西条市丹原町田滝	3			大洲市長浜町長浜	2	
	今治市朝倉南	0			大洲市長浜町沖浦	1	
	今治市朝倉	4			大洲市上須戒	0	
	今治市玉川町葛谷	4			伊方町二見	2	
	今治市新谷	0			八幡浜松柏	0	
	今治市大西町山之内	1			西予市三瓶町津布理	5	
	今治市菊間町高田	2			西予市明浜町高山	7	
	今治市大三島町台	0			西予市明浜町俵津	26	
東予小計	(調査地点数：10地点)	15	1.5		西予市明浜町狩浜	57	
中予	東温市	2			宇和島市吉田町法華津	2	
	東温市拝志	0			宇和島市三間町増田	4	
	松山市菅沢	0			宇和島市柿原	5	
	松山市伊台	0			宇和島市高串	7	
	松山市難波	0			宇和島市津島町下畠地	1	
	伊予市上三谷	0			鬼北町興野々	1	
	伊予市双海町三島	2			松野町豊岡	3	
	伊予市唐川	0			松野町延野々	3	
	砥部町鶴の崎	5			愛南町須の川	0	
	松山市河野	1			南予小計 (調査地点数：20地点)	130	6.5
中予小計	(調査地点数：10地点)	10	1	計 (全県)	(調査地点数：40地点)	155	3.88

注：越冬成虫数はチャバネアオカメムシを調査。

概要： 全県的な越冬虫数は多く、特に南予地域では、多い状況であった。

(参考) 過去10年間の推移

調査年月	全県	地域					
		東予		中予		南予	
		調査地点数	1地点当越冬虫数(頭/2m ²)	調査地点数	1地点当越冬虫数(頭/2m ²)	調査地点数	1地点当越冬虫数(頭/2m ²)
本年		40	3.88	10	1.5	10	1
平年	平成25年～令和4年	-	0.97	-	0.49	-	1.48
	令和4年2～3月	40	0.23	10	0.0	10	0.2
	令和3年2～3月	40	0.23	10	0.2	10	0.4
	令和2年2～3月	40	1.43	10	0.6	10	4.4
	平成31年2～3月	40	0.75	10	0.5	10	0.4
	平成30年2～3月	40	1.68	10	0.9	10	2.3
	平成29年2～3月	40	0.53	10	0	10	1.4
	平成28年2～3月	40	0.15	10	0.0	10	0.5
	平成27年2～3月	40	1.33	10	0.7	10	0.8
	平成26年2～3月	40	2.63	10	1	10	3.7
	平成25年2～3月	40	0.08	10	0.00	10	0.20

4) 予察灯・集合フェロモントラップによる果樹カメムシ類の発生消長調査

① 予察灯 (ライトトラップ) 令和5年

(捕獲成虫数/半旬)

月	半 旬	西条市西泉			松山市上難波(農研内)			松山市下伊台(果研内)					
		合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ
4 月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	1	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	1	0	1	0	5	1	4	0
6 月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	1	1
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	2	1
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	7	3	3	1
7 月	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	4	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	4
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	3
8 月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	1
	2	0	0	0	0	3	2	0	1	13	0	2	11
	3	1	0	0	1	4	0	0	4	19	3	5	11
	4	1	1	0	0	1	1	0	0	44	7	4	33
	5	6	0	0	6	32	9	1	22	61	10	3	48
	6	6	4	0	2	34	28	1	5	17	6	1	10
9 月	1	13	10	0	3	121	96	2	23	27	13	4	10
	2	8	5	2	1	18	14	1	3	22	10	2	10
	3	26	22	4	0	40	33	3	4	32	7	11	14
	4	19	17	2	0	23	22	1	0	47	21	14	12
	5	49	2	47	0	8	5	3	0	44	15	27	2
	6	11	11	0	0	7	6	1	0	11	3	8	0
10 月	1	10	1	9	0	7	2	5	0	3	0	3	0
	2	4	0	4	0	6	0	6	0	10	0	10	0
	3	4	1	3	0	7	2	5	0	6	0	6	0
	4	14	4	10	0	2	0	2	0	12	1	11	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1
総数		173	78	82	13	315	221	32	62	419	111	133	175
(前年)		1378	1179	113	86	786	592	153	41	17776	15799	1721	256
(平年*)		1022	911	88	24	1095	912	159	25	3767	2809	872	86
初飛来日	-	8/18	5/16	8/15		-	7/5	5/29	8/8	-	5/16	5/6	6/5
連続飛来日	-			8/23	-	8/24		8/23	-	8/17	7/11	8/10	
光 源	60W白色電球				60W白色電球				20W青色蛍光灯				

特記事項 :

<注意報>

なし

<防除技術情報>

なし

(予察灯 (ライトトラップ)

月	半 旬	松前町大間				久万高原町入野				西予市宇和町山田				宇和島市吉田町立間			
		合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャ バネ アオ カメ ムシ	ツヤ アオ カメ ムシ	クサ ギカ メム シ
4 月	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0
	3	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
7 月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
8 月	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	4	0	0	4	2	0	1	1	12	1	0	11
	3	0	0	0	0	7	1	0	6	2	0	2	0	5	0	0	5
	4	0	0	0	0	9	1	0	8	0	0	0	0	24	2	0	22
	5	1	0	0	1	16	3	1	12	13	6	0	7	30	6	1	23
	6	2	2	0	0	10	2	0	8	15	11	1	3	20	2	0	18
9 月	1	2	1	0	1	10	3	0	7	42	31	6	5	30	8	0	22
	2	1	1	0	0	3	3	0	0	30	21	4	5	15	3	1	11
	3	3	2	1	0	6	4	1	1	64	52	10	2	28	21	1	6
	4	13	13	0	0	13	11	0	2	102	90	9	3	8	7	0	1
	5	0	0	0	0	3	2	1	0	170	148	10	12	4	1	1	2
	6	2	2	0	0	1	1	0	0	30	27	3	0	2	2	0	0
10 月	1	2	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0
	2	3	0	3	0	0	0	0	0	15	3	12	0	3	0	3	0
	3	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0
	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数		34	22	10	2	90	34	3	53	488	390	60	38	188	58	7	123
(前年)		220	171	33	16	2361	1774	175	412	2467	2006	351	110	501	320	67	114
(平年*)		91	72	14	4	602	401	56	145	2067	1686	338	43	641	453	90	98
初飛来日		-	8/28	4/5	8/24	-	5/17	8/22	6/29	-	8/21	8/7	8/10	-	4/18	8/24	7/9
連続飛来日		-				-	9/7		8/22	-	8/21	9/11	8/23	-	8/30		8/17
光 源	60W白色電球				60W白色電球				60W白色電球				20W青色蛍光灯				

特記事項 :

<注意報>

なし

<防除技術情報>

なし

(予察灯 (ライトトラップ))

令和5年

月	半 旬	鬼北町興野々				愛南町御荘長月			
		合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ
4 月	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	5	5	0	0	1	1	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	1	0	1	0	0	0	0	0
5 月	1	2	0	1	1	2	2	0	0
	2	1	1	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	3	2	1	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	1	1	0	0	2	2	0	0
6 月	1	2	1	1	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	14	12	1	1	1	1	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	1	1	0	0
	6	0	0	0	0	3	2	0	1
7 月	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	1	0	0	1	3	1	0	2
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	-	-	-	-	2	1	0	1
	5	-	-	-	-	7	5	2	0
	6	-	-	-	-	1	0	0	1
8 月	1	-	-	-	-	10	10	0	0
	2	-	-	-	-	40	10	10	20
	3	-	-	-	-	39	17	3	19
	4	-	-	-	-	95	21	3	71
	5	-	-	-	-	134	64	4	66
	6	-	-	-	-	73	46	3	24
9 月	1	-	-	-	-	120	83	1	36
	2	-	-	-	-	97	55	4	38
	3	-	-	-	-	126	83	7	36
	4	-	-	-	-	51	36	1	14
	5	-	-	-	-	77	71	3	3
	6	-	-	-	-	111	111	0	0
総数		30	22	5	3	1042	663	47	332
(前年)		13658	12023	705	930	798	445	268	85
(平年*)		15429	10932	3849	648	2573	906	1571	96
初飛来日		-	4/19	4/29	5/5	-	4/19	7/22	6/29
連続飛来日		-	6/11			-	8/1	8/25	8/10
光 源	20W青色蛍光灯				60W白色電球				

特記事項 :

<注意報>

なし

<防除技術情報>

なし

②集合フェロモントラップ 令和5年

(捕獲成虫数/半旬)

月	半旬	西条市丹原町高松				松山市上難波(農研内)				松山市下伊台(果研内)			
		合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ
4月	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	7	7	0	0	1	1	0	0
	5	0	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
5月	1	4	4	0	0	14	14	0	0	2	1	0	1
	2	2	2	0	0	11	11	0	0	1	1	0	0
	3	4	4	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	4	0	0	0	0	1	0	0	1	2	2	0	0
	5	1	1	0	0	2	0	1	1	1	1	0	0
	6	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0
6月	1	0	0	0	0	5	4	0	1	2	2	0	0
	2	0	0	0	0	7	6	1	0	2	2	0	0
	3	0	0	0	0	6	5	0	1	0	0	0	0
	4	1	1	0	0	4	3	1	0	2	2	0	0
	5	1	1	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0
	6	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0
7月	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0
	2	0	0	0	0	4	3	0	1	0	0	0	0
	3	1	1	0	0	3	3	0	0	1	1	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
9月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
	2	0	0	0	0	11	11	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	9	9	0	0	1	1	0	0
	4	1	1	0	0	14	13	0	1	1	1	0	0
	5	2	2	0	0	13	9	4	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	11	9	2	0	1	0	1	0
10月	1	0	0	0	0	7	5	0	2	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	8	2	2	4	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	6	1	1	4	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	7	2	1	4	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	6	1	1	4	0	0	0	0
総数		19	19	0	0	182	142	14	26	22	19	2	1
(前年)		11952	11884	44	24	7190	6752	389	49	1723	1693	15	15
(平年*)		3244	3196	41	8	2800	2625	154	22	1247	1159	70	18
設置場所	果樹地帯					庁舎敷地(水田野菜地帯)				果樹地帯			

特記事項 :

<注意報>

なし

<防除技術情報>

なし

(集合フェロモントラップ)

月	半 旬	宇和島市吉田町立間				鬼北町興野々			
		合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ	合計	チャバ ネアオ カメム シ	ツヤア オカメ ムシ	クサギ カメム シ
4 月	1	3	3	0	0	0	0	0	0
	2	4	4	0	0	0	0	0	0
	3	5	5	0	0	3	3	0	0
	4	3	2	1	0	5	5	0	0
	5	0	0	0	0	2	2	0	0
	6	0	0	0	0	2	1	1	0
5 月	1	6	5	0	1	1	1	0	0
	2	7	7	0	0	5	5	0	0
	3	0	0	0	0	11	10	0	1
	4	14	11	0	3	19	15	2	2
	5	9	8	0	1	8	6	1	1
	6	10	10	0	0	5	4	0	1
6 月	1	5	5	0	0	7	5	1	1
	2	11	11	0	0	5	4	1	0
	3	12	12	0	0	10	10	0	0
	4	21	17	0	4	6	6	0	0
	5	10	10	0	0	2	2	0	0
	6	3	3	0	0	3	3	0	0
7 月	1	1	1	0	0	1	1	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
8 月	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	1	1	0	0	0	0	0	0
	3	1	1	0	0	0	0	0	0
	4	2	2	0	0	1	1	0	0
	5	0	0	0	0	1	1	0	0
	6	3	3	0	0	6	6	0	0
9 月	1	1	1	0	0	3	3	0	0
	2	7	7	0	0	2	2	0	0
	3	4	4	0	0	10	10	0	0
	4	5	5	0	0	24	22	1	1
	5	3	3	0	0	8	8	0	0
	6	0	0	0	0	7	6	0	1
10 月	1	3	3	0	0	4	4	0	0
	2	1	1	0	0	4	3	1	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	2	1	0	1
	5	0	0	0	0	1	1	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
総数		155	145	1	9	168	151	8	9
(前年)		3189	3073	12	104	10594	9975	312	307
(平年*)		1833	1769	21	43	5111	4391	623	97
設置場所	果樹地帯				果樹地帯				

特記事項 :

<注意報>

なし

<防除技術情報>

なし

注) 各地点とも、
 ○トラップはコガネコールマ
 ダラコール用誘引器。
 ○誘引源はチャバネアオカメ
 ムシ集合フェロモン剤。

○基準調査期間は、4月～10
 月。
 ○平年値は10か年平均。

5) 性フェロモントラップ等による野菜等害虫の発生消長調査

①性フェロモントラップによるチョウ目害虫 令和5年

(各使用トラップ: S E トラップ) (捕獲雄成虫数/半旬)

月	半旬	ハスモンヨトウ							シロイチモジョトウ						
		四国中央市中央市中之庄町	西条市丹原町	松山市上難波(農研)	伊予市下三谷	大洲市五郎	西予市宇和町清沢	愛南町御荘長月	西条市丹原町	松山市上難波(農研)	伊予市下三谷	大洲市東大洲	愛南町御荘長月		
4月	1	1	0	5	2	4	1	11	1	6	3	0	0	0	0
	2	0	1	1	0	1	0	16	2	1	5	0	0	0	0
	3	0	3	0	1	3	1	4	3	6	4	0	0	0	0
	4	2	1	2	2	5	0	1	1	17	4	0	0	0	0
	5	0	1	4	3	1	3	5	2	7	6	0	0	0	0
	6	0	3	3	2	4	0	13	5	7	10	0	0	1	1
5月	1	0	5	6	2	6	5	17	7	6	3	1	1	1	1
	2	0	9	10	3	7	3	17	4	5	3	0	0	0	0
	3	0	13	12	13	10	0	13	3	5	5	1	1	1	1
	4	1	16	13	19	26	6	21	7	0	6	0	1	1	1
	5	18	26	8	15	22	13	16	11	8	19	0	1	1	1
	6	4	36	16	32	22	11	27	14	40	63	0	3	3	3
6月	1	2	27	14	35	88	30	37	19	22	61	2	4	4	4
	2	11	36	22	40	75	32	93	15	26	22	3	5	5	5
	3	22	26	13	20	33	25	90	12	7	19	2	3	3	3
	4	13	18	7	22	29	4	31	22	28	36	4	0	0	0
	5	7	15	8	21	23	9	35	21	25	42	4	2	2	2
	6	25	22	23	25	25	8	16	22	40	35	4	0	0	0
7月	1	5	28	25	39	88	30	23	35	55	38	12	3	3	3
	2	20	41	22	60	57	17	12	54	46	47	26	2	2	2
	3	25	35	14	28	29	16	7	18	28	38	3	1	1	1
	4	76	43	4	37	36	21	8	18	6	36	4	2	2	2
	5	15	39	22	38	35	18	5	12	16	33	0	0	0	0
	6	12	54	20	51	35	19	5	22	20	64	2	1	1	1
8月	1	4	54	3	49	55	22	4	53	30	53	8	5	5	5
	2	38	62	10	45	86	42	6	51	32	46	12	3	3	3
	3	41	67	8	39	76	23	11	40	38	48	4	4	4	4
	4	31	47	3	18	65	14	11	32	30	47	6	6	6	6
	5	87	59	33	37	52	7	15	24	26	45	3	4	4	4
	6	155	99	43	43	59	39	15	32	36	71	7	6	6	6
9月	1	86	86	15	58	88	116	10	36	45	143	12	31	31	31
	2	107	125	58	88	208	286	19	59	74	117	14	28	28	28
	3	75	62	25	75	105	212	15	36	39	86	7	6	6	6
	4	124	68	22	55	67	45	24	13	53	70	6	2	2	2
	5	272	236	145	150	88	116	32	59	157	159	19	7	7	7
	6	55	324	28	94	100	169	77	124	124	144	57	8	8	8
10月	1	173	369	19	63	226	369	221	107	196	124	79	51	51	51
	2	190	472	56	49	247	147	68	54	150	87	29	75	75	75
	3	369	544	138	100	193	95	195	43	57	46	1	7	7	7
	4	213	158	71	99	106	53	91	1	30	35	0	0	0	0
	5	183	171	56	77	111	49	86	5	15	26	0	0	0	0
	6	355	197	77	81	129	66	164	9	28	32	1	4	4	4
11月	1	214	130	52	71	63	95	148	7	47	37	1	4	4	4
	2	261	234	104	80	142	72	155	8	30	36	1	3	3	3
	3	208	204	85	78	105	26	176	7	27	23	1	3	3	3
	4	128	119	67	70	115	24	119	2	14	4	0	4	4	4
	5	144	163	95	71	50	7	196	6	12	10	2	1	1	1
	6	20	163	26	70	72	8	127	6	9	11	3	0	0	0
総数		3792	4711	1513	2170	3272	2374	2508	1144	1726	2102	341	293		
前年値		2170	5230	1668	1715	1144	1631	3683	2290	2014	1588	130	58		
平年値*		4449	3542	1798	2156	2612	1645	4066	845	841	841	237	162		
初飛来半旬	4月第1	4月第2	4月第1	4月第1	4月第1	4月第1	4月第1	4月第1	4月第1	4月第1	4月第1	5月第1	4月第6		
前年	5月第2	4月第2	4月第2	4月第2	4月第2	4月第5	4月第1	4月第1	4月第1	4月第5	4月第2	4月第3	6月第2		
平年*	5月第4	4月第4	4月第3	4月第4	4月第1	5月第1	4月第1	4月第6	4月第5	4月第5	4月第2	5月第1	5月第1		
設置場所	庁舎敷地 (水田野 菜地帶)	圃場	圃場	圃場	圃場	圃場	雨よけ アスパラ横	圃場	圃場	圃場	圃場				

* 平年: 10か年平均 * 基準調査日は、11月末まで。

(各使用トラップ: S E トラップ) (捕獲雄成虫数/半旬)

月	半旬	オオタバコガ					タバコガ	ヨトウガ	カブラヤガ	コナガ		ニカメイガ
		西条市	松山市	松前町	久万高	大洲市				松山市	松山市	
		丹原町	上難波	大間	原町入	東大洲	松山市	上難波	上難波	松山市	松山市	上難波
		(農研)	(農研)		野		(農研)	(農研)	(農研)	(農研)	(農研)	(農研)
4月	1	0	1	9	0	1	0	27	103	14	2	0
	2	1	1	25	0	0	0	37	68	5	5	0
	3	1	2	25	0	2	0	25	70	0	3	0
	4	2	2	29	0	0	0	36	99	0	1	0
	5	2	3	36	0	4	0	18	100	0	0	0
	6	2	2	21	0	1	0	5	43	0	2	0
5月	1	2	1	27	1	12	0	7	39	0	2	0
	2	1	1	31	1	6	0	5	34	0	5	0
	3	1	1	14	1	1	0	3	29	0	3	0
	4	1	0	5	0	0	0	1	33	0	0	0
	5	1	0	6	0	0	0	0	25	0	2	0
	6	0	2	9	0	0	0	1	15	0	4	0
6月	1	1	0	5	0	2	0	2	15	0	1	0
	2	1	0	18	0	4	0	3	18	0	2	0
	3	2	0	17	0	9	0	2	32	0	2	0
	4	3	0	35	0	3	0	0	53	0	1	0
	5	3	0	38	0	2	0	0	41	0	1	0
	6	2	0	39	1	2	0	2	44	0	0	0
7月	1	2	0	45	1	4	1	2	50	0	0	0
	2	0	0	60	0	11	0	1	27	0	0	0
	3	3	0	24	0	2	0	0	14	0	0	0
	4	2	0	23	0	2	0	0	2	0	0	0
	5	1	0	44	0	6	0	0	7	0	1	0
	6	1	0	45	0	7	0	0	2	0	0	0
8月	1	26	0	38	8	16	0	0	2	0	0	0
	2	23	0	42	17	19	0	0	0	0	0	0
	3	6	0	53	14	1	0	1	1	0	0	0
	4	8	0	75	1	7	1	1	3	0	0	0
	5	9	2	106	1	6	1	0	4	0	0	0
	6	8	2	76	1	7	3	0	4	0	0	0
9月	1	22	5	110	2	13	5	1	5	0	0	0
	2	44	10	91	4	31	5	1	3	0	0	0
	3	6	3	63	3	6	3	3	15	0	0	0
	4	11	2	71	2	7	4	4	9	0	0	0
	5	65	3	75	7	7	5	8	19	1	1	0
	6	57	2	109	12	11	1	28	10	0	0	0
10月	1	58	13	64	27	74	3	8	27	0	1	0
	2	86	22	101	54	1	6	19	16	1	1	0
	3	87	19	87	12	42	1	14	18	0	2	0
	4	57	9	63	1	12	2	4	11	0	0	0
	5	59	7	57	1	17	1	2	5	2	0	0
	6	64	20	71	2	27	1	3	6	1	0	0
11月	1	44	48	66	4	41	6	4	19	5	1	0
	2	29	31	63	3	41	0	0	16	6	1	0
	3	22	27	55	2	17	0	1	14	3	1	0
	4	15	37	42	0	7	0	0	13	1	8	0
	5	20	40	38	0	1	3	0	10	9	3	0
	6	21	32	37	0	2	1	0	19	2	6	0
総数		882	350	2283	183	494	53	279	1212	50	62	0
前年値		1349	53	1802	98	187	14	102	846	106	19	0
平年値*		770	104	1651	34	550	12	197	909	52	90	27
初飛来半旬	4月第2	4月第1	4月第1	5月第1	4月第1	7月第1	4月第1	4月第1	4月第1	4月第1	4月第1	
前年	4月第3	4月第6	4月第2	4月第5	4月第2	7月第3	4月第1	4月第1	4月第1	4月第1	4月第2	
平年*	4月第4	6月第2	4月第1	5月第6	4月第3	7月第4	4月第1	4月第1	4月第2	4月第2	6月第2	
設置場所	庁舎敷地 (水田・ 野菜地 帶)	圃場	圃場	圃場	圃場	圃場	圃場	圃場	圃場	圃場	圃場	圃場

* 平年: 10か年平均 * 基準調査日は、11月末まで。

②黄色粘着シートによる有翅アブラムシ類

令和5年

月	半 旬	アブラムシ類		
		西条市 丹原町 池田	松山市 上難波 (農研)	大洲市 東大洲
4 月	1	0	1	2
	2	0	3	2
	3	5	0	3
	4	8	0	1
	5	7	1	0
	6	6	1	3
5 月	1	3	13	3
	2	5	11	12
	3	8	6	10
	4	5	8	14
	5	9	21	19
	6	5	46	23
6 月	1	0	88	16
	2	2	44	17
	3	3	41	40
	4	2	24	19
	5	0	17	27
	6	0	1	18
7 月	1	1	1	17
	2	0	1	8
	3	2	0	8
	4	1	0	13
	5	1	0	11
	6	1	0	13
8 月	1	2	0	12
	2	2	1	12
	3	3	1	17
	4	4	3	16
	5	9	0	11
	6	17	0	14
9 月	1	10	0	13
	2	20	7	21
	3	29	4	43
	4	34	0	72
	5	20	1	26
	6	10	7	22
10 月	1	5	2	11
	2	5	4	8
	3	8	7	14
	4	10	0	11
	5	61	2	33
	6	227	14	95
11 月	1	382	195	227
	2	173	12	110
	3	117	5	49
	4	109	3	21
	5	47	0	45
	6	47	0	23
総数		1425	596	1225
前年値		375	578	1147
平年値*		367	358	-
初飛来半旬	4月第3	4月第1	4月第1	
前年	4月第2	4月第1	-	
平年*	4月第1	4月第1	-	
設置場所	庁舎敷地 (水田・ 野菜地 帶)	圃場	圃場	

黄色粘着シートの大きさ、
 ○西条市：20×10cm
 ○大洲市：20×20cm

* 平年：10か年平均 * 基準調査日は、11月末まで。

9 病害虫発生予察速報（稻・果樹・野菜共通）

令和5年度

番号	病害虫名	作物名等	発生場所	発見月日	前年月日	前年比較
1	セジロウンカ	水稻(予察灯)	西条市西泉	7月11日	6月23日	+18
2	セジロウンカ	水稻(予察灯)	松山市上難波	7月1日	6月26日	+5
3	セジロウンカ	水稻(予察灯)	松前町大間	7月1日	6月25日	+6
4	セジロウンカ	水稻(予察灯)	久万高原町入野	8月16日	7月3日	+43
5	セジロウンカ	水稻(予察灯)	西予市宇和町山田	7月1日	8月12日	-41
6	セジロウンカ	水稻(予察灯)	愛南町御荘長月	6月26日	7月8日	-12
7	トビイロウンカ	水稻(予察灯)	西条市西泉	9月2日	9月10日	-8
8	トビイロウンカ	水稻(予察灯)	松前町大間	9月22日	9月11日	+11
9	トビイロウンカ	水稻(予察灯)	久万高原町入野	9月22日	9月22日	+0
10	トビイロウンカ	水稻(予察灯)	西予市宇和町山田	9月29日	8月11日	+48
11	トビイロウンカ	水稻(予察灯)	愛南町御荘長月	7月1日	7月19日	-18
12	チャバネアオカメムシ	予察灯	西条市西泉	8月18日	4月25日	+113
13	チャバネアオカメムシ	予察灯	松山市上難波	7月5日	4月25日	+70
14	チャバネアオカメムシ	予察灯	松前町大間	8月28日	4月26日	+122
15	チャバネアオカメムシ	予察灯	久万高原町入野	5月17日	6月4日	-17
16	チャバネアオカメムシ	予察灯	西予市宇和町山田	8月21日	4月26日	+115
17	チャバネアオカメムシ	予察灯	愛南町御荘長月	4月19日	4月12日	+7
18	チャバネアオカメムシ	果樹(予察灯:青色)	松山市下伊台	5月16日	4月25日	+21
19	チャバネアオカメムシ	果樹(予察灯:青色)	宇和島市吉田町立間	4月18日	4月12日	+6
20	チャバネアオカメムシ	果樹(予察灯:青色)	鬼北町興野々	4月19日	4月12日	+7
21	チャバネアオカメムシ	フェロモントラップ	西条市丹原町高松	05月第1	04月第5	+2半旬
22	チャバネアオカメムシ	フェロモントラップ	松山市上難波	04月第1	04月第2	-1半旬
23	チャバネアオカメムシ	フェロモントラップ	松山市下伊台	04月第4	04月第4	0半旬
24	チャバネアオカメムシ	フェロモントラップ	宇和島市吉田町立間	04月第1	04月第1	0半旬
25	チャバネアオカメムシ	フェロモントラップ	鬼北町興野々	04月第3	04月第1	+2半旬
26	ツヤアオカメムシ	予察灯	西条市西泉	5月16日	4月12日	+34
27	ツヤアオカメムシ	予察灯	松山市上難波	5月29日	5月10日	+19
28	ツヤアオカメムシ	予察灯	松前町大間	4月5日	4月14日	-9
29	ツヤアオカメムシ	予察灯	久万高原町入野	8月22日	6月17日	+65
30	ツヤアオカメムシ	予察灯	西予市宇和町山田	8月7日	5月20日	+77
31	ツヤアオカメムシ	予察灯	愛南町御荘長月	7月22日	4月11日	+101
32	ツヤアオカメムシ	果樹(予察灯:青色)	松山市下伊台	5月6日	4月24日	+12
33	ツヤアオカメムシ	果樹(予察灯:青色)	宇和島市吉田町立間	8月24日	4月12日	+132
34	ツヤアオカメムシ	果樹(予察灯:青色)	鬼北町興野々	4月29日	4月12日	+17
35	ツヤアオカメムシ	フェロモントラップ	松山市上難波	05月第5	04月第3	+8半旬
36	ツヤアオカメムシ	フェロモントラップ	松山市下伊台	09月第1	05月第2	+23半旬
37	ツヤアオカメムシ	フェロモントラップ	宇和島市吉田町立間	04月第4	04月第1	+3半旬
38	ツヤアオカメムシ	フェロモントラップ	鬼北町興野々	04月第6	04月第2	+4半旬
39	クサギカムシ	予察灯	西条市西泉	8月15日	6月25日	+50
40	クサギカムシ	予察灯	松山市上難波	8月8日	7月3日	+35
41	クサギカムシ	予察灯	松前町大間	8月24日	6月29日	+55
42	クサギカムシ	予察灯	久万高原町入野	6月29日	6月16日	+13
43	クサギカムシ	予察灯	西予市宇和町山田	8月10日	6月17日	+53
44	クサギカムシ	予察灯	愛南町御荘長月	6月29日	6月15日	+14
45	クサギカムシ	果樹(予察灯:青色)	松山市下伊台	6月5日	4月25日	+40
46	クサギカムシ	果樹(予察灯:青色)	宇和島市吉田町立間	7月9日	4月12日	+87
47	クサギカムシ	果樹(予察灯:青色)	鬼北町興野々	5月5日	4月27日	+8
48	クサギカムシ	フェロモントラップ	松山市上難波	05月第4	04月第1	+9半旬
49	クサギカムシ	フェロモントラップ	松山市下伊台	05月第1	04月第2	+5半旬
50	クサギカムシ	フェロモントラップ	宇和島市吉田町立間	05月第1	05月第2	-1半旬
51	クサギカムシ	フェロモントラップ	鬼北町興野々	05月第3	04月第1	+8半旬

番号	病害虫名	作物名等	発生場所	発見月日	前年月日	前年比較
52	ヒメトビウンカ	水稻(予察灯)	西条市西泉	7月28日	7月1日	+27
53	ヒメトビウンカ	水稻(予察灯)	松山市上難波	7月15日	6月24日	+21
54	ヒメトビウンカ	水稻(予察灯)	松前町大間	6月25日	8月13日	-48
55	ヒメトビウンカ	水稻(予察灯)	久万高原町入野	8月2日	8月20日	-
56	ヒメトビウンカ	水稻(予察灯)	西予市宇和町山田	6月13日	8月13日	-60
57	ヒメトビウンカ	水稻(予察灯)	愛南町御荘長月	6月26日	8月10日	-44
58	イネミズゾウムシ	水稻(予察灯)	西条市西泉	7月6日	7月4日	+2
59	イネミズゾウムシ	水稻(予察灯)	久万高原町入野	5月17日	6月27日	-40
60	イネミズゾウムシ	水稻(予察灯)	愛南町御荘長月	4月18日	4月10日	+8
61	コブノメイガ	水稻(予察灯)	西条市西泉	8月23日	8月27日	-4
62	コブノメイガ	水稻(予察灯)	松前町大間	7月31日	10月1日	-60
63	コブノメイガ	水稻(予察灯)	久万高原町入野	8月16日	10月16日	-60
64	コブノメイガ	水稻(予察灯)	西予市宇和町山田	8月7日	8月28日	-21

※前年比較：- (マイナス) は前年より早い、+ (プラス) は前年より遅い

VI 病害虫防除指導に関すること

(1) 協議会、研修会、病害虫発生調査等の参加状況

東 予 地 域		中 予 地 域		南 予 地 域	
月/日	実施内容 (開催地区)	月/日	実施内容 (開催地区)	月/日	実施内容 (開催地区)
4/10	たまねぎ病害虫調査 (今治)			4/18 4/19 4/24 4/26 4/27 4/27 4/28	いちご病害虫調査 (西予) いちご病害虫調査 (西予) いちご病害虫調査 (大洲) 麦類病害虫調査 (西予) 麦類病害虫調査 (西予・大洲) 西予市水稻防除指針検討 (西予) かんきつ害虫調査 (八幡浜)
5/10 5/15 5/15	たまねぎ病害虫調査 (今治) 種子馬鈴薯圃場検査 (今治) いちご病害虫調査 (西条)	5/10 5/15 5/16 5/24 5/31	伊予地区果樹害虫対策会議 (伊予) 種子馬鈴薯圃場検査 (松山) JA 松山市いちご本圃指針検討会 (松山) いちご病害虫調査 (松山) JA 愛媛果樹技術指導員会病虫部会 (松山)	5/1 5/9 5/10 5/12 5/17 5/18 5/19	かんきつ害虫調査 (八幡浜) 麦類病害虫調査 (大洲・内子) 麦類病害虫調査 (西予) 西予市水稻防除協議会 (西予) いちご病害虫調査 (大洲・内子) いちご病害虫調査 (西予) いちご病害虫調査 (西予)
6/8	ビワキジラミ広域調査 (四国中央)	6/6 6/7 6/9 6/15 6/16 6/16	トマト・ピーマン病害虫調査 (久万高原) 農業振興連絡協議会施肥防除部会 (松山) なす病害虫調査 (松山) いちご病害虫調査 (東温) いちご病害虫調査 (松山、松前) トマト・ピーマン病害虫調査 (久万高原)	6/1 6/6 6/8 6/15 6/20 6/21 6/22 6/23	白ねぎ防除指針検討会 (西予) いちご栽培研修会 (鬼北) 東宇和害虫対策協議会 (西予) いちご病害虫調査 (宇和島・鬼北) いちご病害虫調査 (大洲・内子) いちご病害虫調査 (大洲) いちご病害虫調査 (西予) いちご病害虫調査 (西予)

東 予 地 域		中 予 地 域		南 予 地 域	
月/日	実施内容 (開催地区)	月/日	実施内容 (開催地区)	月/日	実施内容 (開催地区)
7/11	水稻病害虫発生調査 (今治)	7/5 7/7 7/12 7/14 7/14 7/21 7/21 7/26 7/27	なす病害虫調査 (松山) 水稻病害虫研修会 (松山) いちご病害虫調査 (東温) ピーマン・トマト病害虫調査 (久万高原) いちご病害虫調査 (松山、松前) 水稻病害虫発生調査 (久万高原) 種子馬鈴薯出荷会議 (松山) 水稻病害虫発生調査 (松山) なす病害虫調査 (松山)	7/13 7/18 7/19 7/20 7/24 7/26 7/27 7/28	水稻病害虫発生調査 (宇和島) 東宇和害虫対策協議会 (西予) いちご病害虫調査 (宇和島・鬼北) 水稻害虫発生調査 (愛南) いちご病害虫調査 (西予) 水稻病害虫発生調査 (西予) 水稻病害虫発生調査 (大洲) みかん害虫防除対策会議 (大洲)
8/3 8/4 8/29 8/31	水稻病害虫発生調査 (今治) 水稻病害虫発生調査 (四国中央) 水稻病害虫発生調査 (今治) 水稻病害虫発生調査 (周桑)	8/1 8/3 8/7 8/8 8/14 8/21 8/23 8/24 8/24 8/28 8/29 8/30 8/30	水稻病害虫発生調査 (伊予・東温) いちご病害虫調査 (松山) なす病害虫調査 (松山) 水稻病害虫発生調査 (久万高原) ピーマン・トマト病害虫調査 (久万高原) 水稻病害虫発生調査 (久万高原) 水稻病害虫発生調査 (松山) なす病害虫発生調査 (松山) ピーマン・トマト病害虫調査 (久万高原) 水稻病害虫発生調査 (伊予・東温) いちご病害虫調査 (東温) いちご病害虫調査 (松山、松前) なす指導会 (松山)	8/3 8/17 8/17 8/21 8/22 8/22 8/24 8/24 8/30 8/31	いちご IPM 検討会 (大洲) いちご病害虫調査 (宇和島・鬼北) 水稻病害虫発生調査 (愛南) いちご病害虫調査 (西予) いちご病害虫調査 (西予) 水稻病害虫発生調査 (大洲) 水稻病害虫発生調査 (鬼北・宇和島) いちご病害虫調査 (大洲) 水稻病害虫発生調査 (西予)
9/1 9/1 9/4 9/6	水稻病害虫発生調査 (四国中央) さといも疫病発生調査 (四国中央) 水稻病害虫発生調査 (新居浜) 水稻病害虫発生調査 (西条)	9/5 9/7 9/11 9/12 9/13	ピーマン・トマト病害虫調査 (久万高原) なす病害虫調査 (松山) 水稻病害虫発生調査 (松山) 水稻病害虫発生調査 (伊予・東温) かんきつ害虫発生調査 (伊予)	9/4 9/7 9/14 9/20 9/22	かんきつ害虫発生調査 (西予) 大豆病害虫調査 (西予) かんきつ害虫発生調査 (西予) いちご病害虫調査 (宇和島・鬼北) いちご病害虫調査 (西予)

東 予 地 域		中 予 地 域		南 予 地 域	
月/日	実施内容 (開催地区)	月/日	実施内容 (開催地区)	月/日	実施内容 (開催地区)
		9/15 9/19 9/21 9/25	かんきつ害虫発生調査 (砥部) ピーマン・トマト病害虫調査 (久万高原) 麦作技術向上研修会 (松山) なす病害虫調査 (松山)	9/27	かんきつ害虫発生調査 (大洲)
10/3	さといも疫病発生調査 (四国中央)	10/6 10/10 10/11 10/12 10/26	JA えひめ中央防除指針検討会 (松山) かんきつ害虫発生調査 (砥部) かんきつ害虫発生調査 (伊予) かんきつ害虫発生調査 (伊予) JA 愛媛果樹技術指導員会病虫部会 (松山)	10/13 10/25 10/26 10/30 10/31	かんきつ害虫発生調査 (西予) かんきつ害虫発生調査 (大洲) かんきつ害虫発生調査 (大洲) かんきつ害虫発生調査 (西予) かんきつ害虫発生調査 (内子)
11/9 11/10	JA 越智今治水稻指針検討会 (今治) JA 越智今治果樹指針検討会 (今治)	11/8 11/17 11/17 11/24 11/30	JA えひめ中央果樹防除指針検討会 (松山) 愛媛県粒剤農薬研究会 (松山) 全農えひめきゅうり部会 いちご病害虫調査 (松山、松前) JA えひめ中央水稻防除指針検討会 (東温)	11/7 11/9 11/20 11/21 11/22 11/22 11/22 11/28	かんきつ害虫発生調査 (西予) かんきつ害虫発生調査 (愛南・宇和島) いちご病害虫調査 (西予) いちご病害虫調査 (鬼北・宇和島) いちご病害虫調査 (西予) 西予市水稻防除協議会 (西予) 北宇和技連作物部会成績検討会 (宇和島) いちご栽培研修会 (宇和島)
12/11	種子馬鈴薯圃場検査 (今治)	12/4 12/11 12/18 12/19 12/26	愛媛県農業振興連絡協議会施肥防除部会 種子馬鈴薯圃場検査 (松山) いちご病害虫調査 (東温、松山) いちご病害虫調査 (松前) 伊予市双海地区柑橘放任園害虫対策会議 (伊予)	12/1 12/1 12/5 12/7 12/8 12/21 12/26	JA 東宇和かんきつ防除指針検討会 (西予) 西予市水稻防除協議会 (西予) 大洲喜多技連果樹栽培指針検討会 (大洲) 大洲喜多技連野菜栽培指針検討会 (大洲) 北宇和技連園芸部会栽培指針検討会 (宇和島) JA 東宇和落葉果樹栽培指針検討会 (西予) いちご病害虫調査 (西予)
1/18	JA 東予園芸果樹防除指針検討会 (西条)	1/11 1/17	いちご病害虫調査 (松山、東温、松前) いちご病害虫調査 (東温、松前)	1/18	北宇和技連園芸部会栽培指針検討会 (宇和島)

東 予 地 域		中 予 地 域		南 予 地 域	
月/日	実施内容 (開催地区)	月/日	実施内容 (開催地区)	月/日	実施内容 (開催地区)
1/22	JA 越智今治きゅうり・サトイモ防除指針検討会 (今治)	1/18	いちご病害虫調査 (松山、松前)	1/17 1/18 1/19 1/29	たまねぎ白色疫病・べと病調査 (西予) いちご病害虫調査 (西予) いちご病害虫調査 (西予) 吉田地区スプリングクラ一情報交換会 (宇和島)
2/22	いちご病害虫調査 (西条)	2/9 2/16 2/20 2/21	JA 周桑夏秋きゅうり部会 (西条) 作物調査研究会・作物専門技術高度化研修 (松山) いちご病害虫調査 (東温、松山) いちご病害虫調査 (松山、松前)	2/16	たまねぎ白色疫病・べと病調査 (西予)
		3/1 3/8 3/12	JA 愛媛果樹技術指導員会研修会 (松山) JA 愛媛果樹技術指導員会病害虫研究部会 (松山) えひめ米品質向上推進大会 (伊予)	3/4 3/21 3/22	かき炭疽病越冬病斑調査 (内子) 東宇和地区柑橘害虫対策協議会 (西予) たまねぎ白色疫病・べと病調査 (西予)

2 病害虫等診断件数

月	県関係機関	農協（団体）	農家・一般	その他	月計
4	11	22	17	0	50
5	20	19	24	0	63
6	21	23	26	0	70
7	23	29	20	0	72
8	29	31	15	0	75
9	19	21	13	0	53
10	14	25	19	0	58
11	15	14	13	0	42
12	10	22	4	0	36
1	9	8	3	0	20
2	9	7	6	0	22
3	11	10	6	0	27
合計	191	231	166	0	588

1) 数値は、電話等による相談、サンプルを現場で、または所内持ち込みによる診断受付件数

VII 植物防疫関係調査成績

1 重要病害虫侵入警戒調査

国内への侵入・定着が警戒される各重要病害虫について、侵入警戒調査を実施した。

1) ウリミバエ、クインスランドミバエ、ミカンコミバエ種群及びチチュウカイミバエ
県下 10 地点に誘引トラップを設置し、4 月～11 月にかけて調査を実施した。

調査結果：各地点ともに、調査対象となるミバエ類の誘殺は認められなかった。

地域	設置場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
東予 (2)	西条市丹原町高松	0	0	0	0	0	0	0	0
	今治市菊間町西山	0	0	0	0	0	0	0	0
中予 (3)	松山市上難波	0	0	0	0	0	0	0	0
	伊予市宮下	0	0	0	0	0	0	0	0
	伊予市下難	0	0	0	0	0	0	0	0
南予 (5)	八幡浜市舌間	0	0	0	0	0	0	0	0
	八幡浜市川名津	0	0	0	0	0	0	0	0
	宇和島市吉田町玉津	0	0	0	0	0	0	0	0
	宇和島市高串	0	0	0	0	0	0	0	0
	愛南町緑	0	0	0	0	0	0	0	0

誘引剤：

- ①メドフライコール 45% (チチュウカイミバエ対象)
- ②ユーゲルア D 8 (ウリミバエ・ミカンコミバエ種群対象)

2) カンキツグリーニング病 (ミカンキジラミ)

目視により、20 地点のカンキツ園で調査を実施した。

調査結果：各地点ともに、カンキツグリーニング病及びミカンキジラミの発生は認められなかった。

地域	設置場所	4月	6月	9月
東予 (5)	四国中央市松柏	0	0	0
	今治市大三島町宗方	0	0	0
	今治市大三島町盛	0	0	0
	今治市大西町山之内	0	0	0
	今治市菊間町西山	0	0	0
中予 (9)	松山市上難波	0	0	0
	松山市粟井	0	0	0
	松山市庄	0	0	0
	松山市菅沢	0	0	0

	伊予市宮下①	0	0	0
	伊予市宮下②	0	0	0
	伊予市下灘	0	0	0
	伊予市上灘	0	0	0
	砥部町大南	0	0	0
南予 (6)	伊方町中之浜	0	0	0
	八幡浜市舌間	0	0	0
	八幡浜市川名津	0	0	0
	宇和島市吉田町玉津	0	0	0
	宇和島市高串	0	0	0
	愛南町緑	0	0	0

3) カンキツネモグリセンチュウ

目視調査により、20 地点のかんきつ園で調査を実施した。

調査結果：カンキツネモグリセンチュウの発生は認められなかった。

調査場所：四国中央市松柏、今治市(大三島町宗方、大三島町盛、大西町山之内、菊間町西山)、松山市(上難波、栗井、庄、菅沢)、伊予市(宮下(2)、上灘、下灘)、砥部町大南、伊方町中之浜、八幡浜市(舌間、川名津)、宇和島市(吉田町玉津、高串)、愛南町緑

4) *Spiroplasma citri* 及び *Xylella fastidiosa*

目視調査により、20 地点のかんきつ園で調査を実施した。

調査結果：*Spiroplasma citri* 及び *Xylella fastidiosa* の発生は認められなかった。

調査場所：四国中央市松柏、今治市(大三島町宗方、大三島町盛、大西町山之内、菊間町西山)、松山市(上難波、栗井、庄、菅沢)、伊予市(宮下(2)、上灘、下灘)、砥部町大南、伊方町中之浜、八幡浜市(舌間、川名津)、宇和島市(吉田町玉津、高串)、愛南町緑

5) スイカ果実汚斑細菌病菌

目視により、2 地点のスイカ圃場で調査を実施した。

調査結果：スイカ果実汚斑細菌病菌の発生は認められなかった。

調査場所：松山市上難波、大洲市東大洲

6) トマトキバガ

フェロモントラップにより、3 地点のトマト圃場で調査を実施した。

調査結果：スイカ果実汚斑細菌病菌の発生は認められなかった。

調査場所：3 地点ともトマトキバガの発生が確認された。

設置場所	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
松前町神崎	1	0	–	–	–	–	–	–	7	0	0	1
久万高原町露峰	–	–	0	8	9	30	23	18	–	–	–	–
大洲市東大洲	0	0	2	2	0	9	39	20	14	6	1	0

7) *Meloidogyne enterolobii*、TCDVd、PCFV d、CLV d、TASVd、PepMV、ToBRFV、ToMMV、ToLCNDV、バナナネモグリセンチュウ

目視により、2地点のトマト圃場で調査を実施した。

調査結果：これらの発生は認められなかった。

調査場所：松前市神崎、久万高原町露峰

8) ウメ輪紋ウイルス (PPV)

ウメ、モモの果樹生産地域での発生調査を実施した。令和5年度は3市町4地点の調査を実施した。

調査結果：各地点ともに、ウメ輪紋病の発生は認められなかった。

調査市町	生産地域等	発病の有無
西条市	ウメ	発病なし
砥部町	ウメ	発病なし
松野町	モモ(2)	発病なし
計	4か所	

2 中四国防除所職員等協議会発表要旨

作物名	野菜	県名	愛媛県	所属	愛媛県病害虫防除所 ※愛媛県農林水産研究所
				担当者	中村篤史・窪田聖一*
調査・研究課題名					
愛媛県におけるトマトキバガの発生状況と薬剤感受性					

1. 目的

トマトキバガの愛媛県における発生は、2022年4月に性フェロモントラップにより初めて確認され、これまでに3市2町で確認されている。2023年度は誘殺数が前年度より多くなっており、圃場での発生を警戒していたところ、10月に久万高原町の夏秋トマト圃場において、県内では初めて被害が確認された。他県においても圃場での被害の報告や性フェロモントラップ調査での誘殺数の急増が報告されていることから、愛媛県における発生状況をとりまとめた。併せて、被害が発生していた夏秋トマト圃場で捕獲したトマトキバガについて薬剤の感受性を調査した。

2. 調査(試験)方法

1) フェロモントラップ調査

2022、2023年に性フェロモントラップ調査での雄成虫の誘殺状況調査を、久万高原町では6～11月、大洲市では周年行った。

調査地点：久万高原町、大洲市

誘引剤：トマトキバガ用合成フェロモン剤 (Alpha Scents, Inc. 製)

2) 宿主植物の調査

調査方法：飼育箱にすべての供試植物を入れた後、トマトキバガ成虫を放虫し、トマトキバガ幼虫が寄生する植物種を観察した。

供試植物：トマト、ミニトマト、ジャガイモ、ヒロハフウリンホウズキ、イヌホウズキの一種、アサガオ、インゲンマメ、ソラマメ

3) 薬剤感受性検定

調査方法：IRACの感受性検定法 No. 22を参考に、所定濃度にした薬剤にジャガイモ葉を30秒間浸漬し、風乾した後、4～5 mm程度のトマトキバガ幼虫を放虫し、3日後に生死判定を行った。

供試薬剤：アディオン乳剤、トレボン乳剤、アルバリン顆粒水溶剤、モスピラン顆粒水溶剤、スピノエース顆粒水和剤、アファーム乳剤、アニキ乳剤、エスマルクDF、フローバックDF、フェニックス顆粒水和剤、プレバソソフロアブル5、グレーシア乳剤

3. 結果の概要

1) 2022年度のトラップ調査では、久万高原町で1頭、大洲市で2頭の誘殺数であったが、2023年度では、昨年を上回る誘殺数（久万高原町88頭、大洲市86頭）があり、9月、10月、11月の誘殺数が大きく増加した（図1、図2）。

誘殺数について2023年は大洲市で10月、久万高原町では9月にピークが認められた。

2) ナス科植物では、トマト、ミニトマト、ジャガイモ、イヌホウズキの一種は複数の寄生が確認できたが、ヒロハフウリンホウズキについては寄生が確認できなかった。また、インゲンマメについて、寄生は確認できたが、その数は1頭と少なかった。アサガオ、ソラマメについては寄生が確認できなかった（データ省略）。

3) トレボン乳剤、スピノエース顆粒水和剤、アファーム乳剤、フェニックス顆粒水和剤、グレーシア乳剤については、処理3日後の補正死亡率が100%と高く、次いでプレバソソフロアブル5が同85.7%と高かった。ネオニコチノイド系、BT剤については効果が低く、特にネオニコチノイド系薬剤については著しく効果が低かった。合成ピレスロイド系、マクロライド系薬剤については同系統内でも効果差が大きかった。

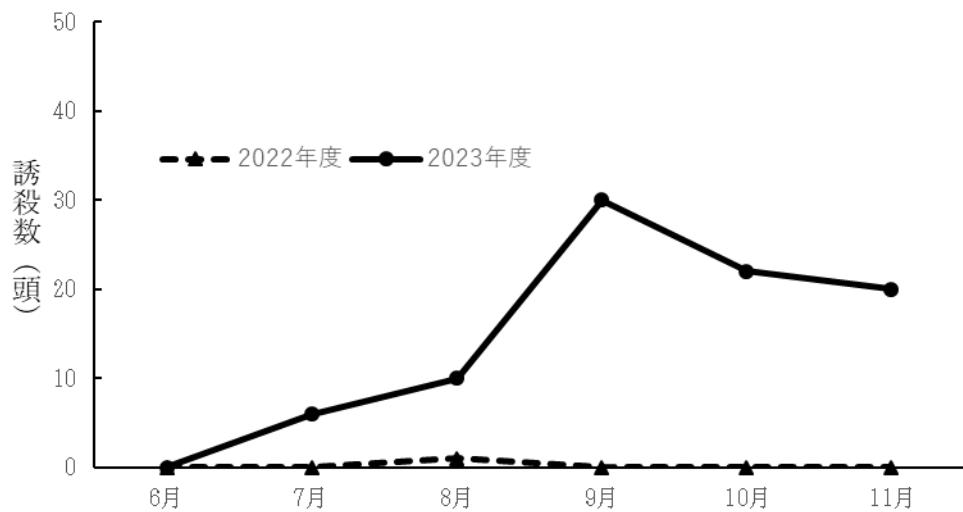


図1. 誘殺数の推移 (久万高原町)

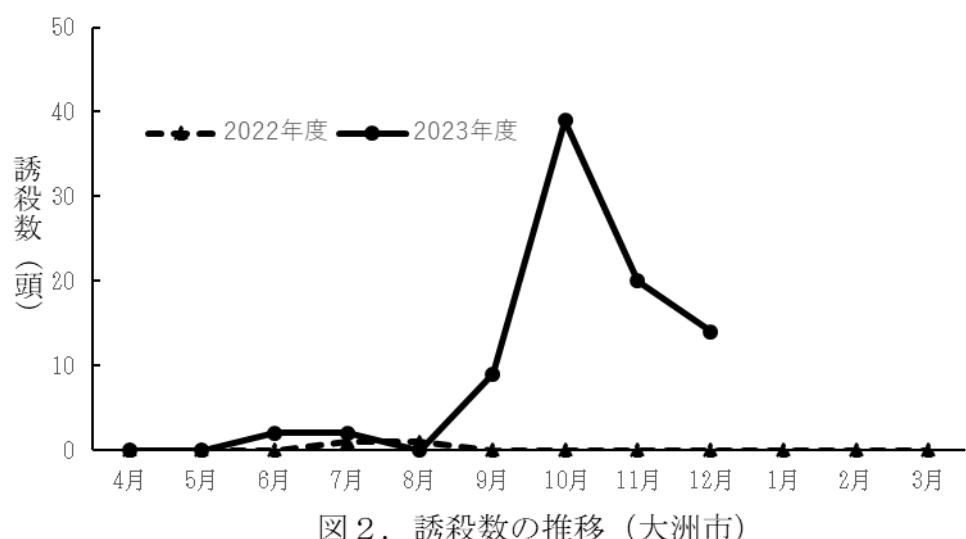


図2. 誘殺数の推移 (大洲市)

表 トマトキバガに対する薬剤感受性

系統名	IRACコード	薬剤名	倍率	補正死亡率
合成ピレスロイド系	3A	アディオン乳剤	2,000	18.5
		トレボン乳剤	1,000	100
ネオニコチノイド系	4A	アルバリン顆粒水溶剤	2,000	7.4
		モスピラン顆粒水溶剤	2,000	0
スピノシン系	5	スピノエース顆粒水和剤	5,000	100
マクロライド系	6	アファーム乳剤	2,000	100
		アニキ乳剤	2,000	25.9
BT剤	11A	エスマルクDF	1,000	42.9
		フローバックDF	1,000	21.4
ジアミド系	28	フェニックス顆粒水和剤	2,000	100
		プレバソンフロアブル5	2,000	85.7
メタジアミド系	30	グレーシア乳剤	2,000	100

※計算上マイナスの補正死亡率は0とした

3 成績概要書作成

作成 令和6年1月

作物名	イチゴ	県名	愛媛県	所属	愛媛県農林水産研究所 ※愛媛県病害虫防除所
			担当者	香口智宏、芝田英明、※中村篤史	
イチゴ炭疽病菌の薬剤感受性検定					

1. 目的

イチゴ炭疽病菌 (*Colletotrichum gloeosporioides* 種複合体) は、イチゴ生産に大きな影響を与える重要病原菌であり、県内のほとんどの産地で発生することから防除が必須である。一方で、主要剤の薬剤感受性低下が懸念されていることから、本試験では県内各地のイチゴ炭疽病菌を採取し、各種薬剤の感受性を検定することで有効薬剤を明らかにする。

2. 試験方法・結果の概要

(1) 方法

- 1) 試験場所：人工気象室
- 2) 対象品種：‘紅い雫’、‘あまおとめ’等
- 3) 採取菌株数

6～9月にかけて、東・中・南予の各圃場の発病株から計42菌株（東予：15菌株、中予：22菌株、南予：5菌株）を分離した。

4) 検定薬剤および濃度

- ①ベノミル 100ppm
(ベンレート水和剤を供試)
- ②ジエトフェンカルブ 100ppm
(ジエトフェンカルブ標準品を供試)
- ③アゾキシストロビン 100ppm
(アミスター20フロアブルを供試)
- ④ピリベンカルブ 10ppm、100ppm
(ファンタジスタ顆粒水和剤を供試)

5) 検定方法

PDA培地上で伸長させた菌叢周縁部をコルクボーラー（径6mm）で打ち抜き、検定培地上に菌叢面を下向きに置床後、25°C、暗条件で3日間培養した。その後、菌糸伸長の有無により感受性を判定するとともに、菌糸伸長阻害率を算出した。なお、アゾキシストロビン及びピリベンカルブの検定培地にはサリチルヒドロキサム酸 (SHAM) 1000ppmを添加し、検定結果はSHAMのみを添加したPDA培地と比較した。ジエトフェンカルブ標準品およびSHAMはDMSOに溶解して使用した。

(2) 結果の概要

- 1) ベノミル耐性菌は42菌株中19菌株(45%)、ジエトフェンカルブ耐性菌は同13菌株(31%)、両剤耐性菌は同10菌株(24%)であった(図1)。なお、両剤耐性菌については、*Colletotrichum acutatum* である可能性があるため(中澤ら、1993)、菌種及びイチゴに対する病原性の確認が必要と考えられる。
- 2) アゾキシストロビン耐性菌は42菌株中22菌株(52%)であった(図1)。
- 3) ピリベンカルブは本菌における耐性の簡易判定基準がないものの、アゾキシストロビンよりも耐性菌の菌糸伸長を強く抑制する傾向が認められた。
- 4) 病害虫防除所の調査地点における炭疽病の発生圃場率は、中予が53%である一方で、南予は18%と低かった。これに伴い、南予菌株の分離数が少なくなった。

3. 主要成果の具体的な数字

表1 イチゴ炭疽病菌の各種薬剤に対する感受性検定

菌株	ペノミル		ジエトフェンカルプ		アゾキシストロビン		ピリベンカルプ	
	100 ppm	菌糸伸長阻害率	100 ppm	菌糸伸長阻害率	100 ppm	菌糸伸長阻害率	10 ppm	100 ppm
東予分離株	TC g -1	53%	R	100%	S	14%	R	23% 77%
	TC g -2	40%	R	100%	S	29%	R	38% 75%
	TC g -3	55%	R	100%	S	35%	R	39% 61%
	TC g -4	51%	R	100%	S	26%	R	30% 70%
	TC g -5	76%	R	49%	R	44%	R	100% 100%
	TC g -6	49%	R	100%	S	42%	R	63% 75%
	TC g -7	75%	R	41%	R	100%	S	100% 100%
	TC g -8	100%	S	-44%	R	100%	S	88% 100%
	TC g -9	46%	R	100%	S	27%	R	31% 77%
	TC g -10	44%	R	100%	S	100%	S	96% 100%
	TC g -11	54%	R	100%	S	46%	R	33% 79%
	TC g -12	49%	R	100%	S	14%	R	14% 43%
	TC g -13	84%	R	43%	R	100%	S	100% 100%
	TC g -14	100%	S	43%	R	100%	S	100% 100%
	TC g -15	43%	R	100%	S	36%	R	18% 73%
中予分離株	CC g -1	100%	S	49%	R	100%	S	89% 100%
	CC g -2	100%	S	55%	R	100%	S	100% 100%
	CC g -3	100%	S	42%	R	100%	S	100% 100%
	CC g -4	100%	S	44%	R	79%	R	84% 84%
	CC g -5	49%	R	100%	S	30%	R	35% 80%
	CC g -6	22%	R	61%	R	32%	R	21% 68%
	CC g -7	82%	R	46%	R	100%	S	100% 100%
	CC g -8	100%	S	39%	R	100%	S	100% 100%
	CC g -9	100%	S	43%	R	100%	S	100% 100%
	CC g -10	47%	R	100%	S	8%	R	33% 71%
	CC g -11	100%	S	58%	R	100%	S	100% 100%
	CC g -12	34%	R	100%	S	92%	R	58% 88%
	CC g -13	100%	S	55%	R	100%	S	96% 100%
	CC g -14	49%	R	100%	S	33%	R	50% 100%
	CC g -15	50%	R	100%	S	57%	R	43% 57%
南予分離株	CC g -16	85%	R	33%	R	100%	S	100% 100%
	CC g -17	43%	R	100%	S	100%	S	100% 100%
	CC g -18	86%	R	31%	R	100%	S	100% 100%
	CC g -19	86%	R	23%	R	100%	S	100% 100%
	CC g -20	50%	R	100%	S	18%	R	32% 59%
	CC g -21	100%	S	53%	R	100%	S	100% 100%
	CC g -22	100%	S	38%	R	100%	S	85% 100%
	NCg-1	19%	R	58%	R	17%	R	29% 83%
	NCg-2	29%	R	63%	R	17%	R	17% 57%
	NCg-3	100%	S	36%	R	100%	S	100% 100%
	NCg-4	47%	R	100%	S	29%	R	25% 67%
	NCg-5	51%	R	100%	S	32%	R	28% 100%
	標準菌株 (ペノミル: R、ジエトフェンカルプ: S)	3-1	50%	R	100%	S	14%	R 14% 52%
	標準菌株 (ペノミル: R、ジエトフェンカルプ: S)	24-1	53%	R	100%	S	100%	S 100% 100%
	標準菌株 (ペノミル: S、ジエトフェンカルプ: R)	11-1	100%	S	57%	R	100%	S 100% 100%
	標準菌株 (QoI: S、ペノミル: S、ジエトフェンカルプ: R)	AN-30	100%	S	43%	R	100%	S 100% 100%

R: 耐性、S: 感受性

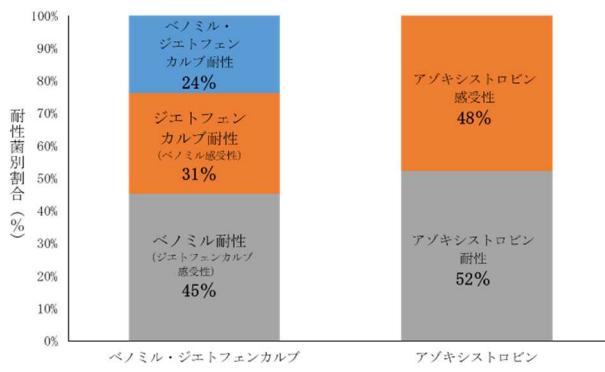


図1 各剤の耐性菌別割合 (県下全体)

作物名	野菜類	県名	愛媛県	所属	愛媛県病害虫防除所 ※愛媛県農林水産研究所
			担当者	中村篤史、崎山進二、小川翔也、窪田聖一※、浜田拓弥※	
調査・研究課題名 タバココナジラミの薬剤感受性					

1. 目的

各種野菜類でタバココナジラミが発生し、すす病とともにタバココナジラミが媒介するウイルス病の多発も問題となっている。ウイルス病の媒介防止には高い防除効果が求められることから、タバココナジラミに対する薬剤の感受性を検定し、防除のための基礎資料とする。

2. 調査方法

- 1) 採集場所：今治市（ミニトマト2圃場）、松山市（トマト1圃場）、大洲市（キュウリ2圃場）
- 2) 検定時期：令和5年11～1月に成虫を採取し、試験に供試した。
- 3) 供試薬剤：表1のとおり

表1 供試薬剤

IRAC コード	薬剤名	供試 倍数
4A	ダントツ水溶剤	2000
	モスピラン顆粒水溶剤	2000
	アルバリン顆粒水溶剤	2000
4C	トランスマートフロアブル	1000
5	ディアナSC	2500
	アニキ乳剤	1000
6	アファーム乳剤	2000
	コロマイト乳剤	1500
9B	コルト顆粒水和剤	4000
	チエス顆粒水和剤	5000
	マッチ乳剤	2000
15	カスケード乳剤	4000
	ノーモルト乳剤	2000
21A	ハチハチフロアブル	1000
28	ベネビアOD	2000
29	ウララDF	2000
30	グレーシア乳剤	2000
34	ファインセーブフロアブル	1000

4) 試験方法

初生葉が出たインゲンの苗を切断し、サンプル瓶に水挿し後、パラフィルムで瓶の口をふさいだ。その後、タバココナジラミ成虫約30頭とともに小型プラスチックケースに入れ、25°C、15L:9D条件下で24時間産卵させた後、成虫を除去した。2齢幼虫になるまで保管した後に、供試薬剤の薬液に30秒間浸漬処理し、風乾した。水処理区の個体が4齢幼虫まで発育した時に実体顕微鏡下で生死を調査し、水処理区の生存率から補正死亡率を算出した。試験は1区2反復で行った。

3. 結果の概要

- 1) タバココナジラミ2齢幼虫に対して感受性の高い剤は、ディアナSC、アニキ乳剤、アファーム乳剤、コロマイト乳剤、ベネビアODであった。グレーシア乳剤、ファインセーブフロアブル、ディアナSC、ハチハチフロアブルは、地点によるばらつきはあるが、比較的の感受性は高かった。その他の薬剤は、全ての地点でも感受性が低かった。
- 2) 以上のことからIRACコード4Aや9B、15の剤は、グループ全体の感受性が低下している可能性が示唆された。

表2 タバココナジラミ幼虫に対する薬剤の感受性

薬剤名	IRAC コード	供試 倍数	補正死亡率(%)				
			今治1 ミニトマト	今治2 ミニトマト	松山 トマト	大洲1 きゅうり	大洲2 きゅうり
ダントツ水溶剤		2000				41.7	
モスピラン顆粒水溶剤	4A	2000	55.6	57.2	49.5		
アルバリン顆粒水溶剤		2000		32.4			
トランスフォームフロアブル	4C	1000		32.9	56.8	34.3	
ディアナSC	5	2500	94.4	68.7	98.6	100	100
アニキ乳剤		1000		99.0		96.9	100
アファーム乳剤	6	2000	100	89.1	100	96.6	
コロマイト乳剤		1500	99.1	100	100		100
コルト顆粒水和剤	9B	4000	12.0	0	36.5	47.9	34.0
チエス顆粒水和剤		5000	0.8	0	23.1	16.5	
マッチ乳剤		2000		73.6	20.5	32.7	8.4
カスケード乳剤	15	4000			44.0		
ノーモルト乳剤		2000				17.7	
ハチハチフロアブル	21A	1000			23.9	94.1	72.1
ベネビアOD	28	2000	94.8	100	94.4	97.9	98.8
ウララDF	29	2000	10.9	11.8	40.4	33.4	11.0
グレーシア乳剤	30	2000	93.6	75.9	88.9	99.0	100
ファインセーブフロアブル	34	1000	98.7	93.5	76.8	93.2	

注) 補正死亡率(%)=(水処理区の生存率-処理区の生存率)/水処理区の生存率×100

注) 計算上マイナスの補正死亡率は0とした

作物名	野菜類	県名	愛媛県	所属	愛媛県病害虫防除所
			担当者	中村篤史、崎山進二、小川翔也	
調査・研究課題名 ミカンキイロアザミウマの薬剤感受性					

1. 目的

花き類を周年で栽培する施設においてミカンキイロアザミウマの加害による被害が問題となつてゐる。そこで、ミカンキイロアザミウマに対する防除薬剤の感受性を検定し、防除のための基礎資料とする。

2. 調査方法

- 1) 供試虫：1月15日に今治市の花き施設より採集した成虫を供試した。1薬剤につき成虫約10頭を使用し、3反復行つた。
- 2) 供試薬剤：表1のとおり

表1 供試薬剤

IRAC コード	薬剤名	供試 倍数
3A	アーデント水和剤	1000
4C	トランスマーフロアブル	1000
5	スピノエース顆粒水和剤	5000
	ディアナSC	2500
5+物理	ダブルシーターSE	1000
6	アファーム乳剤	1000
13	コテツフロアブル	2000
14	リーフガード顆粒水和剤	1500
29	ウララDF	2000
30	グレーシア乳剤	2000
34	ファインセーブフロアブル	1000

3) 試験方法（虫体浸漬法）

マイクロピペット用チップ（1000 μl）に供試虫（約10頭/チップ）を吸い入れ、両面をナイロンゴースで開口部を塞ぎ、チップごと薬剤に10秒間浸漬し、その後、ペーパータオル上で余分な水分を取り除き、風乾させた。風乾後、食餌植物（催芽ソラマメ）を入れた飼育容器に片側のナイロンゴースを取り除いてチップを入れ、25°Cの人工気象器内（16L:8D）に静置し、処理2日後に生存・死亡・苦悶別に計測した。

3. 結果の概要

- 1) ミカンキイロアザミウマ成虫に対して感受性の高い剤は、ファインセーブフロアブルだけであった。他の薬剤については、感受性が低く、特に、スピノエース顆粒水和剤、ディアナSCについては効果が認められなかつた。
- 2) 以上のことから、成虫に対し速効性のある剤は少ないことが明らかになつた。有効な薬剤が少ないとことから、今後は幼虫に対する効果を検討する必要がある。

表2 ミカンキイロアザミウマに対する薬剤の感受性

薬剤名	IRAC コード	供試 倍数	補正死亡率(%)
アーデント水和剤	3A	1000	26.5
トランسفォームフロアブル	4C	1000	12.9
スピノエース顆粒水和剤	5	5000	0
ディアナSC		2500	0
ダブルシューターSE	5+物理	1000	34.5
アファーム乳剤	6	1000	44.1
コテツフロアブル	13	2000	46.9
リーフガード顆粒水和剤	14	1500	60.0
ウララDF	29	2000	10.3
グレーシア乳剤	30	2000	46.9
ファインセーブフロアブル	34	1000	94.3

注) 補正死亡率(%)=(水処理区の生存率-処理区の生存率)/水処理区の生存率×100

注) 計算上マイナスの補正死亡率は0とした